

会長のページ 怖いもの	河野 雅行	3
日州医談 健康食品・サプリメントについて	小牧 齋	4
はまゆう随筆(その2)		6
弓削 達雄, 長沼弘三郎, 前田 資雄, 井上 知宏		
北村 恵子, 上園 繁弘, 古郷 博, 高橋 典子		
日高 四郎, 丸山 亮, 石橋 俊秀, 水野 隆之		
東 久美子, 田崎 高伸, 三嶋 悠佳		
特 集 宮崎大学医学部・旧宮崎医科大学開講50周年記念事業		
第8回 これからの50年		
～明日の宮崎の医療を担う人材育成～	東 美菜子	20
エコー・リレー(588)	藤木 啓, 柳邊 秀一	23
メディアの目 待合室の思い出	村岡 経世	24
身近なお困りごと相談室	高山 桂	25
宮崎大学医学部だより 医療人育成推進センター	小松 弘幸	34
部会だより 病院部会・医療法人部会	赤須郁太郎	35
診療メモ 新時代を迎えた乳癌診療～最近のトピックも含めて～ ..	植田 雄一	96
宮大医学部学生のページ 音楽祭実行委員よりご報告	中田 薫子	98

宮崎県医師会理事業務分担	19
あなたできますか？(令和5年度医師国家試験問題より)	22
宮崎県感染症発生動向	26
各郡市医師会役員等名簿	28
各郡市医師会だより(宮崎市郡医師会, 都城市北諸県郡医師会)	30
第179回宮崎県医師会臨時代議員会(概要)	38
第180回宮崎県医師会定例代議員会(概要)	42
第181回宮崎県医師会臨時代議員会(概要)	45
令和6年度第81回宮崎県医師会総会	48
九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期会長合同会議	52
九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期日医代議員協議会	54
九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議	55
令和6年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会	58
ベストセラー	59
日医インターネットニュースから	60
医師協同組合だより	62
会員の異動・変更報告	64
理事会日誌	66
県医の動き	72
ドクターバンク情報	73
行事予定	79
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	83
あ と が き	106

お知らせ 地球温暖化防止対策(クールビズ)の実施について	18
医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください!	36
第25回宮崎県医師会医家芸術展	37
日州医事へのご意見・ご感想	77
第8回生命を見つめるフォト&エッセー作品募集	81
郡市医師会への送付文書	100
令和6年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	103
医療勤務環境改善支援センター	104
日州医事原稿募集のお知らせ	105
ご案内 宮崎県医師会親善ゴルフ大会	47

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：アクリル画〕

凜として

傘寿を迎えた今、時代の流れや環境の変化とともに、角張っていた巨岩も優しく丸みを帯びて色つややかに自己主張している岩模様に万感の思いが去来します。どんな困難ごとでも必ずなんとかなる。嫌なことは吹っ切って楽しめる方向に思考を切り替えて、毎日笑顔で生きていく。流れに任せつつ逆らいつつをモットーに過ごしてきました。これからも、時間の許す限り絵筆を握り自然とふれあい、ゆったりと清らかな水の流れのように時代に沿ったかたちで一日一日を大切に過ごしていきたいものです。

宮崎市の野崎藤子

会長のページ

怖いもの

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

古来より怖いものは「地震」「雷」「火事」「おやじ」であったようです。「地震」本年元日の能登半島地震は記憶に新しいところです。我が県からもJMATチームを派遣しました。現地は想像を絶する惨状であったようです。春には台湾やトルコでも大きな地震がありました。東日本大震災、阪神淡路大震災などもいまだ風化される段階ではありません。我が県でも南海トラフ大地震が近い将来に発生すると想定されています。それに備えて訓練や対策を行っていますが、いまだ、切迫感は少ないようです。しばらくは発生しないだろうと安心（油断）しているのかも知れません。

「雷」本年4月3日宮崎市でサッカー試合中の高校生が被雷しました。同日に宮崎から羽田に向かう航空機も被雷して急遽関西空港に着陸しました。航空機被雷は時々あるとの報道です。登山、ゴルフ、海水浴、農作業などの屋外活動は要注意です。落雷のエネルギーは莫大なもので、数年前に近所に落雷し私の診療所でも電化製品に被害が出ました。

「火事」公共施設や医療機関では耐火建築・スプリンクラーが義務付けられ、社会的にも火災予防の認識は高まっています。それでも火災は頻繁に報道されます。家屋・森林のみならず航空機、自動車、船などなんでも燃えます。

「おやじ」は、いまだき怖がる子どもがいるのでしょうか。私が子どものころには親父や先生の声を聞くだけで緊張したものでした。私を含めて親父の権威が失墜したようです。しかし、それが子どもにとって幸せなことなのか。怖いものがある方が子どもたちの正常な成長につながるのではないのでしょうか。

南九州は「台風」の好進路でしたが、最近の台風は全国的です。予想コースから外れて迷走し、かつ巨大化しています。過去に経験の少ない地域では被害も大きくなります。堯・舜・禹の時代は治山治水が為政者の最大責務だったそうですが、三千年経った今でも「洪水や土砂災害」の被害が続出しています。「高気温」による作物被害や熱中症の多発も頻繁に報道されます。北国では「低気温」や大雪、雪崩などによる被害もあります。数年間は「コロナ」に振り回されました。世界のあちこちで「戦争」が絶えません。幸い我が国には長い期間戦災がありませんが、「交通事故」の死者が多く交通戦争と言われた時代がありました。危険は伴いませんが受験戦争、選挙戦、経済戦争もあります。「公害」が多く発生した時代もありました。「テロ」もあります。その他、とても数え上げられませんが、私たちの周りは怖いものだらけです。備えあれば…との格言どおり、医療も可能な限りさまざまな怖いものを想定して備えておきたいものです。 (令和6年7月17日)

日州医談



健康食品・サプリメントについて

宮崎県医師会 副会長 小 牧 ひとし 齋

はじめに

紅麴サプリの健康被害についての頻繁なマスコミ報道もあり、健康食品への国民の関心が高まっています。日本医師会は健康食品・サプリメント（以下サプリア）のリスクを啓発するポスターを作成し、国民向けの啓発活動を実施しています。そのHPにはすでに専用サイトが用意されています。また、すでに日本医師会/日本歯科医師会/日本薬剤師会の監修で「健康食品・サプリア成分」のすべて：ナチュラルメディスン・データベース 日本対応版<第6版>（同文書院）が刊行されています。ところで、健康被害が出たときに相談を受けるのは医療機関になりますが、医療側も十分な知識・経験を持っているわけではなく関心の薄い領域と言わざるを得ません。この機会に健康食品・サプリア問題について少し掘り下げて報告してみたいと思います。

健康食品・サプリアの現況

厚労省のHPによると、健康効果を期待させるさまざまな名称の製品を、一般に健康食品（健康の保持増進に資する食品全般）あるいは

サプリア（特定成分が濃縮された錠剤やカプセル形態の製品）と呼びます。矢野経済研究所の資料によりますと、売り上げは市場規模で2023年度では約1兆2,400億円にのぼり、利用者数は国民の約半数にのぼるといいます。国の国民健康・栄養調査によれば製品の利用者の増加とともに、それらが関連した健康被害も多数報告されています。

ところで健康食品を分類しますと図に示すように、国が定めた安全性と効果に関する基準などに従って機能性が表示されている食品は「保健機能食品」といい、「特定保健用食品」、「栄養機能食品」および「機能性表示食品」の3種類があります。「特定保健用食品」については、有効性・安全性につき基本的に消費者庁および食品安全委員会の審査を経ることとなっています。それ以外についての機能性表示食品については、一般に試験管内実験や動物実験から得られた効果から機能性を謳った食品が多く、機能性を発現する量に関してはよくわかっていません。機能性表示食品の安全性の検証は事業所に委ねられ、健康被害があった場合の行政への報告も義務化されていません。



図 いわゆる「健康食品」とは

厚生労働省HPより引用

健康被害について

紅麴の成分を含む小林製薬のサプリを摂取した人が腎臓の病気などを発症した問題を受けて、消費者庁は機能性表示食品のおよそ6,800製品、およそ1,700の事業者に、医療従事者から寄せられた健康被害情報について総点検を行っています。それによると、22の事業者の35の製品について、合わせて147件の健康被害の情報が医療従事者から事業者に寄せられています。

健康被害という点、一般的には肝機能障害、消化器症状（下痢、腹痛、嘔吐など）、発疹等皮膚症状が多いですが過去には重大な被害も報告されています。ダイエット食品による重度肝障害、アマメシバ加工品による閉塞性細気管支炎、豊胸効果を謳ったサプリで生理不順などの被害報告などです。

問題点の整理

- 1) 健康食品による健康被害には、多様な要因が複雑に関係しています。その要因としては、品質が一定していない粗悪製品の利用、利用者の自己判断による疾病の治療目的での利用、アレルギー体質の人の利用、過剰摂取や医薬品との相互作用の影響などがあります。このような複数の要因が健康被害に関与するため、製品の利用と健康被害の因果関係を明らかにすることは極めて難しく、有害事例が収集されても公表に至らないものがほとんどのことです¹⁾。
- 2) 健康食品・サプリの健康被害の報告の主な情報源としては、保健所を介して厚生労働省に集約されている情報（保健所情報）、消費者センターから国民生活センターに集約されている全国消費生活情報ネットワーク・システム（PIO-NET）情報、各企業が独自に収集している情報（企業情報）があります。保健所情報は医学的検証がなされた事例が多いものの、重篤な事例以外は公表されていません。一方PIO-NET情報は利用者から直接情報収集されていることも関係して報告数は多いと考えられますが、その危害情報の考え方は保健所情報と必ずしも一致しておらず、両方の情報を統合することは難しいようです。また保健所情報もPIO-NET情報も、個人が識別できる情報が含まれているために個別事例の詳細

は公表されておらず、その正確な実態は知られていません。企業情報はそれぞれの企業の考え方や目的で収集されているもので、情報の数や特徴などの概略さえも全く分からない状況です。異なる組織や機関で収集された情報が整理・統合される方策が求められています¹⁾。

- 3) サプリの欠点は、医薬品のようなチェック機能が働かないところです。すなわち医薬品の場合、医療機関での自覚症状の確認、血液検査などを通じた危機意識が働くので、定期的な健康診断などで検査学的な健康度がチェックされます。
- 4) 健康食品と医薬品の併用による副作用は意外と多いといえます²⁾。一例として、抗血小板剤・抗凝固剤とターメリック（スパイス）・ ω 3系脂肪酸による消化管出血、HMG-CoA阻害薬とセージ、ペパーミントオイルの利用による横紋筋融解症などがあります。
- 5) その他の問題点として、効果があるなしの長期服用、健康食品という名前に安心しきっての安易な使用、一度に複数の健康食品の使用などに注意を払う必要があります。

まとめ

健康食品・サプリは市場規模を確実に伸ばしていますが、健康被害もそれにともない増えているようです。その有効性はもとより、品質の安全性、他の食品・医薬品などとの相互作用について医療側も関心をもって対応に当たるべきでしょう。また、今回の紅麴サプリ事件を契機に、健康食品による被害事例はいつでも遭遇するものだと認識することこそ重要であると思われます。医療をつかさどる立場として、患者・家族が健康食品・サプリで相談に来たときはその使用を無下に否定することなく、気軽に相談する雰囲気づくり、丁寧な対応が必要と思います。

参考文献

- 1) 梅垣敬三, 他. 健康食品に関する健康被害事例の情報源およびその有用性評価. 食品衛生学雑誌, 51 : 282-289, 2013.
- 2) 村田英理. 我が国における健康食品による健康被害状況. 日本病院総合診療医学会雑誌, 14 : 130-135, 2018.

はまゆう随筆

その2

(7, 8月号に分けて掲載しております)

私の山歩(サンポ)(米寿随筆依頼)

宮崎市 ^ゆ弓 ^げ削 ^{たつ}達 ^お雄

今年の5月9日(木曜日)は予報どおりすばらしい晴天日で、予定どおりえびの高原に行きえびの岳に登れば、少々時期は早いですが最近時節の変動が早いのでミヤマキリシマの開花が見られるのではないかと朝10時に一人、愛車ベゼルを運転してえびの高原に向かった。

九州自動車道に入り都城を過ぎたところで美しく天に聳える高千穂峰を見て、これは有料道路の利得かなと考えた。高原インターで九州自動車道を降り、みやまきりしまロードに入り小林市えびの市経由でえびの高原に向かった(小林市からのえびの高原道は硫黄山噴火のため頂上手前で通行止め)。

12時前にえびの高原に着くと多くの車があった。目的は何だろう?韓国岳登山?池巡り?白鳥山登山?えびの岳登山?いろいろ考えた。韓国岳方向を見ると硫黄山が灰色の噴煙を上げていた。私は売店前に駐車し軽く登山準備し、つつじヶ丘下のえびの岳登山口に向かった。この山はえびの高原からの標高が100m程度で、危険箇所はなく林間を楽しく遊歩登山できる低山である。この日は年齢とともに登山速度が落ち、45分で頂上到着であった。頂上には初老の

夫婦の先客がいたがすぐ下山して行ったので、私は一人周囲の展望を楽しんだ。北東方向に韓国岳、その横に噴煙を上げる硫黄山、反対の南西下方向には桜島、その向こうにかすかに開聞岳が見えていた。その後ゆっくり下山しミヤマキリシマの群生地に着いたが、ミヤマキリシマはまだつぼみであった。下山後白鳥温泉に入り、みやまきりしまロード、野尻町経由で宮崎市に帰った。

その後も例年通っていたえびの高原のミヤマキリシマが頭から離れず、5月29日晴天日の朝、家内とベゼルで再びえびの高原に向かった。

この日も都城を過ぎたところで美しい高千穂峰を見て満足。その後、前回と同じく高原町みやまきりしまロードに入りえびの高原へ。12時前に到着。この日も多くの車。200台の駐車場は満車状態。駐車後、我々夫婦は噴煙を上げる硫黄山を見ながらつつじヶ丘へ。しかし群生開花したミヤマキリシマは見られず、疎らに咲いた低木のミヤマキリシマが見えるだけであった。近づくと多くのミヤマキリシマの木は枯木となっていた。硫黄山の噴煙が原因ではないかと家内と話した。その後私たちはつつじヶ丘の真ん中に入り、なんとか満開のミヤマキリシマが連なった場所でミヤマキリシマをバックに個人個人写真を撮り、数年前のつつじヶ丘の広く満開のミヤマキリシマを思い出していた。

想 念

延岡市 長沼医院 ^{なが}長 ^{ぬま}沼 ^{こうぞぶろう}弘三郎

事は、NHK BS 火野正平の「にっぽん縦断 ころ旅」の番組で、鳥取・^{たたらど}釜戸の両墓制に思いをはせたことに始まった。JRで延岡から米子まで乗り継ぎ、今、大山山麓釜戸の野墓群の前に立っている。そこは釜戸川に沿って日が影を落とし“まほろば”の装い。

かの地では、かつて人が死ぬと家の近くに爪や遺髪だけおさめた“^{まい}詣り墓”を建てた。別に“^{うづ}埋め墓”といって、川原に穴を掘り下げ棺桶をいけて土盛りし、出てきた大小の石を上に乗せた。墓標はなく後にその石を集めあちこちに小高く積んだ。あわせて両墓制と言う。

と、さまざまな想いがないまぜになって胸に追った。メメント・モリ（死を想え）で死に関する諸々だ。昨年八十路を迎えたが、これまで他人から死生観を問われても“ばからし、何を今さら、わかりきっていることじゃねか”とそっと口ごもり、はっきりと考えを言うのをはばかってきた。

それにしても「死」に関する語彙は多い。辞典を調べると“他界”“旅立ち”“鬼籍に入る”など228を数えた。それを下敷きに、笑われるのを承知のうえ、いろんな事柄を抜き書きしてみた。

誕生して地球46億年、現世人類40万年。今まで地球に登場した生物は99.9%絶滅。これまで誕生した人の数は2,000億人（死んだあとも魂が残るなんて）。

人類の生物量は6,000万トン、アリの総量と

ほぼ同じ。米国で17年ごとに羽化する周期ゼミが、今年数十億匹が一度に羽化。交尾してすぐに死滅（人の命って鴻毛の軽さ以下か）。

ミクロ的に人は37兆個*の細胞から成り、赤血球は20兆個、腸内細菌は100兆個。（Alas!）
次々に考えを巡らす。

通常永代供養で祀っても、33回忌が営まれると合祀され遺骨の特定ができなくなる。そのことはまだしも、現状は法事不要の散骨（自然葬）、樹木葬が新規需要の3分の2以上を占めているとのこと。ブッダもAIの時代になりそうで、人の弔いがすっかり変わってしまったのもむべなるかな。（あああ）

この時代にあって、習俗から真、善、美、道徳や宗教に至るまで、これまで世にとなえられてきた価値観は、今やすべてが虚構で幻想だったような気もする。気持ちは移ろってしまい、おまけにいかにもいい加減だったことか。

親がいつも言っていた。「人間生きてるだけで丸儲け、何も残りゃせん、長生きせにゃ損、あとんこちゃ知ったこっちゃね」に納得。「私はお墓の中にいません、千の風になって大きな空を吹きわたっています」。これも言い得て妙。

没後1年。連れ合いは手元供養で祀っている。常夜灯で明明と照らされた仏間で、自作の油絵とステンドグラスに囲まれ静かに眠っている。そこは永遠に続く幽冥の艶ある世界。“寒かろな”“暑かろな”“重たかろな”“寂しかろな”はない。

* Eva Bianconiらが2013年に発表した論文より

昭和100年を迎えんとして考えること

延岡市 延岡共立病院 ^{まえ} ^だ ^{より} ^お
前 田 資 雄

令和6年も残り数か月になり、いよいよ来年は令和7年、昭和100年を迎える。昭和生まれの我々にとっては昭和時代の出来事を振り返る際計算し易くなる1年になる。ちなみに明治100年は1968年、大正100年は2011年であったとのことである。

さて私事であるが、今年は医師免許をいただき50年になった。私たちが国家試験を受けたときは、面接と、試験問題がマークシートになって2～3年目であった。難しく不合格かと思ったが幸い合格し、県立宮崎病院で卒後研修を始めた。当時は泉谷院長、一ノ瀬副院長の体制であった。ちょうど宮崎医大が開学した年で、当時4階建ての旧県立病院の建物の南側に臨床研究棟が建てられていた。それから今日までいろいろな場所でいろいろな先輩方に指導していただき、今日まで働いてきた。それと同時にいろいろな出会いも経験した。現在は延岡の病院に勤務しているが、しばしば自家用車で往復している。2時間ほどの道中、家にあるCDを片っ端から携帯に詰め込んだものをシャッフルで聴いている。童謡、なぜか三浦洸一、家内の好きであった小椋佳、落語、クラシックなど。シャッフルにしておくと、いったいどのCDのどの部分が聞こえてくるか予想がつかない。初めて聴くものや、数度しか聴いていないもの、頻繁に聴いていたものなど、時間を忘れさせてくれる。海ほおずき、東京の人、落ち葉しぐれ、

因果塚の由来、悩めるサントツツア、トニオ、絶望のデグリュウ、ロドルフォ、ワレンシュタインならぬワルトシュタイン、ローゲ、エルダ等々、頭の中の古びた引き出しにこれまで閉まっていた二度と開けていなかったものも含め、数々の事柄と思い出が湧いてくる。

一期一会という言葉がある。人にかかわるものは、そのときそのときの場面や時間の経過が係わってくるので難しいところがあるが、五感で感じられるもの、味覚、触覚、また記憶媒体に保存されている文学、絵画、音楽、お話などは、初めて出会ったときと変わらない対象物として再会することができるのは有難い。人生の初期に出会ったもの、思春期に心を満たしてくれたもの、社会に出て教えてもらったものなどに感謝を込めてお礼回りとして、さらに後期高齢者に加わり平均余命が10年余りになったので、これからもできる限りの再会を目指してみよう。

ウユニ塩湖に乾杯

～日本の裏側で日本のよさを知る～

宮崎市 ^{いの} ^{うえ} ^{とも} ^{ひろ}
いのうえ皮ふ科 井 上 知 宏

ウユニ塩湖をご存じでしょうか。ボリビアにある塩の湖で、標高3,700mと富士山と同じくらいの高さに位置し、その広さは岐阜県と

ほぼ同じです。はるか昔、アンデス山脈が海底から隆起した際に大量の海水が山上に残ったため、この広大な塩湖が形成されたといわれています。

テレビで初めてウユニ塩湖の絶景を見たときは衝撃的でした。ここに立ったとき、何を感じるだろう、いつか行ってみたい、でもボリビアってどうやって行くんだ？死ぬまでに運がよければ行けるかな、と考えながら30年以上が経っていました。42歳で開業して6年目、「来年生きていくかどうか分からん」と、ウユニ塩湖計画が発動。しかし、ウユニ塩湖単独のツアーはない。自分ですべてを手配するしかない。まずは航空券。Booking.comを使って、成田発⇒ヒューストン⇒リマ⇒ラパスのチケットを確保、往路だけで25時間。しかし、復路の調整がうまくいかない。アメリカでの乗り継ぎ（ニューアークリバティー空港）が1時間50分しかない！しかし、このセットしかもうない。航空会社も同じユナイテッドだから搭乗口も近いだろうし、なんて甘い考えで12月30日に日本を出発しました。

現地時間の12月31日の昼前にウユニに到着。さすが標高3,700m、高山病で頭痛が。しかし翌朝には復活し、いざウユニ塩湖へ。ウユニ塩湖に立ったときの感動は私の稚拙な文章では表現できないので、書けません。写真も映像も所詮は二次元。そこに立ってみないと見えない景色ってあるんですよ。だから、人は山に登るし、海に潜るし、旅に出る。

さて、丸々3日間ウユニ塩湖を堪能し、1月5日早朝に帰路につきました。懸案事項であったアメリカ乗り継ぎやいかに。ニューア

ーク空港には、予定よりも5分早く到着。いけるぞ。イミグレを通過してダッシュ。しかし、搭乗口の数字がない！まさか！そう、なんと同じユナイテッド航空にもかかわらず、別のターミナルと判明。急いでモノレールで搭乗ターミナルへ。モノレールを飛び降り、搭乗口へ急ぐ。しかし、ターミナルの広いこと広いこと。でも出発遅延なんてざらにあるじゃないか。きっと間に合うはず！やった到着！……あれ？搭乗口には誰もいない。やってしまった。アメリカで国際線飛行機乗り遅れ。

3分ほど途方に暮れた後、ユナイテッドのカスタマーセンターへ。空港で丸一日過ごして明日の便で帰るしかないか、と諦めていたら、「2時間後に成田行きはあるよ、東京行きじゃないとダメなのよね？」と神の声。「え。成田？OKOK。成田OK」。

12時間のフライト中ずっと頭の中を占拠していた蕎麦と冷たいビールを空港で堪能。おっと、宮崎行の便には乗り遅れないようにしないと。足早に羽田に向かい、最終便で宮崎に到着。9日ぶりに聞く宮崎弁。ウユニも最高でしたが、やっぱり日本って最高、宮崎って最高。明日からも仕事頑張ろう。



県南学校探訪記

日南市 北村胃腸科眼科 きた むら けい こ 恵 子

小・中学校で新年度が始まり、学校検診の季節が巡ってきた。校医として29年目、眼科医不足のため、一人で10校ほど担当している。県南の過疎化が進んで生徒数は今も減少を続けており、最近も130年の歴史を持つ学校が廃校になった。ただそれぞれの学校に個性があり、検診に行くと興味を惹かれる。

玄関の真ん前が図書館になっていて子どもたちが熱心に読書していたり、南方を渡るツマベニチョウやカバマダラを飼育している学校があったり、日本国歌にも歌われる「さざれ石」、二宮金次郎像が玄関に飾ってある学校もある。校舎に入ると、吹き抜けになった2階の手摺から数枚にわたる風景画が飾ってあり、生徒たちが描いた風船や空に広がるたくさんの生き物が描かれていて、パノラマのようで生き生きとしている。県南は漁業の盛んな地域であり、学校に多くの大漁旗があったり、全長2mぐらいの高足ガニが飾ってあったりするところもある。歴史上幾度か津波に襲われたことがあるのかもしれないが、ある小・中学校は小高いところにグラウンドがあり、さらに数段上に校舎が建てられていて立体的造形になっている。校歌の歌詞に「象牙の塔」とある。Google先生に聞いてみるとフランス語で「tour d'ivoire …自ら望んで俗世間を離れ、主に精神的で難解な探求を行う場所の隠喩、またはその雰囲気を目指す言葉」とある。校長先生に、象牙の塔はどこにあるか聞

かなくてよかった。

さて、デジタルデバイスによる後天性共同性内斜視がトピックになっている。急性だと複視の自覚症状を感じるが、進行が緩徐であると家族もあまり気が付かない。一部の子どもたちが長時間のデジタルデバイス使用で目に負荷がかかり発症するようだ。だから中学生でもペンライトの眼位検査は必要なのだと思う。コロナ感染症が落ち着き、平穏な学校生活が戻ってきてよかったと思う今日この頃だ。



我が庭にやって来て

ブルーベリーを食べるヒヨドリたち

夫が追い払っても フン!ピヨピヨピヨ〜

居者と ルーク・フィルズの「The doctor」

日向市 千代田病院 うえ 上 その 園 しげ 繁 ひろ 弘

還暦を過ぎた。「磯野波平（54歳）、伊佐坂先生（60歳？）と比べると、まだまだ若く見えるよね」。毎年同じような声が、全国の各所の還暦親父たちから聞こえてきそうである。

臨床現場は主に高齢者が対象だが、若い医師とふれあう機会がある。師走に開催される「指導医のための教育ワークショップ」タスクフォースでの毎年の参加である。その中で「よい指導医」「悪い指導医」を名優気取りに演じ、聴講者の笑いを誘っている。その後は真面目に講義を行う。

「コーチングについて」

その3大スキルは、

- ① 傾聴：相手が話し終わるまで言葉を挟まない。受容・共感・確認しながら話を聴く。
- ② 質問：Yes or No?のクローズ型ではなく、話を引き出すオープン型質問が大切だ。
- ③ 承認：Youメッセージ（あなたは～ですね）ではなく、Iメッセージ（私は～だと感じています）のように、自分がいかに相手から影響を受けたかを伝えることである。

マニュアルに基づいたスキルを取得することはもちろん大切だ。人命を扱う医療現場へスキルもなしに飛び込むのは、羅針盤をなくした難破船のようなもので危険だ。しかしスキルを使っても、到底太刀打ちできそうになり現場に出くわすことも多々ある。

その高齢女性は認知症で寝たきりだった。

誤嚥性肺炎により腎不全が進行し尿量は減少、あらゆるデータは今透析を行わないと救命困難であることを示していた。事前のアドバンス・ケア・プランニング（ACP）はなく、もはや本人への意思確認は不可能だ。丁寧にICを重ねるも、娘さんたちは戸惑い、方針を決めることが難しい。しかし医師としては透析が患者さんを幸せな方向に導かないことを認識していた。

「最終判断は先生たちが決めてくれた、と思っただいた方がお気持ち楽になるでしょう。このまま安らかにお見守りしましょう」と告げた。ともすれば、医師がヒール（悪役）になりえるが、これが臨床現場の実際（リアルワールド）なのだ。

好きな言葉に「医者（イ）は居者（ウ）であれ（筆者作）」がある、参考となった絵画はかの有名なルーク・フィルズの「The doctor」である。知らない人は一度絵をみてほしい。小児患者の傍にたたずみ、その回復を朝まで見守っている、医者はただ居るだけなのに、絵からはすさまじい回復への思いが伝わってくる。

6年前から始めた水泳が病膏肓やまいこうこうに入り、クロールのタイムも伸びてきた。還暦を過ぎてもまだ成長する余地があったことに感激だ。この「還暦伸びしろパワー」を宮崎の医療にも有効利用できる術すべを探しながら、居者であり続けることにしよう。

～レイモンド・チャンドラーの名言をまねて
「タフでなければ医師ではいられない、

優しくなければ医師である資格はない」

世界遺産を歩く

宮崎市 ことごうメンタルクリニック 古郷 博

熊野古道を歩いてみました。単なる思いつきではありましたが、数年前から体調を崩し健康を損ねていたこともあり、いいタイミングかと思立ちました。熊野は日本独自の神仏習合という信仰が生まれた場所で、古来より聖地とされてきました。熊野三山、すなわち熊野本宮大社、熊野速玉神社、熊野那智大社に詣でることを熊野詣と称するようです。ここは甦りの地、つまり生まれ変わって戻ってくる、言わば新たな出発のできる場所の所以になるようです。

5月4日、雲ひとつない晴天に恵まれいよいよ出発です。初心者で王道的な中辺路コースのクライマックスである発心門王子から熊野本宮大社までの古道を選びました。7kmの緩やかな道を約3時間かけて歩くコースです。レンタカーで熊野本宮大社まで行き、朝一番のバスで発心門王子まで向かいました。朝の清々しい空気と鳥のさえずりや山脈が連なるおだやかで美しい風景に癒され、非日常と解放感を満喫しながらの古道を1時間半ほど歩いたところで茶店があり、コーヒーを一杯飲む。インスタントではあったが疲れ始めた体に沁みる。近くの茶畑では茶摘みの最中。なんともゆっくりとした時間が流れます。そこからさらに緩やかな石段や石畳の道を歩き、「ちょっと寄り道展望台」という一見見過ごしてしまいそうな小さな案内板を見て進み、高台から見える大斎原の大鳥居を見て

感動。ゴールの熊野本宮大社では踏破した達成感があり、なんだか救われ真に甦った気持ちになりました。本宮大社の参拝を終えて、熊野速玉神社、熊野那智大社まで参拝しました。速玉が前世の罪を浄め、那智が現世の縁を結び、本宮が来世を救済すると言われており、ここまで来られたことに感謝し、この先のしあわせを祈りました。明日から穏やかな日々が過ごせることを願いつつ帰路に就き、あらためていい旅だったと心満たされた一日でした。



コロナワクチンのその後

宮崎市 花ヶ島ウィメンズクリニック たか 橋 典 子

今回「はまゆう随筆」を書くという機会をいただきましたので、編集委員のときにあとがきに書いていたコロナワクチンのその後の状況を書かせていただきたいと思います。

予防接種健康被害救済制度に基づく新型コロナワクチン接種による健康被害の累計進達受理件数は6/10現在で11,305件と1万件を超え、その内訳は認定7,458件、否認1,795件、保留19件、未審査2,033件であり、審査されたうちの8割が認定されています。死亡一時金または葬祭料にかかる件数に限ると累計進達受

理件数が1,383件で、内訳は認定618件、否認208件、保留3件で、未審査554件となります。なお、新型コロナワクチン以外の日本国内すべてのワクチンでの健康被害は、1977年2月～2021年12月での認定数が3,522件（死亡認定数151件）です。新型コロナワクチン1種類による約3年間の健康被害は、その他すべてのワクチンによる約45年間の健康被害の認定件数で2倍以上、死亡認定件数では約4倍となっています。また、厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会の資料によると、1/28までの報告分において、予防接種法に基づく医療機関からの新型コロナワクチンによる副反応疑い報告者は37,051人にのぼるようです。

各種の報告からワクチン接種による効果が認められていることは知っていますが、健康被害が認められた方たちや副反応が疑われる方たちの数は決して少ないものではないと思っています。

私自身はワクチンを2回接種しました。因果関係は不明ですが、その後の半年の間に約7kg体重が減少したため追加接種には不安を感じます。

mRNA型ワクチン接種は今後も続くようですが、あくまでも接種は任意であるという原則が守られることを期待したいと思います。

在宅での終活談話

宮崎市 日高医院 ^ひ ^{だか} ^し ^{ろう}
日 高 四 郎

その1 100歳 女性 寝たきり

いつも両膝を曲げて寝ていると膝が固まりますよ。

少しでも膝を伸ばしましょうか。

どうしても膝が伸びないですか。

このままだと、棺桶に入ったときに下半分が空いてしまいますよ。

下半分に何を入れて欲しいですか。

「ヒダカシェンシェイ！」

えーっ！ ちょっと無理！

その2 90歳 男性

「先生、もういいわ！もう十分好きなように生きてきた、もういい！」

そうねえ、これまでよう頑張ってきましたからね。

でもね、これからは神様が決めることですよ。そのときが来るまでゆっくり待っていてください。迎えは必ず来ますよ。

向こうに行ったら、知っている人たちが「お疲れさん！」と言って迎えてくれるでしょうね。

いよいよ逝くときは、古い体をこちらに残して20代の若さになって逝くんだって。丹波哲郎が言ってましたよ。

「そうかあ、いいねえ、先生も一緒に逝こう！」

うん～、帰りの切符があればね。

思い出に残るお二人です。

愛犬との食卓

宮崎市 丸山胃腸科クリニック まる やま りょう 丸 山 亮

トイプードル（成犬）の適正体重は3～4kgのようだ。

都城の実家に、11歳のトイプードルがいる。体重は8kg。昔からパンやお菓子をたくさん食べていたが、最近糖尿病と診断された。血糖が700あり、ただちにインスリン治療が開始された。現在、両親が注射を行い、血糖は200まで下がってきた。

私の家にも、11歳のトイプードルがいる。体重は6.5kg。いつの間にか、人間の食べ物の味を覚えてしまっていた。朝はドッグフードを用意するが、かなりの空腹でないと手をつけない。昼は私が食べたすと、しっぽをプリプリ振りながらかけ寄ってくる。座っている私の左腕に前脚をのせ、全体重をかけながら器の中の食べ物をじっとのぞきこむ。さらに、食べ物が私の口に入るまでを大きな目で追いかけてくる。よだれが私の左腕に垂れることもある。この（食べたいの）アピールに負け、肉や麺をつい与えてしまう。食べ物がなくなると、朝残しておいたドッグフードのもとへ去っていく。夜は家で鍋をすることが多いが、準備が整うと小さなヒヨコのおもちやをくわえ、ピーピー鳴らしながらかけ寄ってくる（昼よりも強いアピールだ）。好物の豚バラはボウルに入れたお湯で味を取り除き、脂身をハサミで切って与えるが一瞬で平らげてしまう。たまに手羽先やアイスクリームが出てくると、「待て」の合図を無視して勝手に

食べてしまう。

実家の犬のこともあったので、先日動物病院で血液検査を行ってもらったが、幸い糖尿病ではなかった。犬の糖尿病は1型が多いようだ。当日はお祝いに、モロゾフのプリンと一緒に食べた。

知り合いの愛犬家から、犬に人間の食べ物を与えたらダメといつも怒られるが、この習慣だけは直せそうにない。お腹をこわさないように、またこれ以上体重が増えないように、できるだけ配慮していきたい。

大分旅行

延岡市 井上病院 いし ばし とし ひで 石 橋 俊 秀

長崎鼻リゾートキャンプ場

令和5年8月20日(日)、豊後高田市に入って、交差点の停止位置がキラキラ光っているのに気づいた。「なんのために光らせているのだろうか」と思った。

後で調べてみたら、キラキラ光る道路の正体はガラス廃材を粉砕してアスファルト舗装に混ぜて使う「ガラスカレットアスファルト道路」だった。ガラスの光を反射する性質を利用して路面の視認性を高め、運転者の視認誘導や注意喚起など安全走行に貢献している。欠点としては、路面の摩擦抵抗が減るので轍わだちができやすくなり、事故を誘発しかねないことだ。ガラスを細かくし過ぎると吸水性が悪くなり、前を走る車の水しぶきが上がって視界が悪くなる。

途中の道路に「恋叶ロード」というロマンチックな標式がいたるところにあった(写真1)。



写真1 恋叶ロード標式

調べてみると、恋叶ロードは「“こいかな”ロード」と読ませるらしく、豊後高田市の海岸線を走る国道213号で約20km続いていた。縁結びで有名な粟島神社、真玉海岸、花とアートの岬・長崎鼻、恋叶トンネル、海門温泉や昭和の町などがあるそうだ。恋叶トンネル(正式名は真玉人道トンネル)は人間専用のトンネルで、訪れた人が楽しく写真を撮れるように、15点の壁画(アイアイ傘、恋叶ロード行きバス停など)が描かれている。アート作品は一般公募から選ばれたものらしい。

奥の駐車場に車を停めて、ヒマワリ見物に出掛けた。そのとき、近くの飲用水の自販機にアートが描かれているのを発見した。最盛期には120~150万本のヒマワリが花を咲かせるらしい。しかし、今年は長雨のために生育が不良で、植え替えが行われたが生育したのは約7割らしい。

次の目的地に向かう途中で「黄緑色のポスト」を見かけた。戻って確かめると、投函口は閉鎖されていて、交通安全のために再利用されていた。また、おおが(大神)ファームに近づいたところにハーモニーランドを見かけた。

おおが(大神)ファーム

広々とした園内を気ままに散策した。主な訪問目的はヒマワリだった。それ以外にもハーブをはじめいろんな花が栽培されていた。そんなときに季節外れのコスモスを見つけた。赤、白、ピンクやピンクと白の斑を見つけた。木製のブランコやシーソーも木陰で見つけた。

別府ロープウェイ

知人が「別府ロープウェイは素晴らしい」と自慢していたので、16:00発に初乗車した。真ん中あたりで下りのロープウェイとすれ違い、鶴見山頂駅に16:10ごろ到着した。

下車すると、巨大な温度計が設置してあった。地上では30度近くあったが、この温度計は20度を示していたので、地上との温度差が実感できた。「鶴見岳は標高1,375mなので、10度くらい低くても当然だ」とも思った。

私が鶴見岳山頂を目指したら、約15分掛かった。頂上で歩いて登って来た登山客と出会った。縁あって写真を撮影してもらえた(写真2)。帰りに別府市や大分市、国東半島がよく見える展望所にも立ち寄った。



写真2 鶴見岳山頂

『近くの病院』で 『長く』『広く』付き合う

日向市 千代田病院 ^{みず}水 ^の野 ^{たか}隆 ^{ゆき}之

日向市に赴任してきて5年が過ぎた。それまでは大学病院や県病院など公的な病院でお世話になっており、今回初めて一般病院での勤務となった。

赴任するまでは「そこまで大きな変化はないだろう」と内心思っていた。実際に外科としての主な仕事である手術は、長時間かかるようなものは確かに減ったが一般的な手術は変わらずあり、先輩が多いために手技についてもいろいろな角度からの見え方を教わり、手術知見の幅が広がっている実感がある。病棟業務についても混合病棟であるために看護師は慌ただしくしているが、外科業務をする個人的な仕事としてはほぼ変化はない。しかし、外来業務については午前診療が主だが、午後にも診察希望者が普通に来院されて定期処方や処置を行っている。救急患者が優先はされるものの、救急患者のみを診察していればよいという訳にもいかない。このことにもつながるが、一番のギャップがこれまで治療（手術）が終了して「あとは近くの病院で診てもらって」と終診にできていた人たちがほとんどずっと通院されていることであった。すぐに『近くの病院』がここなんだ」と気がついた。治療が終了したあとも治療前からの降圧剤・高脂血症薬・緩下剤などの薬をもらいにこれまでどおり『長く』通院されている。そうこうしていると、直近にもあったが症状

変化があり、また別の大きな病気を診断することがある。病気に対する不安はあるものの発見できたことに感謝され、大病の場合には高次医療機関へ治療依頼をして、のちに『近くの病院』へ笑顔で帰って来られることも実に喜ばしいことと思えた。もちろん高齢者も多く、不幸な最期に立ち会うことも多くなったが、以前よりも患者本人やご家族など『広く』関係構築できるようになった印象がある。これも長く付き合うことで増えた無駄な会話の賜物なのであろう（診療時間が長くなる問題もあるが…）。

個人の性分にもよると思うが、個人的には『長く』『広く』付き添える医療も気に入っている。そして『近くの病院』としての機能を楽しみながら日々の生活を送っている。

ミュージアムショップ

宮崎市 東皮膚科 ^{ひがし}東 ^{くみこ}久美子

上野、六本木の美術館に美術展を観に行くことがあります。混んでいると人の頭の間から絵の断片しか見ることができません。評判になる展覧会には多くの人が訪れます、殺到すると言ってもよいくらいです。隙間を探し背伸びし体をひねって覗きながら「見たと言えるのか？」と思いますが仕方ありません。

展示室を巡った後、会場出口近くに販売所があります。美術館によっては品揃えのよいミュージアムショップが併設されています。

ここでは絵葉書とか複製画で全体を眺めることができます。ポスターと記念撮影用のパネル、ミュージアムショップにある絵葉書でしか作品の全体を見られないのもどうかと思いますが、断片だけ見て帰るよりはよいです。

ショップでの目当ては展覧会の記念品です。高価な複製画や絵のモチーフを基にしたアクセサリーやスカーフにはとても心惹かれますがどんな人が買うのだろうと思いながら眺めるだけ、ジグソーパズルは遊ぶ時間と根気が足りないので諦め、小さな値の張らない物を買うことになります。結果、家の冷蔵庫にはマグネット式のロダンの地獄の門(考える人付)、佐伯祐三の描くパリの郵便配達夫、フェルメールの真珠の耳飾りの少女がくっつき、私のバッグにはエジプトの猫が数匹ぶら

下がっています。小さなバベルの塔の入ったスノードームは大のお気に入りです。新国立美術館、森美術館は何度か行きました。ショップもとても広く、置いている品は定番の絵葉書もありますが買える美術品と呼べそうな品もあります。ヒエロニムス・ボス作中モチーフの手作り革細工は今でも思い出すほどの不気味さと可愛らしさでした。

この文を書きながらもしやと思い検索してみるとオンラインミュージアムショップを何店か発見、アーティゾン美術館ショップに透明な樹脂部分に絵のモチーフを使った歯ブラシを見つけました。安価で美しくつい注文しました。衝動買いでできるのもミュージアムショップの魅力です。

俳句

ニューイヤークンサート

宮崎市 田崎皮膚科医院 田崎高伸

春駒の追いつ追はれつ都井岬

乗り慣れしベントツに別れ春の雨

湯気のたつ鍋物今日もありがたふ

幸せを世界にニューイヤークンサート

セーターで妻と二人でウォーキング

一年の歩みを語る古暦

戦争を知らぬ世代のハロウween

密かな報告

宮崎市 宮崎大学医学部附属病院 みしまはるか 三嶋悠佳

誠に勝手ながら、私の密かな目標が達成されたことをこの場を借りてご報告させていただきたい。先日、47都道府県の地を制覇した。

私には漠然と、47都道府県すべてに行ってみたい、という願望があった。大学在学中に準硬式野球部に所属しており、遠征でさまざまな場所を訪れるうちにそう思うようになった。大学卒業から研修医にかけてCOVID-19が流行し、卒業旅行や研修医の息抜き旅行も国内旅行となった。そのうち、進学も就職も宮崎県を選んだ私は、自分に時間とお金をかけられるうちに47都道府県を制覇しようという密かな目標ができた。

まだ一度も足を踏み入れたことがない都道府県ラスト3つに選ばれたのは、青森県と岐阜県と鳥取県であった。宮崎県からのアクセスが困難な3つが残った。

青森県は、研修医の同期を誘って達成した。北海道から新幹線に乗って青函トンネルを通り、青森県に足を踏み入れた。アップルパイが絶品であった。

岐阜県は、世界遺産に行きたい幼なじみと意気投合し、白川郷を訪れて達成した。白川郷は外国人観光客であふれており、日本旅行

のなかで白川郷観光をチョイスする外国人のセンスに感嘆した。

そして最後は鳥取県。つい先日やっと足を踏み入れた。往路は宮崎から熊本までバス、熊本から岡山まで新幹線、岡山から鳥取まで電車。復路は鳥取から大阪までバスで出て、大阪から宮崎まで飛行機。この長距離移動は、読んでみたかった小説片手であればあつという間であった。朝6時に1人で鳥取砂丘を訪れた私を、タクシーの運転手さんは不思議そうに、かつ心配そうにしていた。鳥取砂丘から日本海を眺め、深呼吸をして、宮崎に戻ったらまた頑張ろうと自分を鼓舞した。よき旅であった。

ただの自己満足の文章になってしまったが、目標自体が自己満足なのでお許しいただきたい。日本国内であろうと、知らない土地は発見や驚きが多く、家と病院の往復では感じない新鮮な気持ちを経験することができる。もちろん、仕事は頑張りつつ、ではあるが。



早朝の鳥取砂丘

お知らせ

地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について

宮崎県医師会では、地球温暖化防止に向けて、**5月1日から10月31日**までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装（クールビズ）の実践に取り組みます。

会議などの場合でも軽装（ノーネクタイ・半袖など）で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

宮崎県医師会理事業務分担

(令和6年6月15日～令和8年6月の定例代議員会最終時まで)

[令和6年6月15日現在]
◎は主担当, ○は副担当

小牧副会長

- 総務 ◎市来常任理事
- 学術・生涯教育 ◎嶋本常任理事○市来常任理事・落合常任理事・峰松理事
- 医療保険 ◎嶋本常任理事○市来常任理事○田畑理事・池井常任理事・高木常任理事
赤須常任理事・玉置常任理事・佐々木理事・上山理事・山中理事
- 倫理・自浄 ◎落合常任理事○上山理事・荒木常任理事・市来常任理事・大塚常任理事
佐々木理事
- 治験 ◎吉田常任理事○嶋本常任理事
- 医事紛争 ◎荒木常任理事○市来常任理事・金丸副会長
- (医療事故調査関連) ◎市来常任理事○荒木常任理事・金丸副会長
- (医事紛争・苦情関連) ◎玉置常任理事○市来常任理事・山中理事
- 死因究明・警察協力 ◎吉田常任理事○山中理事・落合常任理事・上山理事・田畑理事
- 健康教育 ◎大塚常任理事○河原理事・池井常任理事・落合常任理事・吉村理事
- スポーツ医学 ◎峰松理事○高木常任理事
- 環境公害問題 ◎高木常任理事○峰松理事・上山理事
- 予防接種 ◎嶋本常任理事○高木常任理事・峰松理事・上山理事
- 母子保健・母体保護 ◎高木常任理事○佐々木理事・玉置常任理事・上山理事・松岡理事
- 学校保健 ◎池井常任理事○河原理事・大塚常任理事・吉見常任理事・吉村理事
- 産業医 ◎赤須常任理事○吉村理事・佐々木理事
- 会員福祉 ◎佐々木理事○池井常任理事・河原理事
- 有床診療所 ◎河原理事○赤須常任理事
- 労災・自賠 ◎大塚常任理事○赤須常任理事・吉見常任理事・吉村理事・松岡理事
- 組織強化・将来構想

河野会長

- 会計 ◎荒木常任理事
- 地域医療 ◎玉置常任理事○赤須常任理事○大塚常任理事・吉田常任理事
高木常任理事・落合常任理事・峰松理事・田畑理事・山中理事
松岡理事
- 医師確保対策 ◎大塚常任理事○落合常任理事・池井常任理事・嶋本常任理事・上山理事
- プライマリ・ケア ◎玉置常任理事○松岡理事・池井常任理事
- 在宅医療 ◎吉見常任理事○内藤理事・市来常任理事・高木常任理事・玉置常任理事
- 救急災害医療 ◎落合常任理事○田畑理事・池井常任理事・赤須常任理事・吉見常任理事
山中理事
- へき地医療 ◎大塚常任理事○山中理事・吉村理事・松岡理事
- 共同利用施設 ◎赤須常任理事○吉見常任理事・市来常任理事
- 男女共同参画 ◎上山理事○荒木常任理事・落合常任理事・田畑理事・松岡理事
内藤理事
- 介護保険 ◎吉見常任理事○荒木常任理事○内藤理事・玉置常任理事・山中理事
河原理事・吉村理事
- 医療関係者対策 (看護学校) ◎赤須常任理事○吉見常任理事・市来常任理事・山中理事
- (医療従事者・働き方改革) ◎池井常任理事○赤須常任理事・嶋本常任理事・田畑理事・吉村理事
- (医療秘書) ◎池井常任理事○田畑理事・山中理事
- 情報システム(医療DX) ◎嶋本常任理事○田畑理事・荒木常任理事・松岡理事
- 勤務医 ◎田畑理事○落合常任理事・嶋本常任理事・峰松理事・山中理事
内藤理事
- 公衆衛生 ◎吉田常任理事○峰松理事・高木常任理事・嶋本常任理事・大塚常任理事
落合常任理事
- 感染症・コロナ ◎峰松理事○吉田常任理事・高木常任理事・嶋本常任理事・大塚常任理事
落合常任理事
- 税制 ◎吉村理事○吉田常任理事・玉置常任理事
- 日医年金 ◎山中理事○吉田常任理事
- 広報 ◎荒木常任理事○高木常任理事・佐々木理事・田畑理事

金丸副会長

※医療保険, 地域医療, 介護保険並びに組織強化・将来構想に関しては担当役員を決めているが, 担当理事者会, 各種協議会, 個別指導, 診療報酬改定など状況に応じて全役員が柔軟に対応する。

特 集

宮崎大学医学部・旧宮崎医科大学開講50周年記念事業



開講 50 周年



第8回 これからの50年 ～明日の宮崎の医療を担う人材育成～

宮崎大学医学部 病態解析医学講座 放射線医学分野 教授 あずま 東 みなこ 美菜子

宮崎大学は「世界を視野に、地域から始めよう」をスローガンに、地域に根ざす国立大学法人としてのミッションを担い、特色ある教育・研究・地域貢献、国際連携などの大学改革に取り組んでいます。医学部では、教育・研究・診療を通して地域社会や人類全体の健康と福祉の増進に寄与し、最新の幅広い知識と確かな技術を持ち、常に向上のための努力を惜しまない医師、研究者、教育者の育成に取り組んでいます。

【キャリア形成プログラム】

宮崎大学医学部では、地域・社会の発展に寄

与しうる人材の育成を基本目標の一つとし、将来地域医療を担う医療人の養成を使命としています。

宮崎県、宮崎県教育委員会、宮崎県医師会と宮崎大学は、令和2年10月26日に「宮崎県医師養成・定着推進宣言」を発し、

- ① 地域枠の適切な定員設定と医学生教育の充実
- ② 宮崎県キャリア形成プログラムに基づく若手医師の養成・確保
- ③ 医師の勤務環境の改善による県内定着促進に重点をおき、関係機関が一体となった「オールみやざき」の連携体制を強化しています。



令和2年10月26日 宮崎県医師養成・定着推進宣言

直近の改革では、令和4年度入学者選抜から地域枠をA/B/Cの3枠に再編し、恒久定員内で地域枠を15名増の40名に拡充したことに加え、全国の高等学校を対象に地域枠C「日本のひなた枠」(定員15名)を新設し、地域枠入学に適用されるキャリア形成プログラムに則った医師の養成と宮崎県地域医療の充実に取り組んでいます。

地域枠学校推薦型選抜	
地域枠A 10人	宮崎県内の高等学校を今年度卒業見込みの方
地域枠B 15人	宮崎県内の高等学校を卒業後2年以内の方、または卒業見込みの方
地域枠C 15人	【日本のひなた枠】 宮崎県を含めた全国の高等学校を卒業後2年以内の方、または卒業見込みの方

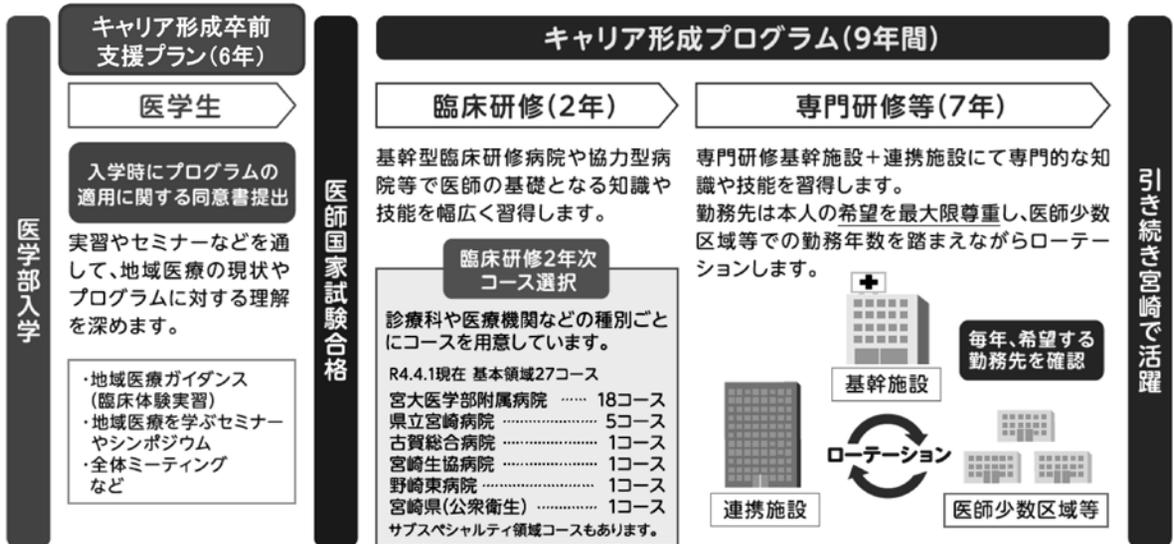
【キャリア形成プログラムの流れ】

医学部医学科を卒業後、臨床研修から9年間、宮崎県内の医療機関に所属し、そのうち4年間を医師少数区域など*で勤務します。

(*宮崎県では、宮崎市・国富町・綾町を除くすべての地域)

宮崎県キャリア形成プログラムでは自由に診療科を選択できる他、プログラム期間中、

- 県外の医療機関での研修や大学院進学、海外留学など希望する場合は、通算5年間プログラムを中断可能
- 出産や育児、介護などのライフイベントに応じて、年数に上限なくプログラムを中断可能とし、個々のキャリアを尊重したプログラムを進めています。



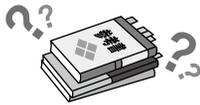
宮崎大学医学部・旧宮崎医科大学
開講50周年記念事業ホームページ

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/50thanniversary/>

記念事業へのご寄付に、何卒ご協力お願い申し上げます。



開講50周年記念事業
ホームページはこちら



あなたできますか？

—令和5年度 医師国家試験問題より—

(解答は51ページ)

1. 腹膜炎の所見でないのはどれか。
 - a 反跳痛
 - b 筋性防御
 - c 打診による圧痛
 - d 踵下ろし試験陽性
 - e Courvoisier徴候陽性
2. リハビリテーションで誤っているのはどれか。
 - a 発症後早期に開始する。
 - b 患者の社会参加を支援する。
 - c 患者の生活機能の改善を目指す。
 - d 患者の目標を多職種で共有する。
 - e 患者の機能障害の固定を目標とする。
3. 終末期がん患者の抑うつ状態への対応で正しいのはどれか。
 - a 不安について医師からは尋ねない。
 - b 誰でも辛いのでから耐えるよう伝える。
 - c 希死念慮の話題を始めた時には制止する。
 - d 楽しかった過去の話については聞き流す。
 - e 気持ちの辛さについて優先順位をつけて対応する。
4. 局所振動による健康障害でみられるのはどれか。
 - a Gottron徴候
 - b Heberden結節
 - c Osler結節
 - d Raynaud現象
 - e Romberg徴候
5. 成人の鼠径ヘルニアで正しいのはどれか。
 - a 高齢女性に多い。
 - b 外ヘルニアである。
 - c 内鼠径ヘルニアの頻度が高い。
 - d 腹膜鞘状突起の閉鎖不全が原因である。
 - e 開腹手術の既往はリスクファクターである。
6. 閉塞性黄疸に伴いやすい症状はどれか。
 - a 紫斑
 - b かゆみ
 - c 黒色便
 - d 立ちくらみ
 - e 肉眼的血尿
7. 患者に進行がんの告知をする際に適切なのはどれか。
 - a 家族は同席させない。
 - b 一度だけ説明すればよい。
 - c 患者の解釈モデルは聴取しない。
 - d 患者の理解度にかかわらず手短かに説明する。
 - e 悪い知らせを聞く意思があるかどうかを患者本人に確認する。
8. 肝細胞癌に対するラジオ波焼灼術の施行時に用いられるのはどれか。
 - a 腹部MRI
 - b 腹部超音波
 - c 超音波内視鏡
 - d 腹部血管造影
 - e 上部消化管内視鏡
9. 80歳の女性。脳梗塞後、誤嚥性肺炎で入院となった。抗菌薬を7日間投与した。肺炎は軽快傾向にあるが、1日10回以上の水様性下痢が出現した。意識は清明。身長154cm、体重43kg。体温37.3°C。脈拍72/分、整。血圧136/80mmHg。呼吸数18/分。SpO₂97% (room air)。心音と呼吸音とに異常を認めない。腹部は平坦で、下腹部に軽い圧痛あり。血液所見：赤血球380万、Hb11.0g/dL、白血球10,100、血小板21万。血液生化学所見：総蛋白7.3g/dL、アルブミン3.9g/dL、総ビリルビン0.8mg/dL、AST30U/L、ALT35U/L、LD140U/L (基準124~222)、γ-GT30U/L (基準9~32)、アミラーゼ100U/L (基準44~132)、尿素窒素12mg/dL、クレアチニン0.8mg/dL、血糖98mg/dL。CRP1.2mg/dL。腹部エックス線写真で異常を認めない。

この時点で実施すべき検査はどれか。

 - a 便潜血
 - b 便培養
 - c 尿素呼気試験
 - d 便中CDトキシソ
 - e α₁アンチトリプシン試験
10. 38歳の女性(3妊0産)。強い腹痛を主訴に救急車で搬入された。月経周期は28日型、整。最終月経は7週間前。本日から突然強い下腹部痛を自覚したため救急車を要請した。性器出血を認めない。意識は清明。体温37.1°C。心拍数116/分、整。血圧78/52mmHg。呼吸数20/分。SpO₂98% (room air)。腹部は軽度膨隆し右下腹部に圧痛と反跳痛を認める。妊娠反応陽性。腹部超音波検査でMorrison窩とDouglas窩に低輝度の液体貯留像を認める。経膈超音波検査で子宮内膜の高輝度肥厚および右付属器領域に不整形低エコーを認める。

この患者への適切な対応はどれか。

 - a 緊急手術
 - b 子宮鏡検査
 - c 子宮動脈塞栓術
 - d 1週間経過観察
 - e 葉酸代謝拮抗薬投与

エコー・リレー

(588回)

(南から北へ北から南へ)

スーツ

宮崎市 藤木病院 藤木 啓



本年6月の学会でシンポジストの依頼を受けた。何を着ていこうか迷ってクロゼットを眺めてみたが、夏用のスーツがない。ちょうどスーツ屋をやっている古い友人から“いい生地は

いったよ”という連絡もあっていたため、これはよいチャンスだと思い、熊本の友人のお店に行くことにした。

スーツといえば、10代のころは60年代のMODSの人たちが着ていた細身のスーツに憧れ、20代のころは50年代のエルビスプレスリーが着ていたような50'Sのスーツに憧れ、30代になると友人のミュージシャンたちの影響を受けてSWINGやジャンプブルースの人たちが着ていた太いパンツにタイトなジャケットの40年代のスーツに憧れ、と音楽を感じるスーツに憧れて探し求めてきた。幸い洋服屋の友人たちが多かったため、スーツを作るたびにどれも大きくイメージから外れることはなかった。

かくして、古くからの音楽友達である友人との対話は面白く、一緒に作り上げていったのであるが、できあがったスーツは満足のいくものであった。心残りは、気持ちのよさそうなアイリッシュリネンでスーツを作ろうと思ってたら、“学会で使うにはこっちの生地の方がいいですよ”といわれて心地のよいフレスコの生地に変えたこと。

今回は伊達男が着ているようなアイリッシュリネンで作ろうかな、と画策しているところである。

[次回は、宮崎市の高村 一紘先生をお願いします]

クリニックはじめました

小林市 みまつこどもクリニック 柳邊 秀一



3年前の私は、こうしてエコー・リレーを投稿することになるとは考えてもいませんでした。コロナ禍で双子を授かり、子どもが1歳になるころに安住の地を求めて、小児科医の少ない

小林市での開業を決めました。その後はさまざまな人たちのサポートのお陰で、無事2023年11月に「みまつこどもクリニック」を開院、三松小学校と三松中学校の間にあることから名前は決めました。開院後はバタバタでしたが、予防接種の失敗以外には大きなトラブルもなく半年を終えることができました。縁もゆかりもなかった小林市での開業で不安でしたが、小林市の患者さんは皆さん優しく、優柔不断な私に対して不満や苛立ちを訴える患者さんはいませんでした。インフルエンザシーズンでの開業で、イオンであった患児には「鼻グリの先生」と言われ心を痛めつつも、和気あいあいとした雰囲気診療しています。外来診療では迷っている時間がほぼなく、ある程度ルーティン化して、その中で異常な子をピックアップする必要があり、勤務医との違いに四苦八苦しています。この半年で開業医として精神的に成長することができましたが、物理的にも成長してしまい、会う人会う人「丸くなったね(笑)」と言われる始末。最近、近所に食事に行くと体型のためか「ご飯大盛にされますか？」とよく聞かれます。ダイエット中ですが迷わず「お願いします」と言ってしまう、美味しく食事を楽しめています。よい所に開院できたので、引き続き頑張ります。

[次回は、都城市の児玉 隆志先生をお願いします]

メディアの目



待合室の思い出

読売新聞 宮崎支局長

むら おか つね よ
村 岡 経 世

いまだに絵文字や「(笑)」を使うのが下手である。家族や知人とのやりとりにLINEを使っているものの、送信済みのメッセージを見返すと、なんとなく事務的で冷たい文面にがっかりしてしまう。私的な連絡にスマホを使う頻度が高くないこともあり、病院の待合室で診察を待つ間は、本を眺めているのが落ち着く。本棚があると、新たな本に出会うかもしれないと期待が膨む。

幼少期、北国で育った。何度か訪れた医院の待合室で、防寒着を脱いで本棚から同じ本を手取るのが習慣になっていた。「宇宙」(福音館書店)という絵本だった。身近な動物が走ったり跳んだりする速さ、人間が作り上げた飛行機や人工衛星のスピードなどが説明された後、光のスピードで進んでも到達するまで長い時間がかかる星雲などが登場する。より速く、より遠くへと広がっていくストーリーにわくわくした一方、とてつもなく遠い星は暗く、寒く、音もないようなところなのではないかと想像してしまい、怖かった。

宇宙の壮大さが描かれている本なのだが、物語の起点はノミのジャンプ力の話。ノミが人間の大きさだったのなら、高層ビルでも跳び越えられる——。それだけ高く跳び上がり、地面に

落ちても生きている小さな虫の能力に興奮した。それから約30年後、九州の書店で懐かしい表紙に再会した。開いた刹那、遠い宇宙への恐れや、ノミの驚異的な身体能力を思い出した。この本は60刷以上を重ねており、今も書店に並ぶ。

昨年の「全国学力テスト」の際に行われたアンケートでは、読書が好きだったり、新聞に親しんだりしている児童生徒ほど成績がよい傾向が示された。文部科学省は学校図書館などの環境整備を推奨しており、2022年度からの5か年計画では、古くなった本の買い替えや専門知識を持つ学校司書の配置、学校図書館への新聞の複数紙配備などを掲げている。

宮崎県教育委員会も生涯読書活動を進めている。推進計画の柱の一つに「地域・職場における読書活動の推進」があり、病院など身近な場所に本を手にとることができる場をつくる機運の醸成に努めると記されている。

病院で出会う本が、誰かの人生に彩りを与えるかもしれない。経営者の方々が待合室に多くの本を並べてもらえるとありがたく思う。ぜひとも新聞も(笑)

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

第35回 入院費用未払と連帯保証人について



Q.

当初、生活保護を受給されていた患者が当院に入院したところ、自宅が高額な金額で売却できたので生活保護から除外されました。しかし、その売却代金を患者の親族がすべて使い切ってしまったために、患者本人は無一文の状態となり、入院費用を支払うことができないと申告してきました。入院費用が高額となっているため、当院としては早期に退院してもらい、連帯保証人にも支払ってもらおうと考えているのですが、どうすればよいのでしょうか。

まず退院の可否については、入院費用が払えないことを理由に、いまだ治療を要する状態の患者を強制的に退院させることは問題となります。一方、医学的に入院加療の必要がないと判断した場合には、速やかな退院を求めることは問題ありません。

次に、入院治療を受ける患者の入院治療費の担保のために、入院時に連帯保証人と連帯保証契約を締結するケースが多く見られます。しかし民法の改正により、このような包括的な債務（入院に要する治療費など含めた一切の債務）の保証を求める連帯保証の場合、その保証する上限額として極度額を定める法的義務が発生しました。**つまり、今後締結する連帯保証契約で極度額を定めていない場合、その連帯保証は無効となります。**そのため、**もし旧来の極度額の定めのない連帯保証契約書で運営されている病院は、至急新法に合わせて極度額を定めた書面に変更されるよう強くお勧めします。**なおこの場合の極度額は、不合理に高額でなければ病院ごとの判断で決めて問題ありません（30万円や50万円が多い印象です）。そのうえで、患者さんおよび連帯保証人には、毎月いくらなら支払えるのかを書面で取り交わし、約束した金額を確実に支払ってもらうことが大切です。

確かに、医療費の未払いに対して病院がどれだけ厳しい債権回収を図うべきかは、医療が社会的インフラという側面から難しい問題もありますが、本件の場合支払える状況であったものを散財したために払えないという点で悪質と評価されるものです。この場合に、もし滞納が生じた場合には、60万円以下の金銭賠償を求める場合に活用できる少額訴訟を利用することも1つの手段となります。

以上のように、法律の改正により病院運営を大きく変動させなければならないことも多くあります。ご自身の病院管理書面の改訂が間に合わない場合には、顧問弁護士などを活用するうえ、適切な管理書面を作成し、病院の運営を守っていくことが大切です。

(回答 宮崎県医師協同組合顧問弁護士
弁護士法人きさらぎ 代表弁護士 高山 桂)

A.



<医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール (genko@miyazaki.med.or.jp), FAX, 郵送などでお送りください。
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

宮崎県感染症発生動向 ～6月～

令和6年6月3日～令和6年6月30日（第23週～第26週）

■全数報告の感染症

- 1類：報告なし。
- 2類：○結核9例（男性7例・女性2例）：保健所別報告数は【図1】のとおりであった。病型は肺結核が8例、疑似症患者が1例であった。年齢別報告数は【表1】のとおりであった。
- 3類：○腸管出血性大腸菌感染症1例：日南保健所管内から報告があった。年齢は50歳代で、主な症状として、水様性下痢がみられた。原因菌はO血清群不明（VT2）であった。
- 4類：○重症熱性血小板減少症候群（SFTS）3例：宮崎市，延岡，日南（各1例）保健所管内から報告があった。年齢は70歳代が2例，80歳代が1例で，1例にダニの刺し口があった。主な症状として，発熱，下痢，頭痛，神経症状，全身倦怠感，血小板減少，白血球減少，リンパ節腫脹，出血傾向，紫斑，消化管出血，ふらつき，意識障害，全身搔痒感がみられた。
 - レジオネラ症2例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は70歳代と80歳代で，病型は，いずれも肺炎型であった。主な症状として発熱，咳嗽，呼吸困難，肺炎がみられた。
- 5類：○クロイツフェルト・ヤコブ病1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は40歳代で，診断の確実度は，確実であった。主な症状として進行性認知症，ミオクロヌス，錐体路症状，小脳症状，視覚異常，異常感覚がみられた。
 - 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は30歳代で，主な症状としてショック，軟部組織炎，中枢神経症状がみられた。
 - 梅毒8例（男性4例・女性4例）：保健所別報告数は【図2】のとおりであった。病型は，早期顕症梅毒Ⅰ期が7例，早期顕症梅毒Ⅱ期が1例であった。年齢別報告数は【表2】のとおりであった。主な症状として初期硬結，鼠径部リンパ節腫脹，梅毒性バラ疹，丘疹性梅毒疹がみられた。
 - 播種性クリプトコックス症1例：日南保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，主な症状として呼吸器症状がみられた。
 - 破傷風1例：都城保健所から報告があった。年齢は80歳代で，主な症状として，筋肉のこわばり，開口障害，嚥下障害，発語障害，呼吸困難（痙攣性）がみられた。
 - 百日咳4例：日向（2例），高鍋，中央（各1例）保健所管内から報告があった。年齢別報告数は，5～9歳が2例，0～4歳と10～14歳が各1例であった。主な症状として持続する咳，夜間の咳き込み，スタックート，嘔吐がみられた。ワクチン接種歴はいずれも有った。

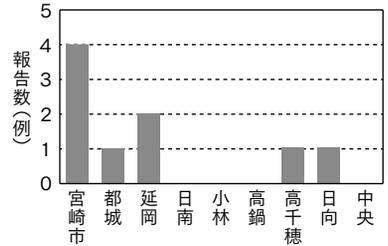


図1 結核 保健所別報告数(例)

表1 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
20歳代	1
60歳代	2
70歳代	2
80歳代	4

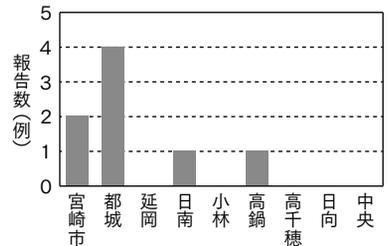


図2 梅毒 保健所別報告数(例)

表2 梅毒 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
20歳代	2
30歳代	3
40歳代	2
50歳代	1

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は5,082人（定点あたり124.1）で，前月の122%，例年（新型コロナウイルス感染症は除く）の134%であった。前月に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症，RSウイルス感染症，手足口病及びヘルパンギーナで，減少した主な疾患はインフルエンザ，咽頭結膜熱，A群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。また，例年同時期と比べ

■病原体検出情報（微生物部）

		検出病原体	件
細菌		EHEC (O26:H11 VT1)	1
		Rhino virus	1
ウイルス		Human herpes virus 7	1
		Influenza virus B (Victoria lineage)	1
		Coxsackievirus A6	1
		Parainfluenza virus 3	1
		Cytomegalovirus	1
		Parainfluenza virus 1	1

て報告数の多かった主な疾患はRSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘及び手足口病であった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は1,759人(30.3)で前月の約2.4倍であった。日南(56.8)、都城(38.1)、高千穂(36.5)保健所からの報告が多く、15歳未満が全体の約3割を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は989人(27.5)で前月の約0.9倍、例年の9.8倍であった。宮崎市(37.6)、日南(33.3)、延岡(30.5)保健所からの報告が多く、4歳から8歳が全体の約半数を占めた。

■月報告対象疾患の発生動向(2024年6月)

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は40人(3.1)で、前月比114%と増加した。また、昨年6月(3.4)の約0.9倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数22人(1.7)で、前月と同程度、昨年6月の約0.9倍であった。20歳代が全体の約7割を占めた。(男性6人・女性16人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数8人(0.62)で、前月の約2.7倍、昨年6月の約1.3倍であった。(女性8人)
- 尖圭コンジローマ：報告数4人(0.31)で、前月と同率、昨年6月の約0.6倍であった。(女性4人)
- 淋菌感染症：報告数6人(0.46)で、前月の1.2倍、昨年6月と同率であった。(男性3人・女性3人)

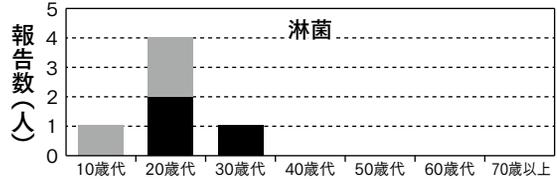
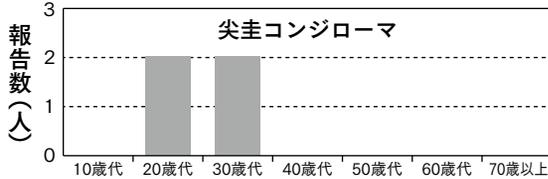
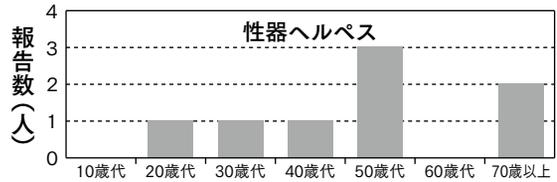
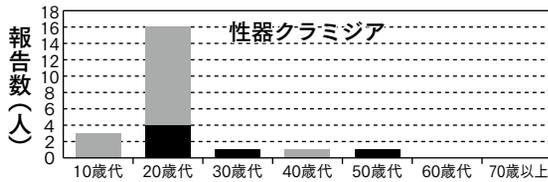
前月との比較

	2024年6月		2024年5月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	22	0.4	44	0.8	
新型コロナ※1	1,759	30.3	729	12.6	
RSウイルス感染症	553	15.4	336	9.3	★
咽頭結膜熱	82	2.3	159	4.4	
溶レン菌咽頭炎※2	989	27.5	1,091	30.3	★
感染性胃腸炎	724	20.1	723	20.1	
水痘	22	0.6	35	1.0	★
手足口病	707	19.6	557	15.5	★
伝染性紅斑	10	0.3	5	0.1	
突発性発しん	65	1.8	94	2.6	
ヘルパンギーナ	125	3.5	71	2.0	
流行性耳下腺炎	11	0.3	8	0.2	
急性出血性結膜炎	0	0.0	2	0.3	
流行性角結膜炎	10	1.7	17	2.8	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	1	0.1	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	2	0.3	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い

※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



■男 □女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は25人(3.6)で、前月比147%と増加した。また、昨年6月(2.4)の約1.5倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数25人(3.6)で、前月の約1.6倍、昨年6月の1.5倍であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

(宮崎県衛生環境研究所)

各 郡 市 医 師 会 役 員 等 名 簿

紙面の都合により、会長、副会長、理事、監事、議長、副議長のみ掲載します。

宮崎市郡医師会 (令和6年6月26日定時総会終結後～ 令和8年6月定時総会終結時)	総務理事	瀬ノ口 洋 史	”	平 嶋 智 之
	理 事	三 嶋 和 也	”	岩 谷 健 志
	”	横 山 剛	監 事	吉 田 建 世
	”	西 浦 亮 介	”	早 田 泰 英
	会 長	高 村 一 志	”	宮 本 義 明
	副 会 長	牛 谷 義 秀	”	議 長 木 下 義 美
	”	市 来 能 成	”	副 議 長 川 名 修 徳
	”	白 尾 一 定	”	
	理 事	尾 田 朋 樹	”	
	”	田 中 宏 幸	”	
	”	玉 置 昇	”	
	”	内 野 竜 二	”	
	”	遠 藤 豊	監 事	
	”	真 柴 晃 一	”	
	”	中 村 究	”	
	”	上 山 貴 子	議 長	
	”	菊 池 安 剛	副 議 長	
”	増 田 好 成			
”	佐 藤 潤 一 郎			
監 事	楠 元 直			
”	名 越 敏 郎			
”	石 坂 裕 司 郎			
議 長	福 元 廣 次			
副 議 長	前 野 正 和			
 日向市東臼杵郡医師会 (令和6年6月8日定時総会終結後～ 令和8年6月定時総会終結時)				
	会 長	今 給 黎 承		
	副 会 長	堀 之 内 和 代		
	”	森 迫 和 仁		
	理 事	田 代 慎 二 郎		
	”	鮫 島 仁 彦		
	”	家 村 文 夫		
	”	長 田 浩 伸		
	”	松 岡 敬 子		
	”	吉 森 建 一		
	”	新 名 克 彦		
	”	甲 斐 史 朗		
	”	伊 藤 康 司		
	監 事	古 賀 正 広		
	”	千 代 反 田 晋		
	議 長	大 久 保 史 明		
	副 議 長	鮫 島 貴		
 延岡市医師会 (令和6年6月27日定時総会終結後～ 令和8年6月定時総会終結時)				
	会 長	佐 藤 信 博		
	副 会 長	平 野 雅 弘		
	”	赤 須 郁 太 郎		
	理 事	山 口 哲 朗		
	”	大 重 明 広		
	”	竹 原 俊 幸		
	”	安 藤 誠		
	”	井 上 英 豪		
	”	池 田 典 文		
	”	宝 珠 山 厚 生		
	”	岡 村 樹 里		
 都城市北諸県郡医師会 (令和6年5月29日定時社員総会終結後～ 令和8年度定時社員総会終結時)				
	会 長	田 口 利 文		
	副 会 長	福 島 義 隆		
	”	高 城 健 司		
	”	江 夏 剛		

児 湯 医 師 会

(令和6年6月20日定時総会終結後～
令和8年6月定時総会終結時)

- 会 長 北 村 洋
- 副 会 長 鳥 原 康 治
- 理 事 山 中 聡
- ” 押 川 克 久
- ” 山 口 政 一 朗
- ” 谷 畠 満
- ” 山 口 真 太 朗
- ” 桐ヶ谷 大 淳
- ” 宮 尾 雄 治
- ” 瀧 井 英 一
- ” 吹 井 聖 継
- ” 望 月 仁 志
- ” 織 田 真 悠 子
- 監 事 内 田 俊 浩
- ” 大 森 史 彦
- 議 長 黒 木 宗 俊
- 副 会 長 坂 田 師 隣

西 都 市 西 児 湯 医 師 会

(令和6年6月24日定時総会終結後～
令和8年6月定時総会終結時)

- 会 長 松 本 英 裕
- 副 会 長 上 野 尚 美
- ” 大 塚 康 二 朗
- ” 黒 木 重 晶
- 理 事 上 山 裕 史
- ” 片 山 陽 平
- ” 杉 尾 克 徳
- ” 鶴 田 曜 三
- 監 事 岩 見 晶 臣
- ” 濱 砂 重 仁

- 議 長 大 塚 和 子
- 副 議 長 久 保 恵 是

南 那 珂 医 師 会

(令和6年6月7日定例総会終結後～
令和8年6月定例総会終結時)

- 会 長 中 村 彰 伸
- 副 会 長 河 野 秀 一
- ” 川 西 昭 人
- 理 事 井 藤 健
- ” 津 曲 俊 郎
- ” 黒 木 和 男
- ” 山 田 孝 俊
- ” 中 津 留 邦 展
- ” 峰 松 俊 夫
- ” 木 佐 貫 篤
- ” 飛 松 正 樹
- 監 事 満 留 武 宣
- ” 山 見 信 夫
- 議 長 藤 浦 芳 丈
- 副 議 長 岡 本 将 幸

西 諸 医 師 会

(令和6年6月28日定時総会終結後～
令和8年6月定時総会終結時)

- 会 長 内 村 大 介
- 副 会 長 園 田 定 彦
- ” 井 尻 裕 司
- 理 事 吉 村 雄 樹
- ” 坪 内 斉 志
- ” 河 内 謙 介
- ” 堀 英 昭
- ” 石 澤 宗 純
- ” 竹之内 剛

- ” 寺 谷 威
- ” 楠 元 規 生
- ” 川 井 田 望
- 監 事 丸 山 賢 幸
- ” 杉 原 純 次
- 議 長 志 戸 本 宗 徳
- 副 議 長 槇 健 一 郎

西 白 杵 郡 医 師 会

(令和6年6月1日定時総会終結後～
令和8年6月定時総会終結時)

- 会 長 植 松 昌 俊
- 副 会 長 佐 藤 元 二 郎
- 議 長
- 理 事 古 賀 志 朗
- ” 塩 月 康 弘
- ” 崔 林 承
- ” 押 方 慎 弥
- ” 佐 藤 祐 二
- 監 事 興 梶 知 子

宮 崎 大 学 医 学 部 医 師 会

(令和6年6月1日～
令和8年6月教授会まで)

- 会 長 帖 佐 悦 男
- 副 会 長 賀 本 敏 行
- 理 事 落 合 秀 信
- ” 鈴 木 斎 王
- ” 七 島 篤 志
- ” 盛 武 浩
- 監 事 恒 吉 勇 男
- ” 児 玉 由 紀

各郡市医師会だより

宮崎市郡医師会

会長 ^{たか}高 ^{むら}村 ^{かず}一 ^し志

私たち宮崎市郡医師会執行部は2期目を迎えることとなりました。理事者に変更はありませんが、中山健監事がこのたびご勇退されることになりました。また、監事、副議長、議長を務められた丸田眞一先生もご勇退となりました。両先生ともに18年の長きにわたり医師会活動に携わっていただきました。あらためて感謝いたします。中山監事の後任として石坂裕司郎先生に監事を、丸田議長の後任として福元廣次先生に議長をお願いすることができました。

4月から医師の働き方改革が始まりその影響は早速、夜間急病センター内科、小児科の深夜当直に出てきています。内科と小児科は労働基準監督署からの宿日直許可が下りなかったために、深夜当直した医師は当直明けの午後から休みを取る必要が出てきました。そのため大学からの深夜当直は派遣ができにくくなり、その結果特に宮崎大学内科教室からの深夜枠が大幅に減少しました。その分はフリーランスの医師、医師会病院救急科などの協力によりようやく埋められている状態ですが、長きにわたりこの状態を続けることは困難な状況と思われます。夜間急病センター小児科は会員の高齢化にともない深夜当直ができる会員が少なくなってきました。大学小児科の先生方の負担が大きくなり、今後同じ形態で維持することは困難ではないかと感じています。今年度中に継続可能な時間外診療のあり方を宮崎市、大学、県立病院、医師会で模索する予定です。

今年6月の診療報酬改定や医師の働き方改革は医師会病院の収支にも影響が出てきています。令和5年度の医師会病院の収支はなんとか黒字を計上しましたが、ICU加算については当院ではICU加算5を取ることであり、それだけでも年間1億数千万の収入減になる予定です。その他医師、看護師、その他のコワーカーの勤務環境改善にともなう支出も大幅に増える予定で、更に円安のため診療材料費も高騰しており、今年度の病院収支に関しては注意深くみていく必要があると思っています。



宮崎市郡医師会新役員

役員等名簿 (任期 令和6年6月26日定時総会終結後～令和8年6月定時総会終結時)

役職名	氏名	診療科	所属医療機関	担当業務
会長	高村 一志	小児科	たかむら小児クリニック	総括
副会長	牛谷 義秀	外科・内科・消化器内科 消化器外科・肛門外科・整形外科 リハビリテーション科・放射線科	クリニックうしたに	検査センター, 地域包括ケア推進センター, 産業医, 地域医療Ⅲ(救急・災害), 地域保健Ⅰ(成人・ 介護)・地域医療Ⅰ(成人)医師連盟, 会計
〃	市来 能成	内科・循環器内科 消化器内科・神経内科	市来内科・外科医院	庶務, 医事紛争, 会員福祉, 労務, 医師会病院, 夜間急病センター(小児科), 会員広報・情報システム, 学校保健, 地域保健Ⅱ・地域医療Ⅱ, 県医師会(常任理事)
〃	白尾 一定	外科・消化器外科・乳腺外科 呼吸器外科・気管食道外科	JCHO宮崎江南病院	看護専門学校, 夜間急病センター内科・外科, 勤務医, 新臨床研修医制度(医師確保), 学術・健康教育・生涯教育, 社保・国保, 審査基準公開, 醫友しのため
理事	尾田 朋樹	整形外科・リウマチ科 リハビリテーション科	尾田整形外科医院	医師会病院, 医師連盟, 地域医療Ⅲ(救急・災害), 会員広報・情報システム
〃	田中 宏幸	内科・呼吸器内科・消化器内科 循環器内科・小児科	神宮医院	検査センター, 社保・国保, 審査基準公開, 夜間急病センター内科・外科, 産業医
〃	玉置 昇	内科	たまきクリニック	看護専門学校, 会計, 学校保健, 夜間急病センター(小児科), 社保・国保, 審査基準公開, 県医師会(常任理事)
〃	内野 竜二	外科・内科・消化器外科 消化器内科・放射線科 肛門外科	猪島医院	庶務・在宅医・開業相談・労働保険, 地域包括ケア推進センター, 地域保健Ⅰ(成人・介護)・地域医療Ⅰ(成人)
〃	遠藤 豊	内科・循環器内科	宮崎生協病院	会報, 新臨床研修医制度(医師確保), 勤務医, 学術・健康教育・生涯教育, 庶務・在宅医・開業相談・労働保険
〃	眞柴 晃一	内科・感染症内科 リウマチ科	県立宮崎病院	医事紛争, 学術・健康教育・生涯教育, 勤務医, 新臨床研修医制度(医師確保), 感染症
〃	中村 究	心療内科・精神科・内科 アレルギー科	中村クリニック	産業医, 会員福祉・共済会・慶弔, 醫友しのため, 労務
〃	上山 貴子	婦人科・産科	うえやま貴子 クリニック	地域保健Ⅱ(母子), 醫友しのため, 医事紛争, 会計, 県医師会(理事)
〃	菊池 安剛	耳鼻咽喉科	菊池耳鼻咽喉科医院	労務, 会員広報・情報システム, 検査センター, 医師連盟
〃	増田 好成	外科・消化器外科・整形外科・内科 肛門外科・泌尿器科・呼吸器内科 リハビリテーション科・放射線科・消化器内科	増田病院	地域医療Ⅲ(救急・災害), 地域保健Ⅰ(成人・介護)・地域医療Ⅰ(成人), 医師会病院, 地域包括ケア推進センター
〃	佐藤潤一郎	小児科	佐藤小児科	学校保健, 夜間急病センター(小児科), 地域保健Ⅱ(小児)・地域医療Ⅱ(小児), 会員福祉・共済会・慶弔
監事	楠元 直	胃腸科・内科・放射線科	楠元内科胃腸科医院	理事の職務執行の監査
〃	名越 敏郎	内科・循環器内科	名越内科	理事の職務執行の監査
〃	石坂裕司郎	内科・循環器内科・小児科 リハビリテーション科	四季クリニック	理事の職務執行の監査
議長	福元 廣次	外科・内科・胃腸科 循環器内科・リハビリテーション科	福元医院	
副議長	前野 正和	内科・循環器内科	まえのクリニック	
顧問	綾部 隆夫	内科・循環器内科		
〃	川名 隆司	外科・消化器外科・小児外科 内科・消化器内科・リハビリテーション科	川名クリニック	

各都市医師会だより

都城市北諸県郡医師会

会 長 ^た ^{ぐち} ^{とし} ^{ふみ}
田 口 利 文

5月の社員総会において会員の先生方の承認が得られ、引き続き会長をさせていただくことになりました。副会長は新しく高城健司先生、福島義隆先生、江夏剛先生に、総務理事は引き続き瀬ノ口洋史先生にご就任いただきました。

5月の決算で看護学校と介護老人保健施設すこやか苑の運営は厳しい状況でした。すこやか苑については経営改善委員会を立ち上げ、今後の方針を決定していただく予定です。医師会病院は職員の奮闘により、多くの救急患者を受け入れたことで入院患者が増加して収支は改善傾向でした。当圏域の高度急性期病床の不足解消に向けての取組みは、3月に増床するHCUと心臓脳血管センターの起工式を施行し、工事が始まりました。完成後は脳卒中に対する脳血管内治療や術後早期のリハビリ開始により、回復期病院との連携がよりスムーズになると考えます。増加が予想される心不全患者も受け入れ体制を強化し、不整脈治療も充実させます。

働き方改革が始まりました。現在、宿日直許可という危うい制度に救われて残業時間が短縮されていますが、今後は医師の増員がなければ解決はできません。

4月に腎臓内科を開設しました。増設棟には透析センターも整備し、慢性腎臓病患者の専門医への相談を容易にし、透析患者の合併症治療も充実させます。

診療報酬改定は大変厳しい結果でした。特定疾患療養管理料の除外疾患は内科系開業医の診療の中心です。後期高齢者に対しての一疾病に対しての生活習慣病指導・管理料というのは違和感があります。高齢者の主病を診ながら、合併疾患、認知症、フレイルを包括的に疾患管理することが特定疾患療養管理料であり、かかりつけ医の役割と考えます。もう少し丁寧な議論と情報をお願いしたいものです。新たな加算点数には施設基準が付加されます。施設基準は毎年ハードルを高くされる厳しい状況が続きますが、役員・会員の先生方と知恵を出し合い、頑張っていこうと考えております。

今後とも当医師会に対するご支援、ご協力をよろしく願います。



都城市北諸県郡医師会新役員

役員等名簿 (任期 令和6年5月29日の定時社員総会終結後～令和8年度の定時社員総会の終結時まで)

役職名	氏名	診療科	所属医療機関	担当業務
会長	田口 利文	循環器科・内科	田口循環器科・内科クリニック	会務総括, 全施設総括, 医師会病院総病院長(兼病院長), 渉外
* 副会長	福島 義隆	内科・消化器内科・小児科	ふくしまクリニック	会務総括補佐, 夜間急病センター所長, すこやか苑副施設長, 渉外
* ”	高城 健司	精神科・神経科・心療内科	たき心療内科クリニック	会務総括補佐, 看護専門学校長, 訪問看護ステーション所長, 渉外
* ”	江夏 剛	整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科	江夏整形外科クリニック	会務総括補佐, 担当副会長(医師会病院), 健康サービスセンター所長, 渉外
総務理事	瀬ノ口洋史	内科・消化器科	瀬ノ口醫院	総務, 労務管理, 医師連盟, 自賠責, 広報, 開業相談, 定款諸規程, 医事紛争
理事	三嶋 和也	内科・循環器内科	みしま内科クリニック	医療情報システム, 学術生涯教育(主), 健康教育(主), 保険診療(主), 総務(副)
”	横山 剛	消化器外科・肛門外科	横山病院	健康サービスセンター担当理事, 公衆衛生, 成人病検診, 病院部会
”	西浦 亮介	内科・腎臓内科・循環器内科・糖尿病内科	西浦病院	医師会病院担当理事, 医療保険, レセプト査定対策
”	隅 專浩	内科・循環器内科	すみクリニック内科・循環器内科・小児科	夜間急病センター担当理事, 救急医療(主), 地域医療マスタープラン, 災害・感染症対策
”	吉見 雅博	外科	吉見病院	県医師会常任理事, 産業医部会, 労災医部会, 地域産業保健センター
”	西浦勇一郎	耳鼻咽喉科	西浦医院	すこやか苑担当理事, 福祉施設, 労務福祉, 介護保険(副)
* ”	原田 健一	脳神経外科	都城フォレスト・クリニック脳神経外科	介護保険(主), 医苑(主), 医師会病院副担当理事, 救急医療(副), 夜間急病センター副担当理事
* ”	池之上 貴	整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科	池之上整形外科	訪問看護ステーション担当理事, スポーツ医学, 医苑(副)
* ”	山内 明	内科・小児科・外科・消化器外科・アレルギー科	早水公園クリニック	会計管理(総括), 学術生涯教育(副), 健康教育(副), 介護保険(副)
* ”	畠中 道己	小児科	畠中小児科医院	学校保健・検診, 乳幼児保健, 学校医部会, 救急医療(副), 夜間急病センター副担当理事
* ”	河野 仁彦	精神科	都城新生病院	看護専門学校副校長(管理部長), 会員福祉, 苦情処理, 勤務医部会, 保険診療(副)
監事	坂元 一久	胃腸科・内科	坂元医院	
”	木村 健	内科・消化器科・循環器科・呼吸器科・外科・小児科	原田医院	
* ”	山路 健	外科	山路医院	
* 議長	橋口 兼英	小児科	はしぐち小児科	
* 副議長	大岐 照彦	胃腸科・内科	大岐医院	

* は新任

宮崎大学医学部だより

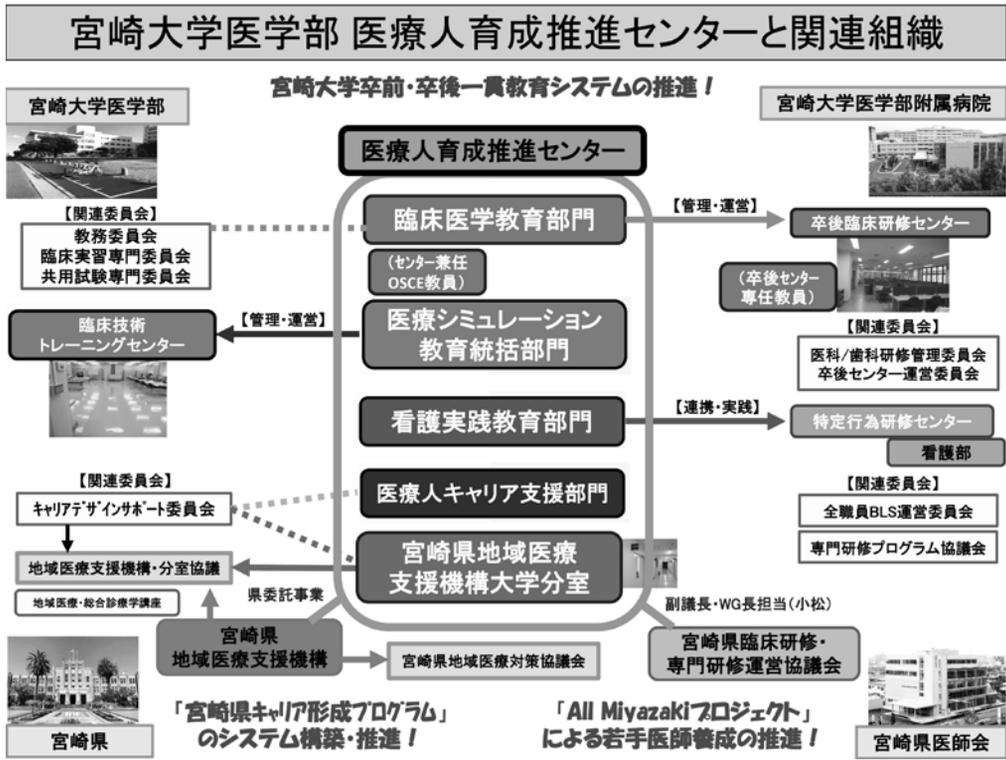
医療人育成推進センター



こまつ ひろゆき
小松 弘幸 教授

2015年10月に医療人育成推進センターが設置され9年目を迎えました。この間、医学教育の領域では、医学教育分野別認証評価の受審、新専門医制度の開始、医療法改正にともなうキャリア形成プログラムの策定と実施、臨床研修制度の見直し、医師法改正にともなう共用試験の公的化など大きな変革が継続的に生じています。そのため本センターに求められる役割や期待も大きくなっています。文字では全体像が伝わりにくいため、本センターと関連組織の関わりを図式化しました。宮崎大学医学部（図左側）では臨床医学教育部門（小松、安倍弘生、船元太郎、宮内俊一、齋藤勝俊）が「医学・医療概論」，「早

期大学病院実習」，「早期地域医療実習」，「行動医学」，「臨床診断学」，「医療安全・東洋医学」の授業・実習を担当しています。また、教務委員会下部の専門委員会でも共用試験や臨床実習の運営に中心的に関わり、シミュレーション教育の積極的活用を推進しています。同附属病院（図右側）では卒後臨床研修センターを管轄し、9名の専任医師とともに大学30診療科+県内55協力型病院・施設で構築された臨床研修プログラムの運営を行っています。また、県・医師会・大学で組織した宮崎県臨床研修・専門研修運営協議会（図右下）と連携し、All Miyazaki体制での医師養成プロジェクトの通年の遂行に中心的に関わっています。2019年に本センター内に宮崎県地域医療支援機構（図左下）の大学分室が設置され、地域卒卒業医師（黒木純，中村佳菜子，明利聡瑠，宮本美由貴）と事務（舟橋美保子，桑津あゆみ）が約180名の本学地域卒学生と約100名のキャリア形成プログラム適用医師のキャリア環境充実と教育に尽力しています。今後とも、皆様からのご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。



部会だより

病院部会・医療法人部会



病院部会長
いけい よしひこ
池井 義彦



医療法人部会長
あかさ いくたろう
赤須 郁太郎

令和5年4月より宮崎県医師会医療法人部会長の務めさせていただいております。赤須郁太郎と申します。平成26年から10年にわたり会長として、また日本医療法人協会宮崎県支部長として部会を牽引してくださった相澤潔先生の後任とあって、重責を担うこととなりましたが、同じく副会長になられた大塚康二朗先生（理事より選出）とともに職務に努めたいと思っております。また新たに野村郁夫先生、鶴田曜三先生、内村好克先生、横山剛先生を理事にお迎えし（野村先生、鶴田先生、内村先生は病院部会の理事にもご就任）、新体制となっております。病院部会の池井義彦会長、飯田正幸副会長、両会の理事、会員の皆様には引き続き、ご指導、ご鞭撻をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

現在、県内の医療法人部会入会の医療法人は65法人で、大阪府77法人、鹿児島県66法人に次ぐ第3位となっております（愛知県も65法人で同数）、前会長の相澤先生はもとより瀆砂重仁先生、鮫島哲也先生はじめ、歴代の会長をお務めになった方々のご尽力がいかに大きかったかを物語っております。上部団体である日本医療法人協会は、全日本病院協会、日本病院会、日本精神病院協会とともに合同で国に対する要望を行っており、これが四病院団体協議会、いわゆる「四病協」です。したがって病院部会、医療法人部会の会員であるということは国に意見できるポジションにあると言えます。今後も中央の考えをいち早くお伝えするとともに、現場の声を届けていきたいと思っておりますので、遠慮なくご意見をいただきますようお願い申し上げます。

医療法人部会と病院部会は合同で活動しており、理事会や総会、合同研修会、医療従事者研修会などを行っております。合同研修会では、皆様にとって関心の高い医療経営セミナーや学術講演会を、医療従事者研修会では医療関係の

話題に加え、一般教養を含んだ講演会を行うとともに、長年にわたり医療機関に貢献された職員の方を会員医療機関よりご推薦いただき永年勤続表彰も行ってまいります。なおこの表彰は部署を問いません。看護師はもちろん、事務職員や給食、施設課職員など、どの職種でも推薦いただけることが特徴となっております。すぐに退職される職員が多い中、長年先頭に立って医療機関を支え続けてきた模範となるべき職員の方の花道として、ぜひともご利用いただけますようお願い申し上げます。

令和5年以降の活動についてもご紹介いたします。令和5年12月9日に開催しました合同研修会では、日本医療法人協会会長の加納繁照先生、副会長の小森直之先生をお招きし、それぞれ「これからの民間病院のあり方について」「民間病院の現在と未来」と題してご講演を賜りました。令和6年3月2日に開催しました医療従事者研修会では、MRT宮崎放送気象キャスターの野田俊一郎氏に「天気予報のおススメの利用方法～予報不確実性との付き合い方～」についてお話をうかがいました。同時に催された職員表彰では、県下よりご推薦いただきました11名の職員の方に永年勤続の表彰を行うとともに祝賀会を兼ねた懇親会にご参加いただき、シーガイアでの楽しいひと時をとものにいたしました。

加えて、全日本病院協会の活動につきましてもご紹介させていただきます。全日本病院協会の諸会議への参加は池井義彦会長、飯田正幸副会長、瀆砂カヨ理事の3名合わせて計34回にも及んでおります。会議の概要については定時・臨時の総会においてご報告いただいております。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し1年が経過、ようやく日常生活も戻ってまいりましたが、6月に診療報酬改定が行われ、特に「特定疾患療養管理料」において糖尿病・高血圧・脂質異常症が除外され「生活習慣病管理料」の算定になったことは、どの医療機関も対応に苦慮していることと存じます。これらの現状、対策についても現場の声を反映していこうと考えております。

いずれにしても、日本、そして宮崎県の医療の大部分を支えているのが民間病院であることに変わりはありません。今後も行政や県医師会などと連携し病院の運営、経営が安定し、質の高い医療が提供できるよう、情報提供や研修会など行っていく所存です。

医師の求人・求職は 日本医師会 女性医師バンク をご利用ください！

日本医師会女性医師バンクは厚生労働省の委託事業です。
登録から紹介・成立まで、費用はすべて無料で利用できます。



女性医師バンクが選ばれる3つのポイント

ポイント

1 登録～成立まで費用はすべて無料

登録料、情報掲載料、紹介手数料、成立手数料、相談・サポートなど、
すべて無料でご利用いただけます。

ポイント

2 専任のコーディネーターによるサポート体制

経験豊富な専任のコーディネーターが、紹介～成立後の相談まで
きめ細かにサポートいたします。

ポイント

3 日本全国、日本医師会の会員・非会員を問わず利用が可能

まずはお気軽にご相談ください！

☎03-3942-6512 (平日10:00～17:00)

詳しくはWebサイトをご覧ください

日本医師会女性医師バンク

検索

日本医師会女性医師バンク 中央センター 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館B1F

お知らせ

第25回 宮崎県医師会医家芸術展

会員先生方並びにご家族の優秀な作品を一堂に展示した、医家芸術展が8月13日(火)より6日間、宮崎県立美術館にて開催されます。

今年は99点の作品が展示される予定となっております。

多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

展示期間：8月13日(火)～18日(日) 10時～18時(18日のみ15時まで)

場 所：宮崎県立美術館 2F 県民ギャラリー
(宮崎市船塚3-210 県総合文化公園内)

部 門：絵画，写真，書道，その他作品

出 展 者：宮崎県医師会員・ご家族（高校生以上）

問合せ先：宮崎県医師会 医家芸術展事務局

(TEL：0985-22-5118 FAX：0985-27-6550)

絵画部門

新木 るり (日南市)	石川 万佐子 (宮崎市)	内田 攻 (宮崎市)
蛭原 功介 (串間市)	大迫 文子 (宮崎市)	大塚 早智 (宮崎市)
大西 敦子 (宮崎市)	大森 茉令 (高鍋町)	黒川 基樹 (宮崎市)
酒井 和彦 (都城市)	竹村 龍之助 (宮崎市)	谷口 二郎 (宮崎市)
長沼 弘三郎 (延岡市)	野崎 藤子 (宮崎市)	淵脇 和男 (都城市)
松本 健吾 (宮崎市)	松本 真由子 (宮崎市)	

写真部門

大森 史彦 (高鍋町)	木佐貫 冬星 (日南市)	酒井 桂子 (都城市)
酒井 美絵子 (都城市)	佐々木 究 (宮崎市)	末岡 常昌 (延岡市)
田中 宏幸 (宮崎市)	谷口 二郎 (宮崎市)	玉置 昇 (綾 町)
原 政樹 (国富町)	山路 健 (都城市)	

書道部門

大迫 文子 (宮崎市)	岡村 公子 (延岡市)	七島 篤志 (宮崎市)
平野 佳芳 (延岡市)	山内 励 (宮崎市)	弓削 三重子 (宮崎市)

その他作品

大迫 文子 (宮崎市)

(敬称略・各部門50音順・令和6年7月19日現在)

第179回宮崎県医師会臨時代議員会（概要）

と き 令和6年5月21日(火)

ところ 県 医 師 会 館

1 開 会

新しい代議員が選出され最初の代議員会となることから、本会定款施行細則第17条の規定により中山代議員（宮崎）が仮議長に選出され、出席代議員を確認したうえで代議員会の成立を宣言した。

続いて、議事録署名人に白尾代議員（宮崎）と弘野代議員（宮崎）を指名し、議長、副議長の選挙に入った。

2 議長及び副議長選挙

候補者が定数と同数のため、選挙細則により投票を行わずに挙手で決議することを決定し、いずれも賛成多数により以下の2名を当選者と決定した。

議長選挙 当選者 中村 彰伸（南那珂）

副議長選挙 当選者 田口 利文（都城）

3 河野県医師会長挨拶

（要旨）お忙しい中をお集まりいただき感謝申し上げます。本年は元旦から能登半島地震が発生し、過大な被害が出て、亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、一日も早い復興を祈念する。その後宮崎でも強い地震があり、南海トラフの活性化と肝を冷やしたが、大事に至らずに済んだ。しかし、近い将来あり得ると言われているので、十分に備えておく必要があると思う。

本日はいくつかの報告事項など、協議事項を予定している。その後、次期執行部の役員選挙について、審議をよろしくお願いしたい。

4 報 告

1) 令和6年度宮崎県医師会事業計画について

山村副会長から、事前送付資料を基に次のとおり報告があった。

（要旨）令和6年度の事業計画は、3月12日に開催された県医師会理事会で承認されている。はじめに、県医師会の事業は公益法人として、事業計画は基本的には大きく変えることなく継続することが前提となっている。

資料1 ページ目の下半分が重点項目であるが、昨年度までの「新型コロナウイルス感染症への対応」から「新興・再興感染症及び大規模災害への備え」に修正し、現在、日本医師会、県医師会、郡市医師会をあげて取り組んでいる「組織強化」を追加しており、組織強化および将来構想を検討するための委員会を新たに設置し、次の世代に向けた提言を検討していければと考えている。

また、今年最大のイベントで、11月に本県で開催する「全国学校保健・学校医大会」の運営や、「臨床研究倫理審査委員会」と「治験審査委員会」については、臨床研究倫理の審査と、治験の審査は別々のガイドラインに沿って審査を進めていく必要があることから、二つの委員会に分けることとしている。

今年度も皆様のご指導とご協力をお願いして、簡単ではあるが説明に代えさせていただきます。

2) 令和6年度宮崎県医師会収支予算について

中村議長から「事前に提出された質問について、当該代議員会から要旨の説明のあと執行部から回答を含めた説明を求め」と説明があった。

質疑「予算編成の人員費について」

楠元 直 代議員

(説明要旨) 予算編成で人員費800万円の増額の説明をお願いします。

荒木常任理事から、事前送付資料を基に次のとおり報告があった。

令和6年度の予算は3月12日に開催された県医師会理事会で承認されており、定款61条に基づき報告させていただく。資料に予算編成の前提となる重要事項を記載している。

1つ目は、今年度、本会担当で開催する全国学校保健学校医大会の諸費用として450万円を計上している。本大会にかかる経費は主催の日本医師会が負担するが、担当県の負担分として、会議費および交際接待費また関連行事への負担金などを見込んでいる。

2つ目は、各郡市医師会立准看護学校に対する補助金の増額で、看護学校の財政状況が大変厳しいことから、補助金を約2倍に増額した。

続いて3つ目は、楠元代議員から質問をいただいた人員費800万円の増額の要因は主に2点で、まず、本年4月1日付の職員の配置替えにより、医師会、協同組合、医師国保の間で職員の異動があり、このこととともない本会の負担額が増加したことから、2名の職員が育児休業から復帰したため増額として計上している。

4つ目は、会館音響設備の購入費用511万円の計上で、昨年度も予算に盛り込んでいたが納期がずれ込んだため、再度6年度

予算に計上している。積立金を取り崩しての取得となる。

経常収益額は4億2,791万円、経常費用計は4億6,239万円で、当期経常増減額は3,447万円の赤字を見込んでいる。

財務三基準については、まず収支相償は公益目的事業の収支差額が赤字か±0であることが条件であるが、公益目的事業は9,060万円の赤字で条件をクリアしている。公益目的事業比率は、経常費用総合計に対する公益目的事業費用の割合が50%以上になることが条件で、令和6年度予算では70.6%でクリアしている。遊休財産については、多くの公益法人と同様、本会においても新型コロナの影響を受け、この3年間で毎年5,000万円ずつ積み上がっている。しかし、令和7年4月に改正認定法が施行される予定で、積み立ての要件などが緩和されるとの情報も出ており、改正後の新しいルールに向けて対応を検討していきたいと考えている。

最後に資金調達および設備投資の見込みについて、収支に大きな影響を及ぼす額は企業会計に倣い、総資産の1%を超える額としているため、1,668万9,000円以上のものを記載するが、6年度においては該当しない。

5 協 議

1) 次期理事定数について

定款施行細則第11条第3項の規定に基づき、市来常任理事が理事数を引き続き23名とする案を提案し、審議の結果、賛成多数により次期理事数を23名とすることを決定した。

6 役員選挙

投票方法について、中村議長が、各選挙の候補者が定数と同数なので選挙細則第20条第1項の規定に基づき「投票を行わずに挙手で決議する」ことおよび「複数の定員を選任する役職について一括して選任する」ことを提案し、いずれも賛成多数で決定した。

また、選挙細則第1条第1項の規定に基づき、会長候補者、副会長候補者、理事、監事、裁定委員、日本医師会代議員、同じく予備代議員の順に選任することを確認して選挙に入った。

*すべて届出順

1) 会長候補者選挙 (定数1名)

当選者 (理事兼ねる)

河野 雅行 (宮崎)

2) 副会長候補者選挙 (定数2名)

当選者 (理事兼ねる)

小牧 斎 (宮崎)

金丸 吉昌 (宮崎)

3) 理事選挙 (定数20名)

当選者

吉村 雄樹 (西諸)

落合 秀信 (宮大医)

大塚康二郎 (西都)

松岡 敬子 (日向)

赤須郁太郎 (延岡)

峰松 俊夫 (南那珂)

山中 聡 (児湯)

玉置 昇 (宮崎)

吉見 雅博 (都城)

池井 義彦 (西諸)

荒木 早苗 (延岡)

市来 能成 (宮崎)

上山 貴子 (宮崎)

河原 勝博 (宮崎)

佐々木 究 (宮崎)

嶋本 富博 (宮崎)

高木 純一 (宮崎)

田畑 直人 (宮崎)

内藤 明美 (宮崎)

吉田 建世 (延岡)

4) 監事選挙 (定数3名)

当選者

宮田 純一 (延岡)

中村 周治 (宮崎)

田中 穰式 (都城)

5) 裁定委員選挙 (定数11名)

当選者

大山 秀 (西白杵)

立山 洋司 (西諸)

下田 和哉 (宮大医)

宇和田 収 (西都)

水野 智秀 (日向)

井上 博 (延岡)

山元 敏嗣 (南那珂)

永友 慶子 (児湯)

楠元 正輝 (宮崎)

菊池 清文 (宮崎)

濱田 義臣 (都城)

6) 日本医師会代議員及び予備代議員選挙

(各々定数4名)

日本医師会代議員選挙

当選者

河野 雅行 (宮崎)

小牧 斎 (宮崎)

金丸 吉昌 (宮崎)

市来 能成 (宮崎)

日本医師会予備代議員選挙

当選者

中村 彰伸 (南那珂)

田口 利文 (都城)

荒木 早苗 (延岡)

高木 純一 (宮崎)

7 当選役員挨拶

当選役員を代表して、会長候補者に選任された河野会長が挨拶を行った。

(要旨) 次期執行部を選んでいただき心から感謝申し上げる。役員一同、皆様のご期待に沿う

べく、地域医療と、県医師会並びに会員を守るために全力を挙げて取り組んでまいる所存である。

8 議長閉会宣言

中村議長が円滑な進行に対するお礼を述べ代議員会を閉会した。

出席代議員および出席役員は以下のとおり。

出席代議員

1番 内村 大介
 2番 園田 定彦
 3番 植松 昌俊
 4番 帖佐 悦男
 5番 恒吉 勇男
 6番 盛武 浩
 7番 渡邊 望
 8番 牛谷 義秀
 9番 遠藤 豊
 10番 尾田 朋樹
 11番 金丸 禮三
 12番 楠元 直
 13番 栗林 忠信
 14番 桑原 正知
 15番 神尊 敏彦
 16番 白尾 一定
 17番 高村 一志
 18番 田中 宏幸
 19番 坪井 康浩
 20番 中山 健
 21番 成田 博実
 22番 原田 一道
 23番 原田 雄一
 24番 弘野 修一
 25番 田口 利文
 26番 福島 義隆

27番 高城 健司
 28番 江夏 剛
 29番 瀬ノ口洋史
 30番 安藤 誠※
 31番 平野 雅弘
 32番 大重 明広
 33番 竹原 俊幸
 34番 今給黎 承
 35番 堀之内和代
 36番 北村 洋
 37番 松本 英裕
 38番 中村 彰伸
 39番 河野 秀一

出席39名

※は予備代議員

出席役員

会 長 河野 雅行
 副 会 長 山村 善教
 ” 小牧 斎
 常任理事 荒木 早苗
 ” 市来 能成
 ” 吉田 建世
 ” 金丸 吉昌
 ” 池井 義彦
 ” 石川 智信
 ” 高木 純一
 ” 嶋本 富博
 ” 赤須郁太郎
 ” 大塚康二郎
 ” 吉見 雅博
 理 事 峰松 俊夫
 ” 佐々木 究
 ” 上山 貴子
 ” 田畑 直人
 ” 落合 秀信
 ” 山中 聡
 ” 河原 勝博
 ” 吉村 雄樹
 監 事 中村 周治
 ” 宮田 純一
 ” 田中 穰式
 出席25名

第180回宮崎県医師会定例代議員会（概要）

と き 令和6年6月15日(土)

ところ 県 医 師 会 館

1 開 会

中村議長が代議員の定数および出席代議員を確認したうえで代議員会の成立を宣言した。

続いて議事録署名人に遠藤代議員（宮崎）、桑原代議員（宮崎）を指名した。

2 河野県医師会会長挨拶

（要旨）先日の臨時代議員会では次期執行部を選出いただき感謝申し上げます。本日は令和5年度の事業報告並びに決算などを審議していただく重要な会議である。

事業の途中経過は、できるだけ頻繁に日州医事などを通じて報告しており、会計も予算に従い注意深く執行してきた。県医師会のやらねばならないことは増えており、必要な事項は積極的に取り組んでいるが、財政的赤字にならないように慎重に執行したい。本日はご審議のほどよろしくお願ひしたい。

3 報 告

1）令和5年度宮崎県医師会事業報告について

山村副会長が定款第62条の規定に基づき、6月4日の理事会で承認された令和5年度の事業報告について事前配布資料を基に説明を行った。

（要旨）令和5年度の事業については、令和5年3月に理事会で決定した事業計画に基づき会務を行っている。

【公益事業1】の「生涯教育の推進と充実を図る事業」から始まり、【公益事業2】の「地域医療及び救急医療の充実を図り、県民に公平な医療供給の推進を行うと共に「健康社会」の構築に寄与する事業」

では、重点項目にある勤務環境改善支援センターや医師の働き方改革への対応などを行っている。

【公益事業3】の「県民の健康保持・増進に寄与する事業」では、新型コロナに関する事業などを行っている。

【公益事業4】の「保健事業の一体的推進を行う事業」。最後に、共益的な事業を柱とした「その他の事業」となる。

各種会議・研修会名の横に「Web会議」という記載が多くある。新型コロナの影響で多くの会議や研修会が現地集合での開催ができず「Web会議」での開催となった。随分コロナ前の状況に戻ったが、遠方や自院を離れることができない方にとっては、診療室や自宅で会議に参加できたり、研修会を受けて単位を取得したりと、好評をいただいているところである。

しかしながら、意見をぶつけ合い、新しいものを造っていくような会議などであれば、できるだけ現地にご参集いただきたいという気持ちもあり、今後も現地とWebをうまく使い分けていければと考えている。最後になるが、本会の事業に対する皆様のご協力に心より感謝申し上げます、簡単ではあるが事業報告とさせていただきます。

4 議 事

議案第1号

令和5年度 宮崎県医師会収支決算に関する件

荒木常任理事から、事前配布資料を基に次のとおり説明があった。

（要旨）令和5年度決算のポイントを5点挙

げている。1点目の「新型コロナ自宅療養者への健康観察体制確保事業」は令和5年4月から2か月間の受託となり、確定額は2,445万2,000円であった。

2点目は、令和6年能登半島地震へのJMAT派遣にともなう支出で、本県からは7チームを派遣し、石川県内での医療・保健活動や調整本部での調整活動を行っていただいた。3月末日現在での大規模災害対応基金取り崩し額が359万5,861円、仮払金が604万2,614円となっており、現在、石川県と派遣費用などの精算を行っているところである。

3点目は、当年度取得した固定資産について説明する。当年度は3件で合計1,021万1,450円の固定資産を取得しており、まず①公用車の買替えであり、購入後18年を経過し老朽化による安全面の心配も出てきたことから、減価償却積立資産を取り崩して対応し、金額は721万3,950円であった。②県の委託料で在宅医療研修用の人形1体を57万7,500円で購入している。最後に③は、コンピュータウイルスの脅威に対抗するためセキュリティサーバーを購入し、セキュリティを強化し、運転資金の242万円で購入した。

続いて4点目は、当年度の未払消費税についてであり、令和4年度の消費税確定額を基準に仮払いを行っていたが令和5年度の確定額が仮払額を下回ったため、還付が行われる予定であるので当年度の未払消費税は発生しない。

最後に5点目は勘定科目の変更であり、本会から各郡市医師会へ支払っている事務費はこれまで寄付金で処理していたが、顧問会計士の指導により対価があるとの判断で支払手数料に変更した。

次に、決算総額については通常の事業が反映される一般正味財産の経常収益計は4億4,450万352円、経常費用計は4億2,628万2,251円となった。収益から費用と経常外費用を引いた税引前増減額は1,766万8,378円

で、ここから法人税など7万1,000円を除いた税引後増減額は1,759万7,378円となる。

続いて使途の限定された寄付金などが反映される指定正味財産の増加額は57万7,500円、減少額は22万3,205円で、当期増減額は35万4,295円、当期正味財産増減額は1,795万1,673円の増、前年度決算比61.5%減となっており、前年度比では大幅な減となり、コロナ前の決算総額に近い数字となっている。

続いて入会金および会費の納入状況では、受取入会金の決算額は727万5,000円で、内訳は表の備考欄のとおり、A会員が新規開業12名、管理者継承6件、親子継承9件となっており、B会員の入会金収入は45名分であった。受取会費は前年度決算比33万7,000円増の1億7,843万2,000円で、現在、4種類の会費を徴収している。

続いて公益法人会計基準に定められた財務三基準について説明する。まず、①収支相償は、第一段階で表のとおり4つの公益目的事業すべてが赤字となっており、さらに第二段階で収益事業から公益目的事業へ利益の繰り入れを行ったあとも赤字となっているので、条件を満たしている。②公益目的事業比率は、公益目的事業費用計を経常費用合計で割ると70.9%になり、50%以上という基準を満たしている。③の遊休財産は、保有制限額である当年度の公益目的事業費用相当額は3億224万5,756円、遊休財産額は4億3,282万5,926円で、制限額を超えており不適合となる。

遊休財産の超過に関しては令和7年4月に法改正を控えているため、改正後の新たなルールに従い、最も適切な方法で対応したいと考えている。

また今回の決算で収入はほぼコロナ前の金額に戻ったが、支出に関しては物価高騰などの影響で経費が全体的に上昇傾向となっている。秋には郵便料の値上げも予定されているので、事業の再確認や見直しなどを行っていきたく考えている。ご審議のほどよろしく

お願いしたい。

続いて中村監事から監査報告が行われ、中村議長の「以上の説明を受けて質問はないか」との問いに質問もなく、採決の結果、議案第1号は賛成全員で原案どおり承認可決された。

議案第2号

令和7年度 宮崎県医師会会費賦課徴収に関する件

荒木常任理事から定款第21条に基づき、令和7年度も令和6年度と同様に徴収したい

と説明が行われ、採決の結果、議案第2号は賛成多数で原案どおり承認可決された。

5 その他

河野会長から「ご審議いただき感謝申し上げます。今後も事業計画に則り、健全運営で業務を執行してまいりたい」との謝辞があった。

6 議長閉会宣言

最後に中村議長が、この定例代議員会の終結をもって現役員の任期が終わることから感謝の言葉を述べ、閉会を宣言した。

出席代議員および出席役員は以下のとおり。

出席代議員

1番 佐藤元二郎※
 2番 帖佐 悦男
 4番 盛武 浩
 5番 鈴木 斎王※
 6番 牛谷 義秀
 7番 遠藤 豊
 8番 尾田 朋樹
 9番 金丸 禮三
 10番 楠元 直
 11番 栗林 忠信
 12番 桑原 正知
 13番 神尊 敏彦
 14番 白尾 一定
 15番 高村 一志
 16番 増田 好成
 17番 坪井 康浩
 18番 中山 健
 19番 成田 博実
 20番 原田 一道
 21番 原田 雄一
 22番 弘野 修一
 23番 田口 利文
 24番 福島 義隆
 25番 高城 健司
 26番 江夏 剛

27番 瀬ノ口洋史
 28番 佐藤 信博
 29番 平野 雅弘
 30番 大重 明広
 31番 竹原 俊幸
 32番 今給黎 承
 33番 堀之内和代
 34番 北村 洋
 35番 松本 英裕
 36番 中村 彰伸
 37番 河野 秀一
 38番 井尻 裕司※
 39番 園田 定彦

出席38名

※は予備代議員

出席役員

会 長 河野 雅行
 副 会 長 山村 善教
 ” 小牧 斎
 常任理事 荒木 早苗
 ” 市来 能成
 ” 吉田 建世
 ” 金丸 吉昌
 ” 石川 智信
 ” 高木 純一
 ” 嶋本 富博
 ” 赤須郁太郎
 ” 大塚康二郎
 ” 吉見 雅博
 理 事 峰松 俊夫
 ” 佐々木 究
 ” 玉置 昇
 ” 上山 貴子
 ” 田畑 直人
 ” 落合 秀信
 ” 山中 聡
 ” 河原 勝博
 ” 吉村 雄樹
 監 事 中村 周治
 ” 宮田 純一
 ” 田中 穰弑
 出席25名

第181回宮崎県医師会臨時代議員会（概要）

と き 令和6年6月15日(土)

ところ 県 医 師 会 館

1 開 会

中村議長が代議員の定数および出席代議員を確認したうえで代議員会の成立を宣言した。

続いて議事録署名人に遠藤代議員（宮崎）、桑原代議員（宮崎）を指名した。

2 河野県医師会長挨拶

（要旨）前期は令和4年6月から2年間お世話になり感謝申し上げます。再度、県医師会執行部を任せていただくことになった。今期の執行部は若い力に加わっていただき、郡市医師会や専門分科医会、各分野との連携を一層強化して、オール宮崎の体制作りをした。

前期に比べて平均年齢が2歳若返り、新役員一同、医師会の存在意義を再確認して、定款に従い心を一つに全力を尽くす覚悟である。先生方におかれては今までにも増してご協力のほどお願いしたい。

新型コロナが一段落したところ、年頭から能登半島大地震が発生し大きな被害を受けている。それに続いて宮崎でも大きな揺れがあり南海トラフかと心配したが、こちらは幸い大きな被害はなかったようである。

世界各地で戦火が絶えず、経済も変動しており政局も流動的で油断ができない。また、医療を巡る環境は年々厳しさを増しており、いくつか拾い上げてみると、今年度のトリプル改定では診療報酬がわずかに0.88%でもプラス改定であったと日医は成果を強調している。

事前の政府財務省案ではマイナス改定であったところでのプラス改定であったため、さまざまな評価がされている。しかし今回の改定額

で、国の目論んでいる他業種と同程度の職員待遇改善が可能なのだろうか。試算によると大変厳しいようである。

しかし、対応しなければ次回改定でその分減額されかねない。さらにプラス改定部分はさまざまな加算で成り立っており、その加算も多くの付帯条件がつき算定し難いものとなっている。算定できなければ結果的にはマイナス改定と言える。

この結果を見るにつけ、国の大前提は医療費削減が明確であり、そこには医療費亡国論になる発言をした方もいた。国においても、それぞれの立場でさまざまな考えはあると思うが、国民の生活と生命と財産を守ることこそが国の最大の責務ではないかと思う。

政府やマスコミの一部では、医療費削減を目的に地域別診療報酬制度や給付制限などの狼煙も上がっているようである。私どもも、無駄を省き効率を高める努力はしなければならない。しかし、公的保険の後退や国民医療費を必要以上に削減することには、我々は真っ向から異議を唱える必要がある。

宮崎県は全国の3分の1の医師少数県であり、さまざまな努力にもかかわらず、本年の臨床研修医は48名と残念な数字であった。一時は60名前後を維持しており、さまざまな努力にもかかわらず増加しないということは、新型コロナ後に大都会志向が戻ったと考えられる。来年度からは地域卒学生に期待したい。

県医師会としては、関係者と協力して若い医師の確保に努めるとともに、医師会への入会を促進したいと考えている。先生方も知り合いに

会員でない先生がいたら、ぜひ声をかけていただきたい。

その他、新型コロナは完全に収まっておらず、医師の働き方改革や緊急時災害時医療の問題、地域医療を巡る問題や事故調の問題、支払基金改革、医療DX、高騰する物価対策等々、多くの課題を抱えており、これらを解決するのに最も重要なことは会員一人ひとりが自分のことと認識することである。

私ども執行部も皆保険制度を堅持して地域医療を守る、医師会員を守る。この医師会の存在意義を再確認して、初心を忘れることなく一致団結して取り組んでいく決意である。

今後もさまざまな問題が発生すると思うが、執行部のみで対応困難な場合には先生方に相談させていただく。これまで以上にご指導並びにご協力をお願いしたい。本日は今期1回目の代議員会である。ご審議のほどよろしく願いたい。

3 報 告

1) 新役員紹介について

市来常任理事が直前に開催された第3回理事会の議案「会長等の選定等に関する件」について次のとおり報告し、その後新役員の紹介を行った。

(要旨) 5月21日に開催した臨時代議員会で会長候補に選定された河野雅行会長の他、副会長候補に選出されていた小牧齋先生と金丸吉昌先生が副会長に選定された。

また、常任理事については、荒木早苗常任理事を始めとする11名が選定された。

その他の理事、監事、代議員会議長・副議長、日医代議員・予備代議員については、第179回臨時代議員会で選定されたとおりである。

2) 宮崎県医師会役員旅費規程の改正について

市来常任理事が、直前に開催された第3回理事会の議案「宮崎県医師会役員旅費規

程の改正に関する件」について次のとおり報告した。

(要旨) 本会の役員旅費規程に規定されている県内日当については、金額が平成4年以降、32年以上改正されていない。今回の物価高騰などへの対応として、資料の別表中の県内日当を現行の6,000円から7,000円に引き上げることが理事会で承認されたので報告する。

あわせて、これまで慣例により諸会議の際に宮崎市郡以外の希望者に準備していたお弁当については、規定外の対応であること、公平性の観点やコロナ禍において配達業者が減っていることから原則として中止とすることとした。なお、改正日は本日付けで即日施行とする。

4 協 議

1) 顧問・名誉会員委嘱の件について

市来常任理事が、第3回理事会で協議した結果を基に次のとおり提案を行った。

(要旨) 定款第43条の規定に基づき、顧問・名誉会員は代議員会の決議を経て会長が委嘱することになっている。顧問については、元宮崎県医師会長の秦喜八郎先生と前宮崎県医師会長の稲倉正孝先生、名誉会員については、元宮崎医科大学長の森満保先生、元宮崎大学長の住吉昭信先生、菅沼龍夫先生、前宮崎大学長の池ノ上克先生に委嘱したい。任期は役員と同様、2年後の定例代議員会の終結のときまでとなる。

以上の説明の後、議長確認により提案どおり承認された。

5 議長閉会宣言

最後に中村議長が円滑な進行への協力で謝辞を述べ、臨時代議員会の閉会を宣言した。

出席代議員および出席役員は以下のとおり。

出席代議員

1番 佐藤元二郎※
 2番 帖佐 悦男
 4番 盛武 浩
 5番 鈴木 斎王※
 6番 牛谷 義秀
 7番 遠藤 豊
 8番 尾田 朋樹
 9番 金丸 禮三
 10番 楠元 直
 11番 栗林 忠信
 12番 桑原 正知
 13番 神尊 敏彦
 14番 白尾 一定
 15番 高村 一志
 16番 増田 好成
 17番 坪井 康浩
 18番 中山 健
 19番 成田 博実
 20番 原田 一道
 21番 原田 雄一
 22番 弘野 修一
 23番 田口 利文
 24番 福島 義隆
 25番 高城 健司
 26番 江夏 剛

27番 瀬ノ口洋史
 28番 佐藤 信博
 29番 平野 雅弘
 30番 大重 明広
 31番 竹原 俊幸
 32番 今給黎 承
 33番 堀之内和代
 34番 北村 洋
 35番 松本 英裕
 36番 中村 彰伸
 37番 河野 秀一
 38番 井尻 裕司※
 39番 園田 定彦

出席38名

※は予備代議員

出席役員

会 長 河野 雅行
 副 会 長 小牧 斎
 ” 金丸 吉昌
 常任理事 荒木 早苗
 ” 市来 能成
 ” 吉田 建世
 ” 高木 純一
 ” 嶋本 富博
 ” 赤須郁太郎
 ” 大塚康二郎
 ” 吉見 雅博
 ” 玉置 昇
 ” 落合 秀信
 理 事 峰松 俊夫
 ” 佐々木 究
 ” 上山 貴子
 ” 田畑 直人
 ” 山中 聡
 ” 河原 勝博
 ” 吉村 雄樹
 ” 松岡 敬子
 監 事 中村 周治
 ” 宮田 純一
 ” 田中 穰式
 出席24名

ご 案 内

宮崎県医師会親善ゴルフ大会

県医親善ゴルフ大会を本年は下記の日程で開催いたします。ぜひ会員の先生方お誘い合わせのうえ、ご参加いただきますようお願いいたします。

なお、開催案内は別途お送りいたします。

と き 令和6年11月3日（日）

と ころ ハイビスカスゴルフクラブ

宮崎市佐土原町大字下田島21085-1

（担当 総務課）

令和6年度第81回宮崎県医師会総会

と き 令和6年6月15日(土)

ところ 県 医 師 会 館

市来常任理事の司会により開会し、はじめに物故会員の先生方に対し黙祷を捧げ弔意を表した。続いて河野県医師会長の挨拶、役員紹介、来賓祝辞、来賓紹介を行った後、各種表彰・祝賀を執り行った。

◇物故会員（令和5年度総会以降）

黒木 龍郎 先生（宮 崎）
迫田耕一朗 先生（宮 崎）
日高 知昭 先生（宮 崎）
宮原 幸安 先生（宮 崎）
仮屋 敏郎 先生（都 城）
政所 節夫 先生（都 城）
藤本 孝一 先生（延 岡）
林 克裕 先生（日 向）
鶴田 明土 先生（西 都）
三宅 一徳 先生（南那珂）
田上 恒雄 先生（西白杵）

◇河野県医師会長挨拶（要旨）

はじめに、このたびの能登半島沖地震にともない、被害を受けられました方々にお悔やみ申し上げるとともに一日も早い復興を願っている。宮崎県でも南海トラフ地震の発生が予測されており、日頃から備えに万全を尽くしておく必要がある。

さて、本年は診療報酬改定があった。0.88%とわずかではあるがプラス改定となった。これもご列席の国会議員の先生方のご協力と、日医のご努力によるものと感謝申し上げます。

本年度の県内初期研修医は48名であり少し寂しく思っている。近年は60名前後で推移していたが、コロナが一段落して若者の大都会思考が

元に戻ったのであろうか。

昨年も申したが、宮崎県内医師の半数は50歳以上である。このままでは我が県の医療界も高齢化が進み、将来が心配である。若い医師を引き寄せる対策を真剣に考える必要がある。その他、医療を巡る情勢は大変厳しいものがある。地域社会衰退の大きな要素としては、人口減少と同時に地域医療の崩壊が挙げられる。

安心した社会生活を送るには、医療の存在が不可欠である。我々医療従事者が県民の健康を守ることにより、地域社会に貢献することになる。県医師会として、今後も県民の医療福祉の充実のために、行政や各関係団体と協力しながら正面から取り組んでいく。皆様方のご協力をお願いしたい。

現在の社会において、このような我々の思いを実現するためには、政治、行政、大学や関連団体との密接な連携が不可欠である。特に本日までご参集の国会議員の先生方には、今後も大にお世話になることがあるのでよろしく願いたい。私どもとしても、政治家の先生方が心おきなくご活躍されるためには、全力を挙げて先生方をバックアップする必要がある。

本日は、医療功労者知事表彰、退任役員表彰、永年勤続代議員表彰、永年勤続職員表彰、永年勤続県医師会等事務職員表彰、高齢会員および各種表彰祝賀の披露を行う。さまざまご功績に対し、あらためて敬意を表し心よりお祝い申し上げます。

終わりに、ご来賓の方々と、ご参集の皆様方の今後ますますのご健勝を祈念し挨拶とする。

◇役員紹介

本日（令和6年6月15日）の定例代議員会終結後に就任した会長以下、監事、議長、副議長を含む新役員の紹介を行った。

◇来賓祝辞および来賓紹介

河野 俊嗣 県知事
野崎 幸士 県議会副議長
渡辺 創 衆議院議員
古川 禎久 衆議院議員
武井 俊輔 衆議院議員
今村 英仁 日本医師会常任理事
鮫島 浩 宮崎大学学長
江藤 拓 衆議院議員（代理）
長友 慎治 参議院議員（代理）
松下 新平 参議院議員（代理）
長峯 誠 参議院議員（代理）

◇宮崎県医療功労者知事表彰

神尊 敏彦 先生（宮崎）
有馬 政輝 先生（都城）
板野 晃也 先生（延岡）
喜多保一郎 先生（児湯）
宇和田 収 先生（西都）

以上5名の先生方に対し、宮崎県医療功労者知事表彰式が執り行われ、河野知事から表彰状と記念品が手渡された。

◇退任役員表彰

前副会長 山村 善教 先生（宮崎）
前常任理事 石川 智信 先生（宮崎）
前議長 内村 大介 先生（西諸）
前副議長 千代反田晋 先生（日向）

本会表彰内規により、上記4名の先生方を表彰し、感謝状と金一封を贈呈した。

◇永年勤続代議員表彰

牧野 剛緒 先生（延岡）
永友 和之 先生（児湯）

本会表彰内規により、10年以上の代議員歴および満70歳に達した方を表彰するもので、上記2名の先生を表彰した。

◇永年勤続職員表彰

県内の会員医療機関において、勤務年数が満30年に達した職員81名を代表して、長友壽秀様（吉田病院）に表彰状を贈呈し、引き続き長友様より祝意に対する謝辞が述べられた。

◇永年勤続県医師会等事務職員表彰

県医師会などに30年以上勤務し功労があった職員1名に対し表彰状などを授与した。

◇各種祝賀（高齢会員・各種表彰）

本会表彰内規により、喜寿・米寿をお迎えになる高齢会員（米寿10名、喜寿32名）および令和5度総会以降、叙勲、大臣表彰、知事表彰など、県関係以上の各種表彰を受賞された48名の先生方を表彰した。河野会長がご出席の高齢会員の先生方の席に出向き、お祝い金と記念品を贈呈した。続いて各種表彰者を代表して、濱田政雄先生に記念品を贈呈し、引き続き濱田先生より祝意に対する謝辞が述べられた。

【高齢会員祝賀】

米寿会員 10名

（昭和12年1月1日～昭和12年12月31日生）

大坪 睦郎 先生（宮崎）
菊池 武英 先生（宮崎）
小波津守良 先生（宮崎）
新城 歌子 先生（宮崎）
竹迫堅之助 先生（宮崎）
田島 直也 先生（宮崎）
藤木 浩 先生（宮崎）
有川 憲蔵 先生（都城）
柳田喜美子 先生（都城）
横山 巖 先生（都城）

喜寿会員 32名

（昭和23年1月1日～昭和23年12月31日生）

岡本 義久 先生（宮崎）
金田 礼子 先生（宮崎）
河野 恭悟 先生（宮崎）
古賀 和美 先生（宮崎）
菅沼 龍夫 先生（宮崎）

立野 進 先生 (宮 崎)	矢野 博美 先生 (都 城)
田中 三博 先生 (宮 崎)	井手 稔 先生 (延 岡)
鶴田 和仁 先生 (宮 崎)	野田 省治 先生 (延 岡)
中村 純五 先生 (宮 崎)	山本 剛 先生 (延 岡)
難波 清 先生 (宮 崎)	岩見 晶臣 先生 (西 都)
蜂須賀裕志 先生 (宮 崎)	莫根 隆一 先生 (西 諸)
春山 康久 先生 (宮 崎)	藺田 通広 先生 (西 諸)
日高 士幸 先生 (宮 崎)	宮崎 裕三 先生 (西 諸)
福永 隆幸 先生 (宮 崎)	令和5年8月29日
外藺 恵介 先生 (宮 崎)	国民健康保険事業功勞により国民健康保険中央 会表彰
皆内 康廣 先生 (宮 崎)	四元 茂 先生 (宮 崎)
湯田 敏行 先生 (宮 崎)	令和5年9月8日
和氣 典雄 先生 (宮 崎)	救急医療事業功勞により県知事表彰
渡邊 幹夫 先生 (宮 崎)	長倉 穂積 先生 (都 城)
内田 恒久 先生 (都 城)	岸 重雄 先生 (延 岡)
夏田 康則 先生 (都 城)	令和5年9月8日
横山 憲三 先生 (都 城)	産科医療功勞により厚生労働大臣表彰
岡村 博道 先生 (延 岡)	山尾 裕道 先生 (延 岡)
岸 重雄 先生 (延 岡)	令和5年9月8日
高見 博昭 先生 (延 岡)	救急医療功勞により厚生労働大臣表彰
青柳淳太郎 先生 (日 向)	岡村 博道 先生 (延 岡)
三股 俊夫 先生 (日 向)	令和5年10月10日
山元 一裕 先生 (日 向)	保健衛生功勞により従六位瑞宝双光章
金子 良一 先生 (南那珂)	故 迫田耕一朗 先生 (宮 崎)
押川 達巳 先生 (西 諸)	令和5年10月14日
新添 謙一 先生 (西 諸)	精神保健福祉事業功勞により県知事表彰
槇 健一郎 先生 (西 諸)	首藤 謙二 先生 (宮 崎)
【各種表彰受賞(章)】	令和5年10月20日
(令和5年6月17日(土)総会以降～現在まで)	国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰
令和5年8月22日	松尾 剛志 先生 (宮 崎)
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	令和5年10月26日
小牧 齋 先生 (宮 崎)	学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰
先成 英一 先生 (宮 崎)	獅子目賢一郎 先生 (宮 崎)
徳田 省吾 先生 (宮 崎)	岡村 公子 先生 (延 岡)
永迫 文代 先生 (宮 崎)	令和5年10月27日
村田 博 先生 (宮 崎)	精神保健福祉事業功勞により厚生労働大臣表彰
有馬 政輝 先生 (都 城)	有田 一信 先生 (都 城)
三浦まり子 先生 (都 城)	

令和5年10月27日
社会保険診療報酬支払基金関係功績により厚生
労働大臣表彰

高木 純一 先生 (宮 崎)

令和5年11月1日

日本医師会優功賞

(在任10年日本医師会委員会委員)

金丸 吉昌 先生 (日 向)

峰松 俊夫 先生 (南那珂)

令和5年11月3日

保健衛生功勞により旭日双光章

濱田 政雄 先生 (宮 崎)

令和5年11月3日

学校保健功勞により瑞宝双光章

小野 武己 先生 (宮 崎)

令和5年11月3日

保健衛生功績により藍綬褒章

竹内 康三 先生 (都 城)

令和5年11月15日

社会福祉功勞により厚生労働大臣表彰

佐藤元二郎 先生 (西白杵)

令和5年11月23日

労働基準行政関係功勞により厚生労働省労働基
準局長表彰

飯田 博幸 先生 (都 城)

令和6年2月20日

公衆衛生事業功勞により日本公衆衛生協会会長表彰

教山 紘臣 先生 (都 城)

押領司篤茂 先生 (延 岡)

田代慎二郎 先生 (日 向)

令和6年2月20日

公衆衛生事業功勞により厚生労働大臣表彰

獅子目 輯 先生 (宮 崎)

泊 直十郎 先生 (都 城)

三股 俊夫 先生 (日 向)

令和6年3月18日

公衆衛生功勞により県知事表彰

海老原爲博 先生 (宮 崎)

宇宿 修隆 先生 (都 城)

沖島 寶洋 先生 (延 岡)

瀧井 優 先生 (日 向)

令和6年4月29日

教育研究功勞により瑞宝中綬章

菅沼 龍夫 先生 (宮 崎)

令和6年4月29日

保健衛生功勞により瑞宝小綬章

菊池 郁夫 先生 (宮 崎)

田中 洋 先生 (日 向)

令和6年4月29日

学校保健功勞により瑞宝双光章

泉 公美 先生 (延 岡)

令和6年6月15日

医療功勞により県知事表彰

神尊 敏彦 先生 (宮 崎)

有馬 政輝 先生 (都 城)

板野 晃也 先生 (延 岡)

喜多保一郎 先生 (児 湯)

宇和田 収 先生 (西 都)

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
e	e	e	d	b	b	e	b	d	a

九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期会長合同会議

と き 令和6年5月25日(土)

ところ ホテルニュー長崎

1 開 会

2 九州医師会連合会会長挨拶(長崎県森崎会長)

長崎県森崎会長の挨拶に続き、今期で退任される会長と新しく就任される次期会長の挨拶が行われた。

鹿児島県池田会長(退) 牧角寛郎次期会長(新)

佐賀県松永会長(退) 志田正典次期会長(新)

沖縄県安里会長(退) 田名 毅次期会長(新)

3 報 告

1) 九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期日医代議員協議会(令和6年5月25日(土)長崎市)について(長崎)

日本医師会の役員推薦などを主な議題に開催される会議で、次第および進行などの確認が行われた。

2) 九州ブロック日医代議員会・次期連絡会議(令和6年5月25日(土)長崎市)について(長崎)

日本医師会の「未来医師会ビジョン委員会」、「救急災害医療対策委員会」、「医療IT委員会」の報告を行う会議で、進行などの確認が行われた。

3) 令和6年春の叙勲等受章者への慶祝について(長崎)

藍綬褒章を受章した日医長島公之常任理事、旭日小綬章を受章した佐賀県の池田秀夫元会長に祝電を送り祝意を表した旨の報告が行われた。

4) 令和6年度九州医師会連合会行事予定について(熊本)

次期担当県の熊本県福田会長から1年間の行事予定の説明が行われた。

5) その他

(1) 日医新会員情報管理システム九州ブロック説明会(令和6年6月7日(金)長崎市)(長崎)

日医の依頼により職員を対象とした説明会を開催することが報告された。

4 協 議

1) 九州ブロックから推薦する次期日本医師会役員等の候補者について(長崎)

理事2名:熊本県福田会長,佐賀県志田正典次期会長,裁定委員1名:佐賀県松永会長を推薦することが承認され,引き続き開催される九医連常任委員・次期日医代議員協議会に上程されることとなった。

2) 令和6年度・7年度における日本医師会代議員会の諸委員について(長崎)

議事運営委員1名:鹿児島県牧角寛郎次期会長,財務委員2名:大分県内田一郎先生,宮崎県小牧斎先生を推薦することが承認され,引き続き開催される九医連常任委員・次期日医代議員協議会に上程されることとなった。

3) 第157回日医臨時代議員会(令和6年6月23日(日))における九州ブロック代表質問について(長崎)

九州各県から提出された5題の中から,

「医師会の組織強化と事業承継問題について（福岡県案浦美雪代議員）」、「かかりつけ医機能報告制度について（宮崎県金丸吉昌代議員）」、「現職勤務医が日本医師会執行部に参画できる方策の検討（熊本県高橋毅代議員）」の3題を代表質問とすることが承認された。

4) 第156回日医定期代議員会・第157回日医臨時代議員会開催に伴う九州ブロック次期日医代議員連絡会議（令和6年6月21日（金）・22日（土）・23日（日））の開催について（長崎）

日医役員などが選挙となった場合の対応について確認が行われた。

5) 日本医師会次期会長候補者の推薦について（長崎）

九医連ではすでに会長は松本吉郎先生を推薦しており、加えて常任理事は鹿児島県の今村英仁先生、福岡県は濱口欣也先生を引き続き推薦することが承認された。

6) 日本医師会次期役員等候補者の推薦届出と都道府県医師会選出日医代議員への文書による協力依頼等について（長崎）

会長候補、常任理事候補、理事・裁定委員候補の推薦協力依頼文書を、都道府県医師会会長、次期日医代議員、予備代議員、十四大都市医師会会長に送ることが承認された。

7) 選対本部に対する陣中見舞いについて（長崎）

6月2日（日）、東京で開催される選対本部事務所開きに、九州各県それぞれ10万円、九医連20万円の計100万円を陣中見舞いとして贈ることが承認された。

8) 九州医師会連合会監査会・事務引継の開催について（長崎）

7月20日（土）、長崎県医師会館で開催することが承認された。

9) 九州地方社会保険医療協議会委員（臨時委員の推薦について（福岡））

佐賀県、宮崎県に代わり、熊本県、長崎県から選出することが承認された。

10) 九州医師会連合会第416回常任委員会（令和6年7月13日（土）熊本市）の開催について（熊本）

常任委員会が福田病院で開催され、翌日、北里柴三郎記念館、TSMC熊本工場を見学することが承認された。

11) 九州医師会連合会第417回常任委員会並びに第127回定例委員総会（令和6年8月24日（土）熊本市）の開催について（熊本）

ホテル日航熊本で開催されることが承認された。

12) 九州医師会連合会第418回常任委員会並びに第1回各種協議会等（令和6年10月5日（土）熊本市）の開催について（熊本）

ホテル日航熊本で開催されることが承認され、勤務医委員会の開催を検討することが承認された。

13) その他

(1) 令和6年度九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会会長合同会議（令和6年7月12日（金）長崎市）について（長崎）

九州各県医師会に照会の結果、鹿児島県の医師会から「新地域医療構想について」が提案され、各県行政の地域医療構想の議論の方向性、取組み状況を協議することが説明された。

5 その他

6 閉会

出席者－河野会長、竹崎事務局長

九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期日医代議員協議会

と き 令和6年5月25日(土)

ところ ホテルニュー長崎

1 九州医師会連合会長挨拶 長崎県医師会長 森崎 正幸

2 報 告

1) 九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議(令和6年5月25日(土)長崎市)について(長崎)

森崎会長より、この後開催される標記会議の内容などについて報告があった。

3 協 議

1) 九州ブロックから推薦する次期日本医師会役員等の候補者について(長崎)

理事は、福田会長(熊本県医)と志田次期会長(佐賀県医)、裁定委員は松永現会長(佐賀県医)を候補者として推薦することが了承された。

2) 令和6年度・7年度における日本医師会代議員会の諸委員について(長崎)

議事運営委員には、牧角先生(鹿児島県医)、財務委員には、内田先生(大分県医)と小牧先生(宮崎県医)を推薦することが了承された。

また、九州ブロックの選挙管理委員は、宮本先生(熊本県医)と植田先生(福岡県医)である旨が報告された。

3) 第156回日医定例代議員会・第157回日医臨時代議員会開催に伴う九州ブロック(次期)日医代議員連絡会議(令和6年6月21日(金)・22日(土)・23日(日))の開催について(長崎)

九州ブロック(次期)日医代議員連絡会議を6月21日(金)18時から第一ホテル東京で、22日(土)、23日(日)は9時から日本医師会館で開催することが了承された。

4) 第157回日本医師会臨時代議員会(6月23日(日))における九州ブロック代表質問について

福岡県医、大分県医、宮崎県医から提案された3題を代表質問として提出することが了承された。

5) 日本医師会次期会長候補者の推薦について(長崎)

現職の松本会長(埼玉県医)を会長候補として推薦すること、現常任理事の今村先



生(鹿児島県医)、濱口先生(福岡県医)を常任理事候補として推薦することが了承された。なお、副会長選挙、議長・副議長選挙については、九州ブロックからの候補者がいないため九医連としては関与しないことが了承された。

6) 日本医師会次期役員等候補者の推薦届出と都道府県医師会選出日医代議員への文書による協力依頼等について(長崎)

役員等候補者の推薦届出は慣例により九医連担当県である長崎県が作成すること、また、文書による協力依頼については長崎県から推薦文書(案)が提示され、了承された。送付先については例年どおり、都道府県医師会長、次期日医代議員・予備代議員、十四大都市医師会長宛に送ることが了承された。

議事終了後、日医常任理事候補者である、今村先生(鹿児島県医)と濱口先生(福岡県医)から挨拶があった。引き続き、今期で退任される池田会長(鹿児島県医)、安里会長(沖縄県医)および松永会長(佐賀県医)から挨拶があった。その後、第157回日本医師会臨時代議員会に提出する九州ブロック代表質問について、本会議に出席している、案浦先生(福岡県医)と金丸先生(宮崎県医)から説明があった。

出席者 - 河野会長、小牧副会長、
市来・金丸常任理事、
竹崎事務局長、牧野課長、弓削主事

九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議

と き 令和6年5月25日(土)

ところ ホテルニュー長崎

森崎九州医師会連合会長・長崎県医師会長の挨拶の後、森崎会長を座長に選出し、報告に入った。日本医師会の3つの委員会について、九州ブロック選出の日医委員から報告があった。

1 未来医師会ビジョン委員会

未来医師会ビジョン委員会委員

玉城研太朗(沖縄県)

未来医師会ビジョン委員会に松本会長(日医)より、「若手医師の期待に応え続けていく医師会のあり方」について諮問があった。これは未来医師会ビジョン委員のみならず、すべての先生方全員で考えていかなければならない課題だと考える。大きく5つのことに対して答申させていただいた。

第1章 日本医師会の歴史と未来医師会ビジョン委員会

第2章 若手医師が期待するもの

第3章 若手医師の期待に応える活動を続けるためには何が必要なのか

第4章 若手医師の期待に応えること、医師会組織強化、日本の医療体制強靱化の3つは同義である

第5章 若手医師や国民に向けた新時代の医師会広報のあり方

答申の冒頭では「『若手医師の期待に応えること、医師会の組織強化、日本の医療体制強靱化』の3つは同義である。本報告書には若手医師の期待に応える方策を論じているが、その先に、人間の尊厳が大切にされる社会の実現を目指す清廉な医師会の歴史の続きがあることを信

じている」と書かせていただいた。

第1章では、日本医師会の過去の歴史を若い先生方にも伝えていく必要があると考えている。その手段として、日本医師会館内に誰もが閲覧できる歴史資料館を作ることを提案させていただいた。

次に第2章では、特に重要なのは「政府・地方自治体における政策形成への若手医師の意見の反映」である。若手医師を医師会の理事会や県、市町村行政などの会議の場にオブザーバーとして参加してもらい、議決権はないが意見を述べてもらい、医療政策に反映させる仕組みである。

第3章では、主に「海外留学制度の提供」や「学術団体としての更なる機能強化・評価の向上」ということを提案させていただいた。

第4章も非常に力を入れなければならない部分である。若手医師の期待に応えること、それがひいては医師会組織強化、日本の医療体制強靱化につながるからである。「日本医師会の歴史を理解し、政策提言を行える若手の早期育成」をしていかなければならない。この早期育成体制の構築が極めて重要である。先生方のご協力をいただきながら、若手医師に入会いただき、世代を超えて次世代にこの流れを作りつなげていく必要がある。

第5章として「日本医師会広報専門チームの創設」を提案させていただいた。若手医師から意見をいただく中で、20代30代の先生から医師会の広報を見たとき、広報が非常に拙劣で、

心に刺さらないという意見があった。どういう風に伝えれば情報が伝わるのか今一度議論していく必要があると思っている。

2 救急災害医療対策委員会

救急災害医療対策委員会委員

田名 毅 (沖縄県)

今回の会長諮問は「医師会による救急災害医療の実践について」という内容であった。山口芳裕教授(杏林大学)を委員長とし、以下4つの項目を立て話し合いを重ねてきた。

- 1 地域包括ケアシステムにおける救急医療について
- 2 日本医師会ACLS研修制度の検討
- 3 JMATのあり方
 - ・JMAT研修 COVID-19オプション研修
 - ・JMAT携行医薬品・携行資器材リストの改定作業

4 マスギャザリング災害に備えた医療体制
まず「地域包括ケアシステムにおける救急医療について」は「救急医療基本法」、特に「救急救命士の活用」について提言を行った。そして都道府県医師会、郡市区医師会への具体的・実践的な提言として「傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生」を挙げさせていただいた。

救急救命士の活用については最初、看護師不足を補う救急救命士のあり方というのを考えていたが、沖縄県内2つの病院にヒアリングしたところ、決して救急救命士は看護師の代わりではなく、救急現場においてハブの役割として院内院外の医療機関、医療従事者をつなぐ役割があるということで、救急救命士の活躍の場というのを勉強させていただいた。

地域包括ケアシステムについては委員会の中で多くの先生方から意見をいただいた。例えば、岡山県の松山会長は会長自ら小学校、中学校などに出向いて、ACPについての講義をさ

れるということで大変感銘を受けた。また、その他の委員の先生から、各現場で地域包括ケアシステムと救急医療の関わりについての話し合いがされていることもご紹介いただいた。

次に「日本医師会ACLS研修制度の検討」である。ACLSの課題は、開業医の参加が少ないということである。開業医がこの研修をいかにスムーズに受けられるかということについて議論している。開業医にもご参加いただきたい理由は、鎮静剤などでも患者さんが急変してしまう場合があるためである。私は医療事故も担当してきたが、抗生物質でもショックを起こすケースがあった。開業医の先生方にとってもACLSは重要なテーマとなる研修のため、今後も医師会が中心となって進めていきたい。

次に「JMATのあり方」である。まずJMAT研修COVID-19オプション研修を行った。標準予防策からPPEの着脱などの訓練に始まり、ゾーニング、クラスター対策の実習を行った。私たちがコロナ禍で苦労した介護施設の支援、これを避難所でどう活用できるかということについて全国の医師会の先生方にお集まりいただき研修を行った。この研修会のテキストになっている「新型コロナウイルス感染症時代の避難所マニュアル」は好評であったので、ぜひご覧いただきたい。

また、「JMAT携行医薬品・携行資器材リストの改定作業」を行った。災害現場に行く際は、医薬品リストが入手できるようになっているため、必要なときご参照いただきたい。

最後に「マスギャザリング災害に備えた医療体制」である。本委員会委員長の山口教授(杏林大学)が力をいれて取り組んでいる。その成果として「大規模イベントにおける医療・救護ガイドブック」を発行した。マラソン大会をはじめ、さまざまなイベントで医師会から支援を求められることがあると思う。そのときこのガ

イドブックは非常に参考となるので、ぜひご利用いただきたい。

JMAT本部HP <https://jmat-hq.jp/>

3 医療IT委員会

医療IT委員会委員 藤井 卓（長崎県）

松本会長（日医）から「医療DXを適切に推進するための医師会の役割」という諮問をいただいた。

医療DXは単に医療の領域にデジタル技術を導入すればよいということではない。間違った方向でデジタル技術が導入された場合、現在の素晴らしい医療制度を破壊することにつながる可能性もある。内閣官房の医療DX推進本部の資料では「医療DXの定義」が示されているが、医療DXを適切に推進するためには、医療DXが何を目的にするのか明確にする必要があると考えた。当委員会として「医療DXのゴール」の定義を次のように提唱する。

「医療DXのゴール」の定義

医療DXのゴールは、デジタル技術を駆使することによって、国民皆保険と地域医療を守るとともに、より安全で質の高い医療を実現し、医療従事者の負担を軽減して、余裕を持って患者に寄り添うことができるよう医療現場を変革することである。

医療DX推進本部が作成した「医療DXの推進に関する工程表」では、全国医療情報プラットフォーム（全国医療情報PF）を構築し、「遅くとも2030年には概ねすべての医療機関において必要な患者の医療情報を共有するための電子カルテ導入を目指す」とある。しかし、年配の医師には紙カルテしか使ったことがない方も多く、いずれ義務化されるのではないかと危惧する声もあるため、そういった不安を払拭していかなければならない。仮に紙カルテを使い続けたとしても、恩恵を受けることができるような医療DXを目指す必要がある。そのうえで、電

子カルテなどの導入を検討する医療機関や医師に対しては、使い方やセキュリティに関する研修会を開催するなど十分なサポートをするのが医師会の役割である。

地域における診療情報の共有を目的に地域医療情報連携ネットワーク（地域医療連携NW）の取組みが行われているが、全国医療情報PF創設の影響を受け、縮小や終了した地域がある。日医は全国医療情報PFと地域医療連携NWでは閲覧できる情報に違いがあることから併用が必須であると主張してきた。両者は根本から機能と役割が異なるため、併用していくうえで知見を収集し、真に適切な医療情報連携の在り方を考え、提言していくことも医師会の役割だと考える。

医療機関において安全なデジタル化を進めるためにもセキュリティ対策は国の責任で行うべきである。実際に運用する際には各医師会と協力して、医療現場に不安のないような体制を確保しなければならない。サイバー攻撃は災害と同様で不可避であるため、被害を受けた場合は手厚い支援や配慮を行う必要がある。

医療DXを進めるうえでスピードは重要であるが、有効性と安全性を確保し、利便性、効率性の実現を目指すべきである。国が進める医療DXに医療機関の協力を求めるのであれば、国が責任をもって全額負担すべきだと強く提言する。また、デジタル化に対応できない医療機関があることを念頭に置き、混乱と支障がないように慎重に進めるよう国を導く役割が日医に求められる。「誰一人、日本の医療制度から取り残さない」ことが医療DXを適切に推進するための大前提である。

出席者－河野会長，山村・小牧副会長，

市来・金丸常任理事，

竹崎事務局長，牧野課長，弓削主事

令和6年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会

と き 令和6年5月17日(金)

ところ 日本医師会館小講堂 (Web会議)

1 開 会

2 会長挨拶 日本医師会会長 松本 吉郎

今や全医師数における勤務医の割合は7割を超えており、大規模災害時における被災地の医療活動は勤務医なしでは成り立たない状況である。最初の協議である「大規模災害と勤務医」では能登半島地震におけるJMAT活動をふまえ説明いただくので、忌憚のないご意見を賜りたい。もう一つの「若手医師の期待に応える医師会の姿」では、今期の未来医師会ビジョン委員会の答申内容を中心に委員会活動をご報告いただく。勤務医、若手医師の先生に早いうちから医師会活動に参画いただくことは、今後の医師会活動を持続可能なものにするためには必要不可欠である。委員の先生方の熱い思いに触れていただき、勤務医の先生方のさらなる理解の深化と情報共有にご協力いただきたい。

3 全国医師会勤務医部会連絡協議会について

1) 令和5年度担当医師会報告

青森県医師会 常任理事 樋口 毅

令和5年10月7日(土)に「2024年、変わる勤務医、輝く勤務医」をメインテーマに青森市にて開催された。約300名の出席者で、会の最後には「あおり宣言」が採択され、非常に意義のある協議会であったことが報告された。

2) 令和6年度担当医師会挨拶

福岡県医師会 副会長 一宮 仁

令和6年10月26日(土)に「勤務医の声を医師会へ、そして国へ～医師会の組織力が医療を守る～」をメインテーマにホテル日航福岡(福岡市)にて開催予定である。ま

た、翌日にはここ数年開催のなかった若手医師の勤務医交流会も計画している。役職員一同、鋭意準備を進めているので、ぜひ多くの先生方にご出席いただきたい。

4 協 議

1) 大規模災害と勤務医

日本医師会 常任理事 細川 秀一

医師会は、多くは地域医療を担う医師で構成されており、平時からしっかりと地域連携を築いている。そのため災害や有事のときは地域医療を守ることができ、一つの医師会だけで対応が難しい場合は、全国の医師会が支援する対応をとっている。日本医師会の災害支援の最終目標は、被災地に地域医療を取り戻すことである。被災した方々を治療するだけでなく、その地域の診療所・病院の意見を伺いながら地域医療を取り戻す目途が立つまでしっかりと支援をしていく。

令和6年度能登半島地震におけるJMAT活動においては、被災地の診療、健康管理だけではなく、JMATの派遣調整を行う「統括JMAT」や、インフラの復旧が整っていない地域での活動に対応する「重装JMAT」として多くの勤務医にご参加いただいた。この場を借りて感謝申し上げたい。

超高齢社会などで災害時の要配慮者が増える中、災害対応は医師会活動の中でも重要となる。この他にも医師会はさまざまな活動を行っている。勤務医の先生にはぜひ日本医師会へのご協力をお願いしたい。

2) 若手医師の期待に応える医師会の姿

日本医師会 常任理事 今村 英仁

これからの医療を担う医師が将来の医師会活動や我が国の医療制度の在り方などを自由闊達に議論することを目的とした「未来医師会ビジョン委員会」の活動報告がされた。日医かかりつけ医機能研修制度の導入、全国郡市区医師会長協議会（仮称）の創設といった委員会での提言がこれまで会務に反映された取組みとして紹介された。

今期の委員会（第6次）では、「若手医師の期待に応え続けていく医師会のあり方」という諮問のもと、①若手医師が期待するものとは何か、②若手医師の期待に応えるために医師会が何をしてきたのか、③若手医師の期待に応えるための活動を続け

ていくために何が必要なのかについての検討を行い、松本会長に提出した答申内容について報告があった。

来期以降も若手医師の先生方に自由な発想でご意見・ご提案をいただき、実現可能性も含めて会内で検討を行い、適宜会務に取り入れていきたいと考える。若手医師や勤務医の先生方と更なる交流を図り、医師会活動に目を向けていただけるよう努めていきたい。

5 閉 会

出席者－（日医出席）金丸常任理事、田畑理事
（Web出席）荒木常任理事、
野尻課長、福田主事

7月のベストセラー（宮崎県）

集計：2024年7月1日～7月21日

1 赤と青のガウン	彬 子 女 王	P H P 文 庫
2 あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。Another	汐 見 夏 衛	ス タ ー ツ 出 版
3 暗 殺	柴 田 哲 孝	幻 冬 舎
4 メンタル強め美女白川さん⑥	獅	KADOKAWA
5 成瀬は信じた道をいく	宮 島 未 奈	新 潮 社
6 助太刀稼業（一）さらば故里よ	佐 伯 泰 英	文 春 文 庫
7 ツミデミック	一 穂 ミ チ	光 文 社
8 笑うマトリョーシカ	早 見 和 真	文 春 文 庫
9 成瀬は天下を取りにいく	宮 島 未 奈	新 潮 社
10 クスノキの女神	東 野 圭 吾	実 業 之 日 本 社

日医インターネットニュースから

■美容医療の問題、年内にも対応策 — 厚労省検討会が初会合 —

美容医療に関する相談や危害事例が増えている現状を受け、厚生労働省は6月27日、対応策を議論する検討会の初会合を開いた。年内をめどに、議論をまとめる。

初会合となったのは、「美容医療の適切な実施に関する検討会」（座長＝小野太一・政策研究大学院大学政策研究科教授）。

全国の消費生活センターに寄せられた相談を収集するPIO-NET（全国消費生活情報ネットワークシステム）によると、2023年度は、美容医療に関する相談のうち、「危害」と登録されたものが796件あった。近年、件数は増加傾向にある。

相談事例全般で見ると、無診察、無資格者による施術など、医師法上の問題が疑われる事例がある。治療内容や薬、副作用に関する説明が不十分だった事例もある。

厚労省は、東京都内や大都市の保健所に対し、ヒアリングを実施。その結果、「医行為の線引きや医師法違反の線引きが難しい」「医師以外の医行為があっても、証拠を押さえるのが難しい」「非医療機関で行われる医行為への対応が難しい」といった声があった。

こうした背景を踏まえ、検討会では美容医療について、被害の防止や、質の高い医療提供を図るため、議論を進める。

検討の対象は、美容目的で行う医行為。より具体的には、▽眼瞼形成、乳房増大、脂肪吸引といった「外科的手技」▽しわ・たるみ治療、ボトックス注射、アートメイクなどの「非外科的手技」▽GLP-1ダイエット、AGA薬処方を含めた「内服薬・内科的療法」-となる。

初会合では、厚労省が現状を説明。日本美容医療協会に寄せられた相談内容も紹介した。

構成員からは、以下のような趣旨の声が上がった。

「医行為が指す範囲を示せば、それ以外の行為も分かりやすくなる」「無資格者による侵襲行為は、場合によっては傷害罪に該当する可能性もある。法律に基づく枠組みを決めた上で、逸脱をどう取り締まれるか、適切に議論する必要がある」「医師のモラルをなんとかしない限り、前には進めない」「ここで決めたことを、無資格者も含め、どう世の中に伝えていくかが大事」

●美容外科医師数増加 保険診療に懸念も

厚労省は、08年度と22年度を比べると、美容外科に従事する医師数は3.2倍、形成外科に従事する医師数は2.0倍に拡大したとのデータも示した。

これを受け、美容外科を選択する医師の増加は、保険診療に従事する医師の確保に影響すると、懸念を示す構成員もいた。

終了後の取材で、厚労省は検討会の目的について、「あくまで美容医療として患者に対する行為に関して議論する」と説明。医師確保の議論は、別の検討会で行うとした。

（令和6年7月2日）

■かかりつけ報告、診療領域と疾患で決着 — 厚労省分科会 —

厚生労働省の「かかりつけ医機能が発揮される制度の施行に関する分科会」（座長＝永井良三・自治医科大学長）は7月5日、かかりつけ医機能報告制度で報告を求める内容について、方針を固めた。焦点となっていた症状・診療科は、1次診療できる「診療領域と疾患」で決着した。次回以降、これまでの議論をまとめ、ガイドライン（GL）の作成に取りかかる。

2025年4月に施行する制度では、まず1号

機能として、対応できる範囲などについて、医療機関に報告を求める。ここで要件を満たした場合、2号機能として、時間外対応や在宅医療などの機能の有無を報告してもらう流れになる。

分科会では、かかりつけ医機能の有無を判断できるように、1号機能の要件や内容設定を巡って検討を重ねてきた。これまでの議論を踏まえ、厚労省はあらためて案を提示した。

●研修修了者・総合診療医、有無のみ報告

「かかりつけ医機能に関する研修修了者または総合診療専門医」について、厚労省は以下の3案を示した。

①いることが必須（制度施行5年後までは有無の報告のみで可）②有無の報告のみで可（5年後に再検討）③有無の報告のみで可。

できるだけ多数の医療機関に制度への参加を促すため、構成員の多くは②を推した。

●疾患の表記、「患者に分かりやすく」

「症状・診療科」の内容については、以下の4案を示した。

①1次診療と相談対応可能な症状②1次診療可能な診療領域と相談対応可能な症状③1次診療可能な診療領域と疾患（患者調査で外来患者数が多い傷病）、医療に関して広く相談対応が可能であること④1次診療可能な診療領域、医療に関して広く相談対応が可能であること。

これまでの議論では、報告内容を「症状」「診療領域」のどちらにするかで意見が分かれていた。しかし、新たに「疾患」が入ったことを受け、ほぼ全ての構成員が③を支持した。

ただ、疾患の内容については、「患者にとって分かりやすい分類や表記にすべき」と念を押す声も相次いだ。厚労省は、一次診療で報告で

きる疾患案として、▽高血圧▽かぜ・感冒▽不整脈－など40種類を提示。最終的な一覧は、今後の議論で詰めていくことになった。

2号機能の項目は、これまで厚労省が示してきたものとほぼ同じ内容だ。時間外診療、入退院時支援、在宅医療、介護サービスとの連携について、機能の有無の報告を求める。

（令和6年7月9日）

■かかりつけ制度、GL作成へ

— 厚労省、来年4月施行に向け —

7月5日の「かかりつけ医機能が発揮される制度の施行に関する分科会」で、厚生労働省は来年4月の制度施行に向け、自治体などを念頭に置いたガイドライン（GL）を作成する方針を示した。テーマごとの協議の進め方の例、考えられる対応策などを盛り込む。

厚労省は分科会で、これまでの議論の整理案を提示。その中で、厚労省の今後の取り組みにも言及した。整理案に対して、構成員から大きな反対意見はなかった。

厚労省は今後、「かかりつけ医機能の確保に関するGL（仮称）」を作成する。ほかに、以下の取り組みも進める姿勢だ。

▽かかりつけ医機能の確保に向けた医師の研修の詳細について、厚生労働科学研究班で整理する▽地域の協議に資するデータブックを作成する▽地域の好事例集を作成する▽都道府県や市町村に対して研修・説明会を実施する▽制度の普及・推進のために、動画やポスターを作成する。

（令和6年7月9日）

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会（<http://www.med.or.jp/>）>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の下2桁，月2桁，日2桁」の6桁の数字（半角）

医師協同組合だより**宮崎県医師協同組合 第40回通常総代会・理事会**

と き 令和6年6月15日(土)

ところ 県 医 師 会 館

第40回通常総代会は小牧副理事長の開会宣言後、議場に議長選出を諮り、中村彰伸先生が選出された。総代の出席者数および書面議決、委任状を確認後、中村議長が通常総代会の成立を宣言した。河野理事長から「本組合の事業実績はいまだにコロナ禍の影響が残り、苦戦を強いられている。一部厳しい数字は計上されているが、組合員先生方のご協力もあり、全般的には前年度実績に近づけることができたことに感謝申し上げます」との挨拶後、上程された6議案についての審議があり、すべて賛成全員によって原案のとおり承認可決された。

総代会終了後に理事会が開催され、新たに選任された理事者全員による互選により、代表理事(理事長)に河野雅行先生、副理事長に金丸吉昌先生、担当副理事長に吉田建世先生、専務理事に赤須郁太郎先生が選出された。

議案第1号 令和5年度事業報告、決算及び剰余金処分案の承認を求める件

市来専務理事から、共同購買事業は医療機器の取扱いが低調に推移したため購買全体で前年度比91.4%、カード取扱事業は利用件数および総売上金額の伸びにより事務手数料は前年度比100.8%、斡旋集金事業はマンションなどの斡旋が好調で前年度比123.1%、集金部門は医師サービスセンターの手数料引き下げにより前年

度比75.4%、保険事業は損害保険手数料が前年度比100.2%、生命保険手数料は業務提携先のリスクマネジメント・ラボラトリーの契約が好調で前年度比124.8%など主要事業について報告があった。吉田副理事長から、財産目録、貸借対照表、損益計算書により当期純利益2,644万余円、資産合計6億7,400万余円、前期繰越剰余金1,052万余円、当期末処分剰余金3,697万余円など決算内容の説明、宮田監事からの監査報告後、剰余金処分案についての説明があり、原案のとおり承認可決された。

議案第2号 令和6年度事業計画及び収支予算案の承認を求める件

市来専務理事から、主要事業の購買事業、マンション・車両紹介の斡旋事業、メディカルカード利用特典の拡大、保険事業における団体契約および個別契約の提案、事業承継などに必要不可欠な教育情報事業の企画に努める本計画の基本方針と県医師会並びに各郡市医師会、全医協連・九医協連などとの連携を図りながら既存事業を充実させ、組合員が必要とする新規事業を推進する重点施策について説明があった。また、来る10月19日の九医協連通常総会では本組合の担当により宮崎市にて開催するとの報告があった。吉田副理事長から、令和6年度収支予算案の主要計上科目ごとの説明があり、収入・支出とも合計1億4,381万余円(前年度比6.5%

増), 税引前当期純利益は, 3,504万円 (前年度比5.8%減) の見込みであると報告があり, 原案のとおり承認可決された。

議案第3号 借入金残高最高限度額決定の件

議案第4号 役員報酬決定の件

吉田副理事長から, 議案第3号は借入金残高最高限度額を1,000万円とし, 議案第4号は予算の範囲内で, 役員報酬を理事8名分で299万円, 監事2名分で16万円とする提案があり, 原案のとおり承認可決された。

議案第5号 役員(理事・監事)改選の件

中村議長から, 任期満了にともなう役員改選(理事8名, 監事2名)は本組合定款に基づき, 出席者全員の同意の場合は指名推選の方法により役員選出の選挙を行う旨の説明があった。議場に選挙方法を諮ったところ, 全員賛成により指名推選が決定, 選考委員は議長一任で

承認された。出席総代全員が選考委員に選任され, 役員数は改選前と同数とした。理事には8名(河野雅行・金丸吉昌・吉田建世・赤須郁太郎・中山健・大塚康二郎・吉村雄樹・山中聡)の先生方, 監事には2名(桑原正知・宮田純一)の先生方が指名され, 全員の当選が承認可決された。

議案第6号 役員退任慰労金決定の件

吉田副理事長から, 役員退任慰労金に関する内規に基づき, 任期満了にて退任される当該役員の先生方に慰労金を支給する説明があり, 原案のとおり承認可決された。

すべての議案審議終了後に河野理事長からの謝辞があり, 中村議長の閉会宣言後, 総代会の全日程を終了した。

出席総代(理事含む56名)

牛 谷 義 秀	遠 藤 豊	尾 田 朋 樹	金 丸 禮 三
楠 元 直	桑 原 正 知	神 尊 敏 彦	高 村 一 志
中 山 健	成 田 博 実	原 田 一 道	原 田 雄 一
市 来 能 成	上 山 貴 子	金 丸 吉 昌	河 野 雅 行
河 原 勝 博	小 牧 齋	佐々木 究	高 木 純 一
玉 置 昇	石 川 智 信	内 野 竜 二	菊 池 安 剛
篠 原 立 大	名 越 敏 郎	増 田 好 成	田 口 利 文
福 島 義 隆	高 城 健 司	江 夏 剛	瀬ノ口 洋 史
田 中 穰 式	隅 専 浩	佐 藤 信 博	平 野 雅 弘
大 重 明 広	竹 原 俊 幸	赤 須 郁 太 郎	吉 田 建 世
宮 田 純 一	池 田 典 文	今 給 黎 承	堀之内 和 代
松 岡 敬 子	北 村 洋	山 中 聡	松 本 英 裕
大 塚 康 二 郎	中 村 彰 伸	河 野 秀 一	川 西 昭 人
山 田 孝 俊	園 田 定 彦	吉 村 雄 樹	井 尻 裕 司

(敬称略)



理事会日誌

令和6年6月4日(火) 第2回理事会

医師会関係 (議決事項)

議案第1号

令和5年度宮崎県医師会事業報告に関する件
事業報告書案に基づき説明が行われ、変更項目等の確認を行った後、審議の結果、軽微な変更は河野会長に一任することとした上で、原案通り可決承認された。

議案第2号

令和5年度宮崎県医師会収支決算に関する件
令和5年度収支決算の説明が行われた後、財務三基準の収支相償は2段階の基準と公益目的事業比率の基準は満たしたが、遊休財産額の基準はクリアしていないとの説明が行われた。

その後、「5月24日に法人運営と財務会計の監査を行い、関係書類も整備され適正妥当である」との監査報告があり、審議の結果、原案通り可決承認された。

議案第3号

令和7年度 宮崎県医師会 会費賦課徴収に関する件

令和6年度と同様に会費賦課徴収規程等により徴収することが可決承認された。

(報告事項)

1. 令和5年度 資金運用結果について

令和6年6月4日(火) 第5回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 役員等の退任に係る役員退任慰労金の支給について

県医師会役員等の報酬等規程及び表彰並びに慶弔に関する内規に基づき、4名の退任役員等に慰労金を支給することが承認された。

2. 役員等報酬支給について

県医師会役員等の報酬等規程に基づき、報酬を支給することが承認された。

3. 職員の夏季手当支給について

県医師会職員給与規程等に基づき、宮崎県人事委員会の勧告を参考に、社会情勢等を踏まえて、期末・勤勉手当を支給することが承認された。

4. 管理職調整手当(令和6年6月)の支給について

管理職調整手当の支給に関する規程に基づき、期末・勤勉手当に合わせて支給することが承認された。

5. 6/15(土)(県医) 第180回県医師会定例代議員会及び第181回臨時代議員会等について

当日の進行や役割分担、提出議題等が承認された。

6. 県医師連盟執行委員の推薦について

県医師会の次期役員を中心に20名を推薦することが承認された。

7. 6/6(木)都道府県医師会社会保険担当理事連絡協議会の開催について

ベースアップ評価料と医療DX推進体制整備加算についての解説を目的に開催される連絡協議会で、市来常任理事と鳴本常任理事がWeb会議で出席することが承認された。また、その他の担当理事や各郡市医師会社保担当理事にも案内し参加者を募ることとなった。

8. 7/6(土)・7(日)第55回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会について

共同利用施設に係る諸問題について協議することを目的に開催される協議会で、市

来常任理事と赤須常任理事が出席することが承認された。

9. 業務委託について

①令和6年度自殺対策に係る人材育成研修業務の委託契約について

→自殺のハイリスク要因であるうつ病や自殺未遂等について医師や医療従事者を対象とした専門研修を行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

②令和6年度医師養成・確保支援事業の委託契約について

→医師のキャリア形成と県内の医師不足解消を目的に、高校生向け説明会、県内の臨床研修病院や専門医プログラムの説明会などを行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

③令和6年度HTLV-1（ヒトT細胞白血病ウイルス1型）母子感染対策事業に係る業務の委託契約について

→HTLV-1の母子感染を減らすことを目的に、HTLV-1キャリアの実態調査や研修会等を実施する事業で、契約を締結することが承認された。

④令和6年度女性医師等就労支援事業の委託契約について

→女性医師等が仕事と家庭の両立を図り、医師として働き続けられる環境作りを支援することにより本県の医師確保を図る事業で、契約を締結することが承認された。

10. 後援・共催名義等使用許可について

①みやざき“いのちのリレー”ポスターコンテスト2024の名義後援について

→県民に“いのちのリレー”について考えていただく機会にすることを目的に開催されるポスターコンテストで、名義後援を行うことが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 5月末日現在の会員数について

3. 5/25(土)（長崎）九医連常任委員・次期会長合同会議について

4. 5/25(土)（長崎）九医連常任委員・次期日医代議員協議会について
5. 5/25(土)（長崎）九州ブロック日医代議員（含・次期）連絡会議について
6. 5/27(月)（県防災庁舎）県医療審議会について
7. 6/2(日)（東京）松本吉郎日医会長選挙対策本部事務所開きについて
8. 6/3(月)（県医）県アイバンク協会理事会について
9. 6/4(火)（県医）県学校保健会理事・評議員会について
10. 6/4(火)（県医）学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰審査会について
11. 5/31(金)（県防災庁舎）県社会福祉審議会児童福祉専門分科会について
12. 5/31(金)（県婦人会館）県移植推進財団定例理事会について
13. 5/23(木)（福岡）九州地方社会保険医療協議会総会について
14. 5/31(金)（県医）臨床研究倫理審査事業に関する打合せ
15. 5/29(水)（県医）都道府県医師会医療廃棄物担当理事連絡協議会について
16. 5/23(木)（県医）県糖尿病対策推進会議小幹事会について
17. CKDシールの活用について
18. 5/23(木)（県医）県訪問看護ステーション連絡協議会役員会について
19. 5/24(金)（県医）認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会について
20. 5/27(月)（県医）在宅医療研修会企画小委員会について
21. 6/1(土)（県医）県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会・総会・全体研修会について
22. 5/29(水)（県庁）県医療的ケア運営協議会について
23. 5/28(火)（九州厚生局宮崎事務所）九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
24. 5/29(水)（宮崎労働局）労災診療指導委員会・労災部会理事会について

25. 5/28(火) (宮大医学部) 宮大医学部認定再生医療等委員会について
26. 5/29(水) (県防災庁舎) 県保険者協議会について
27. 5/29(水) (県医) 県警察医会協議会について
医師連盟関係
(議決事項)
1. 6/15(土) (県医) 県医師連盟執行委員会について
提出議題や当日の進行、役割分担を確認し開催することが承認された。
2. 令和5年度県医師連盟会務報告について
要望活動や次期参議院議員選挙に対応したことを報告、承認され、6月15日に開催される執行委員会に上程することとなった。
3. 令和5年度県医師連盟収支決算について
収入合計3,026万6,590円、支出合計、3,299万6,638円、次期繰越金4,206万9,077円からなる決算が承認され、6月15日に開催される執行委員会に上程することとなった。

令和6年6月11日(火) 第3回常任理事協議会

医師会関係
(議決事項)

1. 7/13(土)九州医師会連合会第416回常任委員会の開催について
河野会長が出席することが承認され、議題があれば事務局経由で会長に提出し、取扱いについては会長に一任することが承認された。
2. 7/31(水)宮崎県感染症危機管理研修会・予防接種従事者研修会について
県内の医療機関等職員及び行政職員を対象にした、予防接種に係る最新の知見、今後の新興感染症発生に備えた地域の医療体制の在り方に関する研修会で、県との共催で開催することと、本会が会員への周知をすることが承認された。
3. 6/27(木)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導の実施に係る立会いについて

1 医療機関を対象に行われる個別指導で、吉見常任理事を立会人として派遣することが承認された。

4. 業務委託について

- ①令和6年度妊娠等について悩まれている方のための相談援助業務の委託契約の締結について
→児童虐待を未然に防ぐ目的で、その主な原因とされている予期しない妊娠に対応する相談窓口の設置や関係職種を対象にした研修会等を行う事業で、委託契約を締結することが承認された。
- ②令和6年度家族計画及び避妊指導に関する調査研究事業の委託契約について
→思いがけない妊娠の防止や家族計画・避妊指導の充実を目的に、実態調査やパンフレットの作成等を行う事業で、委託契約を締結することが承認された。
- ③令和6年度産業医研修事業の委託契約について
→認定医向けの生涯研修会と研修会を円滑に行うための産業医研修連絡協議会を開催する事業で、委託契約を締結することが承認された。
5. 後援・共催名義等使用許可について
- ①9/8(日) (新富町) 第35回宮崎県糖尿病教育セミナーの名義後援について
→糖尿病療養指導に関する知識向上を目的に開催されるセミナーで、名義後援を行うことが承認された。

(報告事項)

1. 6/6(木) (県庁) 県デジタル社会推進協議会について
2. 6/10(月) (県医) 広報委員会について
3. 5/19(日) (福岡) レジナビフェア福岡について
4. 6/7(金) (宮大医学部) 宮大医学部生対象マッチング登録説明会&県内基幹型臨床研修病院合同説明会について
5. 6/5(水) (日医) 日医医療秘書認定試験委員会について
6. 6/6(木) (県医) 学校医部会理事・評議員会について

7. 6/6(木) (県医) 都道府県医師会社会保険担当理事連絡協議会について
8. 6/6(木) (宮大医学部) 宮大医学部医の倫理委員会について
9. 6/5(水) (県医) 全国医師会産業医部会連絡協議会について

医師連盟関係
(議決事項)

1. 7/13(土) (熊本) 九州医連連絡会第35回常任執行委員会の開催について
6月15日の執行委員会で決定される次期委員長が出席することが承認され、議題があれば事務局に提出し、取扱いについては委員長一任とすることが承認された。
2. 6/22(土) (JA-AZM) 選挙対策委員会の開催について
河野委員長が公務出張のため、吉田常任執行委員が代理出席することが承認された。

令和6年6月25日(火) 第6回全理事協議会

永年勤続職員表彰

県医師会職員永年勤続表彰に関する内規にもとづき、小川次長(勤続40年)、牧野課長(勤続20年)、申間係長(勤続20年)に感謝状を授与した。なお、堀口係長(勤続20年)は欠席のため後日授与することとなった。

医師会関係
(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

- ①宮崎県地方独立行政法人評価委員会委員の推薦について
→公立大学法人の業務実績に対して客観的な評価等を行う委員会で、本会役員改選に伴う推薦依頼があり、小牧副会長を推薦することが承認された。
- ②宮崎県総合計画審議会委員の委嘱について
→県の総合計画等を調査審議するための審議会委員の任期満了に伴う委嘱依頼があり、金丸副会長を委員とすることが承認された。

- ③公益財団法人宮崎県健康づくり協会理事及び評議員の推薦について
→疾病予防、健康の保持・増進に寄与することを目的に設立された協会の理事及び評議員の本会役員改選に伴う推薦依頼で、理事に金丸副会長、評議員に玉置常任理事を推薦することが承認された。
- ④「宮崎県福祉サービス運営適正化委員会」委員の任期満了に伴う委員候補者の推薦について
→福祉サービス利用援助事業の運営監視と、利用者からの苦情解決を目的に設置される委員会委員の任期満了に伴う推薦依頼があり、吉見常任理事を推薦することが承認された。
- ⑤宮崎県後期高齢者医療広域連合運営懇話会委員の確認について
→後期高齢者医療制度の適切かつ円滑な運営を目的に設置される懇話会委員の任期満了に伴う推薦依頼で、吉見常任理事を推薦することが承認された。
- ⑥宮崎県メディカルコントロール協議会委員の御推薦のお願いについて
→救急業務の高度化を推進するために設置される協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、金丸副会長と田畑理事を推薦することが承認された。
- ⑦「学校給食における食物アレルギー対応委員会」委員の推薦について
→学校給食における食物アレルギーの適切な対応を目的に設置される委員会で、委員の任期満了に伴う推薦依頼があり、現委員及び県小児科医会の意向を確認の上、推薦することが承認された。
- ⑧宮崎県自殺対策推進協議会の委員等の推薦について
→県内の関係機関が連携し総合的な自殺対策を推進することを目的に設置される協議会の任期満了に伴う推薦依頼があり、委員に吉田常任理事、自殺未遂者・遺族部会議員に嶋本常任理事を引き続き推薦することと、高齢者部会議

員については吉見常任理事を推薦することが承認された。

⑨県薬事審議会委員の推薦について

→薬事衛生思想の普及向上や医薬品等の取扱いの適正化を図ることを目的に設置される審議会委員の任期満了に伴う推薦依頼があり、金丸副会長を推薦することが承認された。

⑩九州学校検診協議会理事、監事及び専門委員の推薦について

→任期満了に伴う推薦依頼があり、理事として河野会長、小牧副会長、高木常任理事。専門委員として腎臓部門は宮田純一先生、成長発育・小児生活習慣病部門は澤田浩武先生、運動器部門は帖佐悦男先生・黒木浩史先生を推薦することが承認された。なお心臓部門の専門委員会へは高木常任理事が理事として出席をする。

⑪令和6年度全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委員及び運営委員の推薦について

→日医認定医療秘書を養成する都道府県医師会で構成される協議会の令和6年度の委員の推薦依頼があり、常任委員に金丸副会長、運営委員に池井常任理事を推薦することが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

①8/24(土)(都城市)令和6年度地域貢献等研究推進事業「子宮頸がんに関する健康推進事業」における県民公開講座への名義後援について

→ワクチン接種とがん検診の推進・普及をし、子宮頸がん罹患率減少を図る目的の県民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

②10/19(土)(新富町)第64回宮崎県精神保健福祉大会の後援について

→県民の心身の健康の保持増進や地域社会における精神保健福祉の一層の向上を図ることを目的に「わたしらしくあなたらしく生きる」をテーマに開催される大会で、名義後援を行うことが承認された。

③10/19(土)・20(日)(宮崎市)第12回九州在宅医療推進フォーラム in MIYAZAKIのご後援のお願い

→九州における多職種間の連携が更に進み、在宅医療の運用、関係機関との信頼関係構築を目的に開催されるフォーラムで名義後援を行うことが承認された。

3. 厚生功労に係る令和7年春の叙勲及び褒章候補者の推薦について

1名を推薦することが承認された。

4. 九州医師会連合会会員数等について

九州医師会連合会会則に従い、九州医師会連合会常任委員として河野会長、委員として小牧・金丸副会長、荒木・市来・吉田・池井常任理事、中村議長を選出することが承認された。また、会員数等については、事務局で確認の上、報告することとなった。

5. 10/5(土)(熊本)九州医師会連合会令和6年度第1回各種協議会の開催種目について

例年通り、地域医療対策協議会、医療保険対策協議会、介護保険対策協議会を希望種目として提出するが、救急・災害医療についても協議するよう提案することが承認された。

6. 宮崎県医師国民健康保険組合理事の推薦について

任期満了に伴う推薦依頼で、小牧副会長、市来・高木・玉置常任理事、佐々木・上山・河原理事の7名を推薦することが承認された。

7. スポーツ庁委託事業「地域におけるスポーツ医・科学サポート体制構築事業」コンソーシアムへの協力依頼について

医・科学サポートを展開し、地方におけるスポーツ医・科学支援の提供体制のモデル構築を目指すスポーツ庁委託事業であり、河野会長が構成員となることが承認された。

8. 宮崎県医師会館の休日における施設使用願

いについて
休日の県医師会館の使用許可願があり、事情を斟酌し許可することが承認された。

9. 7/18(木) (県防災庁舎) 九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の新規個別指導の実施に係る立会いについて

3 医療機関を対象に行われる新規個別指導で、田畑理事を立会人として派遣することが承認された。

10. 7/18(木) (県防災庁舎) 九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導の実施に係る立会いについて

1 医療機関を対象に行われる個別指導で、田畑理事を立会人として派遣することが承認された。

11. 10/27(日)令和6年度都道府県災害医療コーディネーター研修の受講者募集について

本研修を未受講の災害医療コーディネーター1名の推薦依頼であり、各郡市医師会に受講希望者を照会することと希望がない場合は本会役員が受講をすることが承認された。

12. 8/9(金) (日医) 令和6年度能登半島地震JMAT活動報告会(都道府県医師会JMAT担当理事連絡協議会)の開催について

今後の大規模災害に備え、能登半島地震の対応を検証してJMAT活動をより強固かつ効率的なものとするべく開催する報告会で、救急災害医療担当理事の中から1名出席することが承認された。

13. 学校欠席者情報システムについて

学校欠席者・感染症情報システムについて、各郡市医師会担当理事の閲覧参照権限の範囲を県医師会担当理事と同じにするよう県に要望したいとの担当理事の提案であり、引き続き検討することとなった。

14. 7・8月の行事予定について

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 6/12(水) (支払基金) 支払基金審査運営協議会について
3. 6/17(月) (県企業局) 県移植推進財団定時評議員会について
4. 6/18(火) (日医) 日医理事会について
5. 6/19(水) (宮大) 宮大経営協議会・学長選考・監察会議について

6. 6/22(土) (日医) 日医代議員会について

7. 6/20(木) (西都) 西都児湯医療センターと西都市西児湯医師会との二者協議について

8. 6/24(月) (県医) 広報委員会について

9. 6/15(土) (県医) 県医代議員会・総会について

10. 第55回全国学校保健・学校医大会の事前参加登録等について

11. 6/25(火) (九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について

12. 6/16(日) (東京) レジナビフェア東京について

13. 6/12(水) 都道府県医師会医療関係者担当理事連絡協議会について

14. 6/24(月) (県医) 在宅医療協議会役員会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 令和7年度国・県に対する政策・予算等要望について

担当役員を中心に作成した要望を提出することとなった。また、7月26日(金)に行われるヒアリングについては河野委員長、小牧・金丸常任執行委員が出席することが承認された。

2. 7/9(火)・23(火) (日医) 日本医師連盟執行委員会の開催について

7月9日は吉田常任執行委員が、7月23日は河野委員長と吉田常任執行委員が出席することが承認された。

3. 九州医連絡会の役員について

九州医連絡会規約に従い、常任執行委員として本県医師連盟の河野委員長、執行委員として九州医師会連合会委員である小牧・金丸・荒木・市来・吉田・池井・中村委員を選出することが承認された。

(報告事項)

1. 6/22(土) (JA-AZM本館) 自民党県連選挙対策委員会について

県 医 の 動 き

(7月)

1	園医部会理事会 (高木常任理事他)	18	医師国保組合理事会 社会保険医療担当者の新規個別指導 (田畑理事) 社会保険医療担当者の個別指導 (田畑理事) 医師国保組合通常組合理事会 (秦理事長他)
2	県地方独立行政法人評価委員会 (小牧副会長) 第4回常任理事協議会 (会長他)	19	県有床診療所協議会役員会 (Web会議) (佐々木理事) 県内科医会理事会 (金丸副会長他)
3	宮崎東諸県地域医療構想調整会議 (金丸副会長)	20	産業医研修会 (実地) (河原理事) 三師会会長会 (会長)
4	地方公務員災害補償基金県支部審査会 (河原理事) 県循環器病対策推進協議会 (金丸副会長) 医師国保組合理事会 (秦理事長他) 県内科医会医療保険委員会	21	全国有床診療所協議会理事会・常任執行委員会 (Web会議) (会長)
5	県産婦人科医会医療保険研修会 (Web会議) (上山理事)	22	広報委員会 (荒木常任理事他)
6	九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会 (市来常任理事他) 県外科医会理事会 (Web会議) (田畑理事) 県整形外科医会評議員会 県整形外科医会総会 県外科医会総会 (Web会議) (田畑理事) 県整形外科医会理事会 労災部会総会 (Web会議) (河原理事) 県外科医会・県整形外科医会・労災部会合同学生会 (Web会議) (河原理事他)	23	日医連執行委員会 (委員長他) 日医役員就任披露パーティ (会長他)
7	九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会 (市来常任理事他)	24	県精神科救急医療システム連絡調整委員会 (吉田常任理事)
8	宮大医学部地域枠全体ミーティング (荒木常任理事他)	25	女性医師等保育支援サービスシステム事業サ ポート会員養成講座 (荒木常任理事他) ロコモ予防運動推進事業養成講座 九州地方社会保険医療協議会総会 (荒木常任理事) 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ 指圧療養費審査委員会 (大塚常任理事) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (嶋本常任理事) 県糖尿病対策推進会議幹事会 (会長他)
9	県総合計画審議会 (金丸副会長) 日医連執行委員会 (吉田常任執行委員)	26	自民党県連国・県に対する政策・予算等要望 ヒアリング (委員長他) 県国保連合会通常総会 (Web会議) (秦理事長) 県がん診療連携協議会 (Web会議) (会長) 全国学校保健・学校医大会懇親会打合せ会 (会長他)
10	全国学校保健・学校医大会特別講演打合せ会 (高木常任理事)	27	日産婦医会性教育指導セミナー全国大会 (上山理事)
11	県後期高齢者医療広域連合運営懇話会 (吉見常任理事) 県産婦人科医会常任理事会 (Web会議) (嶋本常任理事他) 臨床検査精度管理調査実行委員会 (Web会議)	28	人体シミュレータを用いた在宅医療研修会 日産婦医会性教育指導セミナー全国大会 (上山理事)
12	九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医 師会長合同会議 (会長) 病院部会・医療法人部会定時総会 (池井常任理事他)	29	組織強化・将来構想委員会小委員会 (小牧副会長他)
13	県専門研修プログラム合同説明会 (大塚常任理事) 九医連常任委員会 (会長) 九州医連連絡会常任執行委員会 (委員長)	30	医協理事会 (理事長他) 医協理事・運営委員合同協議会 (理事長他) 第8回全理事協議会 (会長他) 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会 (会長他)
14	九医連常任委員会視察 (会長)	31	労災診療指導委員会・労災部会理事会 (赤須常任理事他) 県保健医療福祉調整本部訓練事前説明会 (Web会議) (金丸副会長他) 県感染症危機管理研修会・予防接種従事者研 修会 (Web会議)
16	第7回全理事協議会 (Web会議) (会長他)		
17	支払基金審査運営協議会 (会長) 広報委員会 (荒木常任理事他)		

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和6年7月1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 5人

希望診療科目	求職数	常 勤	非常勤
内 科	2	1	1
小 児 科	1	0	1
産 婦 人 科	1	0	1
老 健	1	0	1

2. 斡旋成立件数 98人

	合 計
令和6年度(4/1～7/1)	1
平成16年度から累計	98

3. 求人登録 101件 287人

(人)

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	93	69	24	消 化 器 外 科	4	3	1
外 科	22	19	3	乳 腺 外 科	2	2	0
整 形 外 科	20	17	3	健 診	3	3	0
精 神 科	12	10	2	泌 尿 器 科	2	2	0
脳 神 経 外 科	2	2	0	産 婦 人 科	0	0	0
循 環 器 科	14	11	3	検 診	0	0	0
消 化 器 内 科	24	18	6	皮 膚 科	0	0	0
麻 酔 科	5	5	0	婦 人 科	1	1	0
眼 科	9	6	3	呼 吸 器 外 科	0	0	0
放 射 線 科	9	9	0	人 工 透 析	12	8	4
小 児 科	3	2	1	リウマチ科	0	0	0
呼 吸 器 科	0	0	0	臨 床 病 理 科	0	0	0
在 宅 診 療	2	2	0	形 成 外 科	0	0	0
総合診療科・内科	11	7	4	診 療 科 目 不 問	5	2	3
脳 神 経 内 科	2	2	0	緩 和 ケ ア	0	0	0
呼 吸 器 内 科	11	7	4	内 分 泌 糖 尿 病 内 科	6	4	2
リハビリテーション科	4	3	1	そ の 他	2	2	0
救 命 救 急 科	7	4	3	合 計	287	220	67

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	不問	1	非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,神内,リハ,整,循内	5	常勤
160017	医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精	1	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	内,外,整	4	常勤・非常勤
170048	社医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内	1	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内,放	6	常勤
190087	公社)宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	5	常勤
190094	社医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	社医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	救急,消内,糖内,外,整,婦人	12	常勤・非常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	社福)介護老人保健施設 サンプローみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230144	生協)宮崎生協病院	宮崎市	消内,腎内,透,循内,呼内,内,健診	13	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団潤和会記念病院	宮崎市	整,脳外,緩和,救急	4	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮崎市	美外	1	常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放	2	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医)財団シロアム会 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	宮崎市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透 (いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,外,リハ (いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	内,整	4	常勤・非常勤
230220	医)社団 宮崎医療センター病院	宮崎市	総診,内,消内,呼内,整 (いずれか)	2	常勤
230224	医)雅会 河野整形外科	宮崎市	内	1	非常勤
230227	マナビヤ在宅クリニック「un」	宮崎市	不問	3	常勤・非常勤
230230	医)りっか会 ピア・ささき病院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230231	認N)ホームホスピス宮崎	宮崎市	内	2	常勤・非常勤
230233	独)宮崎江南病院	宮崎市	呼内,総診,糖内	6	非常勤
230235	医)青葉会 のざきクリニック	宮崎市	内	5	常勤・非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内	1	常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	整,消内,消外,麻,循内	5	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,整,訪診	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	消内	1	常勤
190092	一社)都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	6	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	内,消内,消外,乳外,麻,緩和	6	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,循内,救急,呼内,放	10	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	外	1	常勤
230181	医)社団牧会 介護老人保健施設はまゆう	三股町	内	1	常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	腎内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブ ベテスダクリニック	都城市	糖内,心内	2	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230208	医) 社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社) 藤元メディカルシステム大悟病院	三股町	精,内	2	常勤
230225	医) 社団明恵会 早水公園クリニック	都城市	内	2	常勤・非常勤
230226	一社) 都城健康サービスセンター	都城市	放,消内 (いずれか)	1	常勤
160012	医) 伸和会 延岡共立病院	延岡市	整,内	3	常勤
160021	医) 建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
160034	医) 健寿会 黒木病院	延岡市	消外,消内,健診	3	常勤
190086	医) 早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医) 育生会 井上病院	延岡市	小	1	常勤
200102	一社) 延岡市医師会病院	延岡市	内,消内,消外,放	4	常勤
210109	一社) 延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230186	医) 隆誠会 延岡保養園	延岡市	精,内	2	常勤
230189	特医) 健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	2	常勤
230203	医) 杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医) あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内,外 (いずれか)	1	常勤
230219	財) 延岡リハビリテーション病院	延岡市	内,整,リハ	3	常勤
160039	医) 誠和会 和田病院	日向市	外	2	常勤
210111	福) 恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,外,リハ	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	3	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230200	医) おざきメディカルアソシエツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医) 洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内,呼内,糖内	4	非常勤
230232	医) 社団弘文会 松岡内科医院	日向市	透	1	非常勤
160023	医) 宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,外,麻,健診	4	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	総診,救急,呼内,循内,神内,整	12	常勤・非常勤
230223	医) 聖山会 川南病院	川南町	内,腎内	3	常勤
160024	医) 隆徳会 鶴田病院	西都市	内,外,整,総診,透,循内	6	常勤
230204	医) 昇山会 上山医院	西都市	内,整 (いずれか)	1	非常勤
230234	社医) 暁星会 三財病院	西都市	内	1	常勤
150002	社医) 慶明会 おび中央病院	日南市	内,リハ	3	常勤・非常勤
160022	医) 愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医) 十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅,眼	5	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内,呼内	6	常勤
230149	社医) 介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医) 春光会 春光会記念病院	日南市	内,整	4	常勤・非常勤
230211	医) 秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
230221	医) 文誠会 なんごう病院	日南市	内,外,消内	6	常勤・非常勤
230222	宮崎県立日南病院	日南市	消内	2	常勤
230236	医) 和真会 東内科クリニック	日南市	透	1	常勤
160019	医) 相愛会 桑原記念病院	小林市	循内,内,外	4	常勤・非常勤
170043	医) 和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	放,内,総診,麻	6	常勤
180076	医) けんゆう会 園田病院	小林市	外,内,総診	6	常勤・非常勤
190091	医) 友愛会 野尻中央病院	小林市	内,眼	3	常勤・非常勤
230167	医) 介護老人保健施設 さわかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医) 連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医) 友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,循内	3	常勤・非常勤
230218	医) 養気会 池井病院	小林市	腎内	1	常勤
230229	国民健康保険高原病院	高原町	内	1	非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,眼,小	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外 (いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和6年7月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ：2,022.17㎡ (612.77坪)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡ (691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり(20台)	所有者：西都市西児湯医師会員 函師医院跡
2. 譲渡又は賃貸物件	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡ (1,348.18坪) 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり(70台)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡ (501.38坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり(50台)	所有者：(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 都城市東町10街区18号 土地：614.18㎡ (186.11坪) 建物：鉄筋コンクリート造3階建 1階 324.30㎡ 2階 322.11㎡ 3階 322.11㎡ 計 968.52㎡ (293.49坪) ※駐車場あり(3台) 別に隣接病院駐車場あり(応相談) ※賃貸部分は、2階、3階(グループホームやすらぎ)	所有者：都城市北諸県郡医師会員 (医) 与州会 柳田病院
	③ 宮崎市大字本郷南方字榎田2541番地1 土地：750.44㎡ (227.40坪) 建物：木造スレートぶき2階建 1階 255.27㎡ 2階 73.50㎡ 計 328.77㎡ (99.62坪) ※駐車場あり(15台)	所有者：宮崎市郡医師会員 (医) 健心会 滝口内科医院 (旧) のぞみ医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail : isikyouto@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

TEL：

FAX：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和6年7月30日

8		月	
1	木	13:30 県地方独立行政法人評価委員会 19:00 勤務医部会理事会 (Web会議)	20 火 19:00 第9回全理事協議会 (Web会議)
2	金	10:00 女性医師等保育支援サービスシステム事業サポート会員養成講座	21 水 18:40 各専門分科会長会 19:00 県医診療報酬改定説明会 (Web会議)
		13:30 全国医師国保組合連合会代表者会 18:30 県外科医会夏期講演会 (Web会議) 19:00 広報委員会勉強会	
3	土	9:00 県産婦人科医会新生児蘇生法講習会 14:30 産業医研修会 (前期)	22 木 17:00 県地域医療対策協議会プログラム運用部会 18:00 県地域医療対策協議会
4	日		23 金 14:00 医療勤務環境改善支援センター連絡調整会議
5	月	19:00 損保ジャパンとの懇談会	24 土 14:00 全国有床診療所協議会総会・講演会 16:00 九医連常任委員会 17:00 九医連定例委員会総会 18:10 九州医連連絡会執行委員会
6	火	18:00 県感染症対策連携協議会 19:00 第5回常任理事協議会	
7	水	14:00 県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会	25 日 9:00 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会 9:00 全国有床診療所協議会講演会・シンポジウム・総括
8	木	15:00 県総合計画審議会 19:00 県産婦人科医会全理事会 (Web会議) 19:00 県生活習慣病検診部会長連絡協議会 (Web会議)	
		26 月 18:30 勤務医部会総会・前期講演会 (Web会議)	
9	金	13:00 令和6年能登半島地震JMAT活動報告会 (Web会議)	27 火 18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 18:00 医協理事会 18:30 医協理事・運営委員合同協議会 終了後 第10回全理事協議会 19:00 役員懇談会
10	土	13:30 県訪問看護ステーション連絡協議会総会・研修会	
11	日	(山の日)	28 水 13:00 日医医療秘書認定試験委員会 (Web会議) 15:00 労災診療指導委員会・労災部会理事会 16:30 県立病院事業評価委員会
12	月	(振替休日)	
13	火		29 木 19:00 医師の働き方改革Web研修会 (Web会議) 19:00 医師国保組合理事会
14	水	16:00 支払基金審査運営協議会	
15	木		30 金 19:00 県との妊婦健診等に関する協議会
16	金		
17	土	15:30 九州地区医師国保組合連合会理事会・全体協議会	31 土 13:00 保育支援事業スキルアップ研修会・全体顔合わせ会 14:30 産業医研修会 (前期) 14:30 在宅医療協議会総会・研修会 (Web会議)
18	日	9:00 中四九地区医師会看護学校協議会 (Web会議)	
19	月	19:00 広報委員会	

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和6年7月30日

9		月			
1	日	17	火	14:10 都道府県医師会会長会議 16:15 日医連かまやちさとし決起大会	↑ 国保審査 ↓ 社保審査
2	月	18	水	16:00 支払基金審査運営協議会	
3	火	19:00		第6回常任理事協議会	
4	水	19:00	19	土曜会（報道機関支局長の会）との懇談会	
5	木	14:00		宮大医学部医の倫理委員会	
6	金	19:00	20	未来の医療を語るオールみやざき交流会	
		19:00	21	認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会(Web会議)	
7	土	15:30	22	県医師会医学会	
		15:30		全国国保組合協会九州支部幹事会・総会・役職員研修会	
		16:00	23	全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会等	
8	日	9:00	24	人体シミュレータを用いた小児在宅医療実技講習会	
9	月	19:00		男女共同参画委員会	
10	火	19:00	25	第11回全理事協議会(Web会議)	
11	水	19:00		広報委員会	
12	木	19:00	26	三師会懇談会	
		19:00		県産婦人科医会常任理事会(Web会議)	
13	金				
14	土	10:00	27	ロコモ予防運動推進事業養成講座	
		15:00		県産婦人科医会秋期定時総会・学術講演会(Web会議)	
15	日		28	14:00 日医女性医師支援・ドクターバンク連携九州ブロック会議	
16	月		29	(敬老の日)	
			30		

※都合により、変更になることがあります。
 行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

日本医師会からのお知らせ

**作品
募集中**

生命

いのち

第8回

を見つめる

フォト&エッセー

フォト

部門

エッセー

部門

生命の大切さや
心温まるエピソードを
写真やエッセーで
伝えてみませんか

審査員 (順不同、敬称略)

■ フォト部門



熊切大輔
日本写真家協会会長

岩合光昭
動物写真家
©Machi Iwago

奈緒
俳優

■ エッセー部門



養老孟司
東京大学名誉教授
/解剖学者



玄侑宗久
作家 / 編集者
/ 随筆家



水野真紀
俳優

応募締め切り

2024年

10月2日 水

必着



公式ホームページ <https://jigyoyomiuri.co.jp/photo-essay/>

生命を見つめるフォト&エッセー 検索



主催：日本医師会、読売新聞社 後援：厚生労働省、文部科学省 協賛：東京海上日動火災保険株式会社、東京海上日動あんしん生命保険株式会社



生命の尊さを感じさせる、あるいは生命の輝く瞬間をとらえた作品を募集します。人、動物、自然など被写体は自由です。

- 作品のプリントサイズは、キャビネ判(2L)とします。
- 応募作品は、**2021年6月1日以降**に撮影したものに限りです。
- 応募は1人3点まで。生成AIを利用して作成・編集した作品は応募できません。

一般の部	厚生労働大臣賞(1点)	賞金 10万円 、賞状他
	日本医師会賞(1点)	賞金 10万円 、賞状他
	読売新聞社賞(1点)	賞金 10万円 、賞状他
	審査員特別賞(数点)	賞金 5万円 、賞状他
小中高生の部	入選(数点)	賞金 3万円 、賞状他
	文部科学大臣賞(1点)	QUOカード 3万円 、賞状他
	優秀賞(数点)	QUOカード 5,000円分 、賞状他

応募締め切り **2024年10月2日(水) 必着**

応募規定

- 応募作品は自作、フォト部門は応募者本人が撮影した未発表の作品に限りです。盗作、二重応募、類似、事実ではない創作作品の応募は固くお断りいたします。応募作品について、盗作等による著作権侵害の争いが生じても、主催者は責任を負いません。
 - 応募作品は返却いたしません。
 - 入賞作品の発表は、2025年2月頃を予定しています。新聞紙面およびウェブサイトにて、作品と実名、年齢、顔写真、学校名(小中高生の場合)を掲載します。ペンネーム、イニシャル等による発表はできません。
 - 表彰式は2025年2月に東京都内で実施予定です。
 - 医師および医療従事者も応募可能です。
- ※応募規定の詳細は公式ホームページをご確認ください。

作品送付先 〒104-0061 東京都中央区銀座7-15-5 共同ビル3F 「生命を見つめるフォト&エッセー」係



病気やけがをした時の医師や看護師との交流、ご家族の介護や生命の誕生にまつわる話などを募集します(お世話になった医師や看護師らに宛てた「感謝の手紙」などでも可)。また、医師(医学生も含む)の皆さんからは医師になろうと思ったきっかけやエピソードなどもお待ちしております。小学生の部では、日々の生活の中で生命の大切さを感じた出来事などをお送りください。

- 【一般の部・中高生の部】2,000字(原稿用紙1~5枚)以内。
- 【小学生高学年の部(4~6年生)】1,200字(原稿用紙1~3枚)以内。
- 【小学生低学年の部(1~3年生)】800字(原稿用紙1~2枚)以内。
- 応募は1人1点。生成AIを利用して作成した作品は応募できません。

一般の部	厚生労働大臣賞(1点)	賞金 30万円 、賞状他
	日本医師会賞(1点)	賞金 30万円 、賞状他
	読売新聞社賞(1点)	賞金 30万円 、賞状他
	審査員特別賞(数点)	賞金 10万円 、賞状他
中高生の部	入選(数点)	賞金 3万円 、賞状他
	文部科学大臣賞(1点)	QUOカード 3万円分 、賞状他
	優秀賞(数点)	QUOカード 5,000円分 、賞状他
小学生高学年の部	文部科学大臣賞(1点)	QUOカード 1万円分 、賞状他
	優秀賞(数点)	QUOカード 5,000円分 、賞状他
小学生低学年の部	文部科学大臣賞(1点)	QUOカード 5,000円分 、賞状他
	優秀賞(数点)	QUOカード 3,000円分 、賞状他

応募方法

- ◆ウェブからの応募も可能です。詳細は公式ホームページ(<https://jigyuu.yomiuri.co.jp/photo-essay/>)をご覧ください。
- ◆エッセー部門は、直筆の場合、鉛筆(Bまたは2B)、ボールペン、万年筆のいずれかを使い、濃く書いてください。
- ◆郵送の場合は、作品に下記の応募用紙をつけて封筒に応募部門を記載の上、送付してください。

公式ホームページ QRコード



【問い合わせ】 読売新聞東京本社 社会貢献事業室「生命を見つめるフォト&エッセー」事務局 Tel:03-3216-8598(平日10:00-17:00)

(キトリ)

応募用紙		<input type="checkbox"/> フォト部門 一般の部 <input type="checkbox"/> フォト部門 小中高生の部 <input type="checkbox"/> エッセー部門 一般の部 <input type="checkbox"/> エッセー部門 中高生の部 <input type="checkbox"/> エッセー部門 小学生高学年の部 (4~6年生) <input type="checkbox"/> エッセー部門 小学生低学年の部 (1~3年生)
題名	氏名	
住所	都 道 府 県	歳 年 月 日 生
職業(学校名・学年)	TEL () - ()	
フォト部門のみ	撮影年月日	撮影機材
202 年 月 日		
チェックの上、入れてください	<input type="checkbox"/> この作品は他のコンクール、コンテストなどに応募したものではありません <input type="checkbox"/> この作品は自作、フォト部門は応募者本人が撮影した未発表の作品で間違いありません <input type="checkbox"/> 入賞作品は、主催者、協賛社のホームページ、読売新聞紙面などに実名、年齢、作品、顔写真等を発表する他、作品に関する取材があることに同意します <input type="checkbox"/> (フォト部門)被写体の肖像権やプライバシーの侵害、事実関係に問題ありません	
応募のきっかけ	(1)チラシ (2)学校(小・中・高・大・専門) (3)読売新聞(紙面・ホームページ) (4)日本医師会(ホームページ・YouTube・LINE公式アカウント) (5)公募サイト(サイト名:) (6)その他(具体的に:)	

入賞作品についての著作権
フォト部門は撮影者に帰属します。エッセー部門は主催者に帰属します。両部門とも、入賞作品について、読売新聞紙上及びその他広報物に使用する権利は、主催者が有します。

※氏名は実名のみ受付となります。応募用紙をフォト部門は写真の裏側に、エッセー部門は作品の右上に留めてください。1作品に1枚、応募用紙が必要です。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
延岡医学会学術講演会 (Web講演会) 8月2日(金) 19:00~20:10 エンシティホテル延岡 ※受講は現地またはWeb	最新の心房細胞治療：2024年ガイドラインUpdate版を診療に活用する 済生会熊本病院 心臓血管センター 循環器内科 不整脈先端治療部門 最高技術顧問 奥村 謙	43 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 第一三共(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
宮崎県内科医会学術講演会 ~COVID-19/インフルエンザ診療up to date~ (Web講習会) 8月2日(金) 19:00~20:10 ホテルJALシティ宮崎2階「オルソ」 ※受講は現地またはWeb	これからの発熱診療を考える ~COVID-19/インフルエンザにおける抗ウイルス薬の役割について~ 関西医科大学附属病院 呼吸器感染症・アレルギー科教授 宮下 修行	8 (1.0)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※塩野義製薬(株) ☎0985-27-1041
県北産婦人科医会(8月度例会) 8月2日(金) 19:00~20:30 延岡市医師会病院5階研修室	卵巣癌初回治療のこれまでとこれから 宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座 産婦人科学分野 講師 平田 徹 他	51 (1.5)	◇主催 県北産婦人科医会 ◇共催 ※武田薬品工業(株) ☎080-4131-6045

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 8月5日(月) 19:00~21:00 都城市北諸県郡医 師会館	化学物質関連の法改正について 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 田中 伸明 生涯研修の更新研修：2単位	6 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 8月7日(水) 19:00~21:00 宮崎県医師会館	今日のうつ病の現状と対応 産業保健相談員 中村クリニック 院長 中村 究 生涯研修の専門研修会：2単位	70 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎市郡産婦人科 医会8月例会学術 講演会 (Web講習会) 8月7日(水) 19:00~20:10 宮崎大学医学部 ※受講はWebのみ	劇症型溶連菌感染症～本県における妊産婦発症例～ 宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座 産婦人科学分野 講師 土井 宏太郎 ----- 鉄欠乏性貧血の治療 ～女性の生涯を通じた健康の保持増進のためにできる こと～ 近畿大学医学部 産科婦人科学教室 医学部講師 川崎 薫	8 (0.5) 73 (0.5)	◇主催 宮崎市郡産婦人科医会 ◇共催 日本新薬(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
都城市北諸県郡医師会学術講演会 (Web講習会) 8月8日(木) 19:00~20:30 都城ロイヤルホテル	腎性貧血の効果的なマネジメント～臨床現場からの視点～ 西浦病院 院長 西浦 亮介	73 (0.5)	◇主催 ※都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711 ◇共催 田辺三菱製薬(株)
	2型糖尿病合併CKDに対する治療のTips 久留米大学医学部 内科学講座 腎臓内科部門 主任教授 深水 圭	76 (1.0)	
宮崎県医師会産業医研修会 8月9日(金) 19:00~21:00 延岡市職業訓練支援センター	新たな化学物質規制体制 ～事業者による化学物質の自律的管理について～ 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 下津 義博 生涯研修の更新研修会：2単位	0 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県内科医会学術講演会 ～DiaMond Seminar in Miyazaki～ (Web講習会) 8月19日(月) 19:00~20:05 受講はWebのみ	ダイアベティス(糖尿病)と共に生きる ～Advocacy & Beyond～ 順天堂大学医学部附属静岡病院 糖尿病・内分泌内科 教授 野見山 崇	4 (1.0)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※住友ファーマ(株) ☎080-3912-9361

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 8月21日(水) 14:00~16:00 宮崎県医師会館	職場でみられるうつ病とその対応 精神科専門医・指導医 宮崎県精神保健福祉センター 所長 直野 慶子 生涯研修の専門研修会：2単位	70 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
県医診療報酬改定 説明会～検証と評 価について～ (Web会議) 8月21日(水) 19:00~20:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地また はWeb	令和6年度診療報酬改定の検証と評価について(仮) 日本医師会 常任理事 城守 国斗	6 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
宮崎県医師会産業 医研修会 8月21日(水) 19:00~21:00 宮崎県医師会館	企業における受動喫煙防止対策を効果的に進めるノウハウ 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第18回在宅医療推 進のための連携・ スキルアップ研修会 (Web講習会) 8月22日(木) 19:00~20:30 宮崎市郡医師会病 院医師会館講堂 ※受講は現地また はWeb	皮膚科疾患についてのー皮膚科医の考え方 にしだ皮膚科 院長 西田 隆昭	80 (1.5)	◇主催 宮崎市郡在宅医会 (連絡先) ※宮崎市郡医師会地域 包括ケア推進センター ☎0985-77-9106

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県小児肺炎球菌ワクチンセミナー (Web講習会) 8月23日(金) 19:00~20:00 KITENビルコンベンションホール 「中会議室」 ※受講は現地またはWeb	小児肺炎感染症におけるPCV15の意義(仮) 鹿児島大学 医歯学域医学系 医歯学総合研究科 健康科学専攻 感染防御学講座 教授 西 順一郎	11 (1.0)	◇主催 宮崎県小児科医会 ◇共催 ※MSD(株) ☎0985-28-9496
令和6年度宮崎県 医師会勤務医部会 総会・前期講演会 (Web講習会) 8月26日(月) 18:30~20:40 宮崎県医師会館 ※受講は現地またはWeb	宮崎県の病理事情と教室の研究紹介(仮) 宮崎大学医学部 病理学講座 構造機能病態学分野 教授 山下 篤	1 (0.5)	◇主催 宮崎県医師会勤務医部会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	プロサッカークラブとしての人材育成 (株)テゲバジャーロ宮崎 代表取締役社長 宮本 功	0 (0.5)	
宮崎県医師会産業 医研修会 8月27日(火) 19:00~21:00 串間市総合保健福祉センター	企業における受動喫煙防止対策を効果的に進めるノウハウ 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
<p>宮崎県医師会産業 医研修会 8月28日(水) 14:00~16:00 宮崎県医師会館</p>	<p>職場でのアルコール依存症に対する対策 精神科専門医・指導医 宮崎県精神保健福祉センター 所長 直野 慶子</p> <p>生涯研修の専門研修会：2単位</p>	11 (2.0)	<p>◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会</p>
<p>令和6年度延岡保 健所自殺対策研修会 8月29日(木) 18:30~20:00 宮崎県延岡保健所</p>	<p>身近な支援者による自殺予防について 宮崎大学医学部 臨床神経科学講座 精神医学分野 講師 船橋 英樹</p>	5 (1.0)	<p>◇主催 延岡医学会 ◇共催 延岡保健所 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300</p>
<p>Miyazaki Women's Health Seminar 【女性医学×東洋 医学】2回シリーズ (1回目) 8月29日(木) 19:00~20:00 ニューウェルシテ ィ宮崎1F 「アンジェラス」 ※受講は現地また はWeb</p>	<p>女性医学で扱う疾患 宮崎大学医学部附属病院 遺伝カウンセリング部 特別教授 山口 昌俊</p>	83 (1.0)	<p>◇主催 宮崎県医師会東洋医会 ◇共催 ※(株)ツムラ ☎0985-28-9663</p>

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
令和6年度宮崎県 緩和ケア研修会 8月31日(土) 9:00~17:30 県立延岡病院2階 講堂	e-learningの復習・質問 県立延岡病院 麻酔科部長 兼 地域医療科部長 兼 集中治療科医長 兼 救命救急科医長 山内 弘一郎 他	5 (0.5)	◇主催 ※県立延岡病院 ☎0982-32-6774
	コミュニケーション 県立延岡病院 麻酔科部長 兼 地域医療科部長 兼 集中治療科医長 兼 救命救急科医長 山内 弘一郎 他	4 (1.5)	
	全人的苦痛に対する緩和ケア 宮崎医療センター病院 医師 山崎 浩司	53 (1.5)	
	療養場所の選択と地域連携 県立延岡病院 呼吸器外科 主任部長 兼 診療部長 能勢 直弘	81 (1.5)	
宮崎県医師会在宅 医療協議会令和6 年度総会・研修会 (Web講習会) 8月31日(土) 14:30~16:30 宮崎県医師会館 ※受講は現地また はWeb	総合医と在宅医療(仮) 宮崎大学医学部 地域医療・総合診療医学講座 特別教授 伊東 芳郎	12 (1.0)	◇主催 宮崎県医師会在宅医療協議会 (連絡先) 宮崎県在宅医療協議会 ☎0985-22-5118

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第35回宮崎県糖尿病教育セミナー 9月8日(日) 9:55~16:40 新富町文化会館イベントホール 参加費:3,000円	糖尿病とともに生きる人へのアプローチ 日南市立中部病院 糖尿病看護認定看護師 山下 加代子	4 (1.0)	◇主催 ※宮崎県糖尿病懇話会 ☎0985-22-8015 ◇共催 宮崎地域糖尿病療養指導士認定機構 ノボノルディスクファーマ(株)
	2型糖尿病の薬物治療について 宮崎大学医学部 内科学講座 血液・糖尿病・内分泌内科学分野 助教 上平 雄大	76 (1.0)	◇後援 宮崎県医師会 児湯医師会 宮崎県薬剤師会 宮崎県病院薬剤師会 宮崎県歯科医師会 宮崎県看護協会 宮崎県栄養士会 宮崎県臨床検査技師会 宮崎県糖尿病療養指導士会 宮崎県糖尿病対策推進会議
	当院の紹介と糖尿病に配慮した本日のお弁当について 川南病院 管理栄養士 那須 智子	76 (0.5)	
	在宅療養高齢者のDM管理～私なりの視点～ 大貫診療所 理事長・院長 榎本 雄介	12 (0.5)	
	高齢者のサルコペニア・フレイル ～今日からできる！予防策とそのコツ～ 平和台病院 看護師・健康運動指導士 鞍掛 加代子	73 (0.5)	
	認知症と糖尿病 独立行政法人国立病院機構宮崎病院 認知症認定看護師 木原 梓	76 (0.5)	
	歯周病と全身疾患 たけしま歯科医院 院長 竹島 昌宏	73 (0.5)	
	災害時の薬剤対応の事例と対策 宮崎県薬剤師会 災害委員会 理事 くども薬局 薬剤師 木山 允	12 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
<p>第187回宮崎心臓病研究会 (Web講習会) 9月9日(月) 18:55～20:10 宮崎観光ホテル東館2階「初雁の間」 ※受講は現地またはWeb</p>	<p>これを聞けば不整脈治療のこれからがわかる ～不整脈治療フォーカスアップデートを深読みする～ 日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科部長 教授 奥村 恭男</p> <p>他</p>	<p>9 (1.0)</p>	<p>◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 アボットメディカルジャパン(同) トーアエイヨー(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101</p>
<p>西諸医師会・西諸内科医会合同学術講演会 (Web講習会) 9月12日(木) 19:00～20:20 KITTO小林 ※受講は現地またはWeb</p>	<p>関節リウマチ日常診療のポイント： 高齢化社会と医療ニーズを踏まえて(仮) 宮崎大学医学部 内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 准教授 梅北 邦彦</p>	<p>61 (1.0)</p>	<p>◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-22-1331 ◇共催 西諸内科医会 アツヴィ(同)</p>
<p>宮崎県医師会産業医研修会 9月13日(金) 19:00～21:00 宮崎県医師会館</p>	<p>高ストレス者に対する面接指導のポイントや対応について 産業保健相談員 産業カウンセラー 人材科学研究所 代表 工藤 智徳</p> <p>生涯研修の専門研修会：2単位</p>	<p>5 (2.0)</p>	<p>◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会</p>

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 9月18日(水) 19:00~21:00 宮崎県医師会館	看護・介護現場における腰痛の予防と悪化防止 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	60 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 9月20日(金) 19:00~21:00 宮崎県医師会館	事業場におけるストレスと精神障害(1) 産業保健相談員 ウエダメンタルクリニック 院長 植田 勇人 生涯研修の専門研修会：2単位	70 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
令和6年度第12回 宮崎県輸血懇話会 (Web講習会) 9月21日(土) 13:30~16:30 宮崎県企業局県電 ホール ※受講は現地またはWeb	さあ、困った！こんな時どうする？ (副作用対応血漿製剤編) 県立宮崎病院 副院長 山下 清	7 (0.5)	◇主催 ※宮崎県赤十字血液センター ☎0985-50-3100 ◇後援 宮崎県 宮崎県医師会 宮崎県薬剤師会 宮崎県看護協会 宮崎県臨床検査技師会
	輸血用血液製剤の安全性と最近の話題について 日本赤十字社 血液事業本部 安全管理課長 日野 郁生	7 (0.5)	日本・輸血細胞治療学会九州支部
	宮崎県北部エリアの「災害時輸血プランの共有」について 県立延岡病院 救急救命センター長 金丸 勝弘	14 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 9月24日(火) 19:00~21:00 串間市総合保健福 祉センター	行動変容理論に基づく健康診断事後保健指導の事例検討 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の現地研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
Miyazaki Women's Health Seminar 【女性医学×東洋 医学】2回シリーズ (2回目) 9月26日(木) 19:00~20:00 KITEN 8階コン ベンションホール 「大会議室」 ※受講は現地また はWeb	女性診療のための東洋医学入門 宮崎大学医学部附属病院 遺伝カウンセリング部 特別教授 山口 昌俊	83 (1.0)	◇主催 宮崎県医師会東洋医学会 ◇共催 ※(株)ツムラ ☎0985-28-9663
宮崎県皮膚科医会 学術講演会 (Web講習会) 10月2日(水) 18:50~20:30 宮崎観光ホテル ※受講は現地また はWeb	当院におけるデュピクセントの使用経験 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座 皮膚科学分野 講師 西川 陽太郎 ----- 蕁麻疹におけるIL-4とヒスタミンの役割 広島市立広島市民病院 病院長 秀 道広	26 (0.5) 26 (1.0)	◇主催 宮崎県皮膚科医会 ◇共催 ※サノフィ(株) ☎080-6778-6526 リジェネロン(株)
宮崎県医師会産業 医研修会 10月9日(水) 19:00~21:00 宮崎県医師会館	自殺対策について 産業保健相談員 中村クリニック 院長 中村 究 生涯研修の専門研修会：2単位	70 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
延岡医学会学術講演会 (Web講演会) 10月11日(金) 19:00~20:00 延岡市コワーキングスペース ※受講は現地またはWeb	感染症専門医が考えるCOPDの診断と治療 長崎大学病院 呼吸器内科 助教 岩永 直樹	79 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 アストラゼネカ(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
宮崎県医師会産業医研修会 10月16日(水) 19:00~21:00 宮崎県医師会館	行動変容理論に基づく健康診断事後保健指導の事例検討 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の現地研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第71回宮崎県スポーツ学会 10月19日(土) 15:00~18:30 宮崎大学医学部臨床講義室205 参加費：1,000円	国スポ障スポに向けた宮崎県スポーツ協会認定ATの養成と活動 リコンディショニングステーション宮崎 代表 尾崎 勝博 日医認定健康スポーツ医学再研修会：1単位	10 (1.0)	◇主催 宮崎県スポーツ学会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 ◇後援 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
	ハイパフォーマンススポーツにおけるトータルコンディショニング～アスレティックトレーナーの役割と活動～ 国立スポーツ科学センター スポーツ医学研究部門 リハビリテーション科 主任専門職 鈴木 章 日医認定健康スポーツ医学再研修会：1単位	19 (1.0)	
	女性アスリートの特徴と宮崎県における女性アスリート支援 県立日南病院 産婦人科 医長 明野 慶子 日医認定健康スポーツ医学再研修会：1単位	72 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 10月22日(火) 19:00~21:00 串間市総合保健福 祉センター	上司が知っておくべき部下を輝かせるコミュニケーシ ョン力 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	10 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第207回宮崎県眼 科医会講習会 10月26日(土) 16:00~19:00 MRT micc「ダイヤ モンドホール」 参加費：3,000円	抗VEGF薬時代におけるファリシマブの処方ポジシ ョニング 横浜市立大学附属市民総合医療センター 眼科 准教授 井上 麻衣子 ----- いまさら？これから？糖尿病黄斑浮腫の病態と治療 東京医科大学八王子医療センター 眼科 教授 志村 雅彦	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 中外製薬(株)
宮崎県医師会産業 医研修会 10月30日(水) 19:00~21:00 延岡市職業訓練支 援センター	事業場のゲートキーパー活動を支援するために 産業保健相談員 産業カウンセラー 人材科学研究所 代表 工藤 智徳 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

診療メモ



新時代を迎えた乳癌診療 ～最近のトピックも含めて～

う え だ ゆ う い ち
さ が ら 病 院 宮 崎 乳 腺 外 科 植 田 雄 一

乳癌は女性における代表的な癌腫であり、国際がん研究機関（IARC）2020年次報告によると、世界においても女性で最も罹患率の高い癌です。本邦の乳癌罹患数は2019年次報告によると97,812人で過去最高の罹患数を記録しました。2000年代には女性の15人に1人が乳癌を発症していたのが、今は9人に1人まで増加しており、日常診療で乳癌患者さんに関わる機会がさらに増えると思われます。本稿では、現在発刊されている乳癌診療ガイドラインに沿った内容をふまえ、最近のトピックを含めた乳癌に関する最新情報をご提供いたします。

1 乳癌検診について

マンモグラフィは、科学的に死亡率低減効果が示された唯一の検査法であり、本邦における対策型検診として40歳以上に対し2年に1回のマンモグラフィ検診が行われています。問題点としては、がん検出感度が低下する「高濃度乳房」が挙げられます。対策として、超音波検査を併用する大規模な臨床試験が国内で行われ、

早期乳癌の発見率上昇に寄与することが証明されましたが、死亡率の減少につながるかは検証の途上です。また、これまで自己が行う乳房チェックは「自己触診」の用語が広く用いられてきましたが、正確性や実効性が保証できないため、現在は新たな考え方として自身が自分の乳房の状態に関心をもち生活する健康教育として「ブレスト・アウェアネス」の啓発が進められております（図）。

2 複雑化する薬物療法

乳癌に対する薬物療法は多岐にわたり、これはホルモン感受性やHER2タンパク発現の有無によるところが大きく、「ホルモン療法」「抗HER2療法」「殺細胞性化学療法」に大別され、死亡率の低減に大きく貢献してきました。近年では個々に再発リスクを評価し、より治療強度を高めた「Escalation therapy」や、再発低リスクの症例には治療強度を低くする「De-escalation therapy」という概念が取り入れられています。一例として、多遺伝子アッセイ検査である



図 ブレスト・アウェアネス 4つのポイント

「Oncotype DX」が保険収載されました。摘出したがん組織をもとに21個の遺伝子発現パターンから再発スコアを求める検査であり、術後の静注化学療法が不要と判断される症例が増加しました。また、当初はダウンスレージング目的に術前化学療法（NAC）を行っていましたが、近年は「残存病変に基づく治療選択」を目的としたNACを行ってます。NAC後に病理学的な癌の消失（pCR）を得られない症例は予後が悪いことが明らかになっているため、追加の術後薬物療法がガイドラインでも推奨されています。その他多くの薬剤が適応承認を取得しており、分子標的治療薬や免疫チェックポイント阻害剤などが適応となっています。近年では、分子標的薬と殺細胞性化学療法薬をリンカーで結合させたADC製剤（抗体薬物複合体）も適応となってきており、治療アルゴリズムがさらに複雑化しております。

3 薬物療法の進歩にともなう手術療法のDe-escalation

手術以外の治療成績の向上にともない、現在は「手術療法の縮小」がテーマとなっています。2000年に入ってからセンチネルリンパ節生検による腋窩郭清の省略が広く普及し、現在はある条件下において、センチネルリンパ節に転移があっても腋窩郭清の省略が標準となっています。最近ではさらに踏み込んだ試みがなされており、治療前に腋窩リンパ節転移があっても術前化学療法が奏功した場合は、腋窩郭清を省略する方向で臨床試験が進められています。将来的に、腋窩手術は行わない方向になる可能性が高いと考えられます。

4 AYA世代の乳癌に対する妊孕性温存

一般的に、39歳以下の世代はAYA (Adolescent and Young Adult) 世代と呼ばれ、就学・就労・結婚・妊娠出産など、生活背景にさまざまなイ

ベントがある時期にがんの治療を行う必要があります。国のがん対策基本計画においてもAYA世代のがん患者に対する取組みが進められており、治療前に受精卵や卵子を保存するなどの妊孕性温存を積極的に行っています。また、術後にホルモン療法を行っている患者で、妊娠出産を希望された場合に一定期間治療を休業する試みも始まっています。

5 ゲノム医療と予防医療

乳癌の約5～10%は遺伝性乳癌であり、中でもBRCA1/2遺伝子に変異をもつ症例は遺伝性乳癌卵巣癌（Hereditary breast and ovarian cancer：HBOC）と呼ばれ、遺伝学的検査が保険適応になりました（表）。HBOCは乳癌や卵巣癌の発症リスクが高く、手術は乳房全切除が推奨され、さらに予防的な健側の乳房切除術や卵巣・卵管切除術が保険適応になっています。薬物療法では、HBOCに対するPARP阻害剤が転移・再発治療のみならず術後補助療法に対して保険適応となっており、ゲノム医療が治療の枠を超えて予防医療にまでも影響してきています。また、血縁者の遺伝学的検査も安価で行えるようになったため、がん未発症のHBOC家系が徐々に見つかってきています。がん未発症者に対するがんサーベイランスやリスク低減手術、化学予防などが標準医療となりつつありますが、本邦では保険適応は認められていません。現在国内では、がん未発症者に対する医療の保険承認を求める働きがみられています。

おわりに

本稿で述べましたように乳癌の診療は複雑化しておりますが、早期発見・早期治療が乳癌治療のゴールドスタンダードであります。会員の皆様方におかれましては、引き続き検診受診率の向上にご協力いただけますと幸いです。

表 乳癌症例におけるBRCA1/2遺伝学的検査の適応

<p><乳がんの診断時></p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 45歳以下の乳癌 <input type="checkbox"/> 60歳以下でサブタイプがトリプルネガティブの乳癌 <input type="checkbox"/> 両側または片側に2個以上の原発性乳癌 <input type="checkbox"/> 男性の乳癌 <input type="checkbox"/> 血縁者（第三度近親者以内）に乳癌または卵巣癌、膵癌患者がいる <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 血縁者がすでにBRCA1/2に病的バリエーションをもっていることがわかっている（本人の乳癌の罹患状況を問わない） <input type="checkbox"/> オラパリブの投与が検討されている <input type="checkbox"/> がんゲノムプロファイリング検査の結果、BRCA1/2の病的バリエーションを生まれつきもっている可能性がある

宮大医学部学生のページ



音楽祭実行委員よりご報告

第21回宮崎大学医学部音楽祭実行委員会 実行委員長 なか た ゆき こ
宮崎大学医学部 医学科4年 **中 田 薫 子**

令和6年6月9日(日)、清武文化会館にて行われました「第21回宮崎大学医学部音楽祭」についてご報告させていただきます。

本音楽祭は「音楽を通じて地域の皆様と交流したい」という学生の想いから誕生し、学生自らが企画する音楽祭として宮崎医科大学時代から歴史を重ね、本年度で通算43回目となりました。開催するにあたり、歴代の音楽祭実行委員の先輩方のご尽力はもちろん、清武文化会館関係者の皆様、地域の皆様、大学関係者の方々から多大なるご支援・ご協力を賜りました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

本年度は、すずかけ太鼓、管打楽器部、室内楽部、合唱部をはじめとした大団体に加え、軽音、チェロ四重奏、ピアノ連弾、アカペラ、ギター弾き語りなどの個人出演を含めた合計16組、総勢164名を出演者に迎えました。また、演奏と演奏の間には、各部活の卒業生にインタビューをしたり、今年の11月16日、17日に開催される学祭のPRを行ったりと豪華なステージが盛りだくさんとなりました。出演者それぞれが心のこもった演奏をお届けし、ご来場いただいた多くの方に楽しんでいただけるプログラムとなったのではないかと考えております。

本年は、“音楽祭実行委員だけでなく出演者も合わせて皆が一つになって音楽祭を作っているのだ”という意識を持つという目的で、「Sun! 燦! Sound!」というスローガンを掲げました。“日本のひなたである宮崎という土地に相応しい、太陽のように明るい音楽を作り上げ、演奏者が燦々と輝けるようなステージを目指し、さまざまな楽器の奏でるたくさんの音色をお届けしよう”という想いを込めております。大学内や地元の飲食店などに貼っていただく宣伝用ポスターの絵も、このスローガンにぴったりの、夜明けの空に日の出が見え、青い海にその太陽の光が反射して映っているという素



太陽をモチーフにしたポスター

敵なものを用意しました。スローガンを掲げたことで、普段は接する機会のない演奏者同士が音楽を通じて一丸となり、年に一度の宮崎大学医学部の音楽の祭典を全員で作りに上げていくという団結力をより高めることができましたと思います。

話は変わりますが、音楽祭では毎年、来場者アンケートを取っています。ご来場いただくのは大学関係者だけでなく地域の方々も多く、毎年たくさんのご意見をくださるため、その結果をふまえて次年度以降の音楽祭をよりよいものにしていくことができます。そこで本年のアンケート結果を少しだけご報告させていただきます。

まず、“出演者に誘われて来た”という人が多いため、来場者の年齢層は20代が約半数を占めていました。しかし、40代、50代、60代、70代以上もそれぞれ10%を占めており、さまざまな年代の方に来ていただいていることも分かりました。地域を活性化するという意味ではもっと若い年齢層の方々にも来ていただきたいので、次年度以降は中学校や高校にも宣伝をして、宮崎大学医学部の行事に興味を持っていた

だこうと思います。

また、来場数は3回以上と答えた方が25%と予想以上に多く、これまでたくさんの先輩方が引き継いでこられたこの音楽祭を本年も開催できたことを大変嬉しく思いました。ご感想の中には、

「みなさん豊かな音ですごく楽しみがありました」

「心に届く素敵な演奏でした」

「また来たいです」

「音色がよくて聴き入ってしまいました」

「若さのキラキラで元気をもらいました」

など、お褒めの言葉を多くいただき、実行委員一同大変喜んでおります。

宮崎大学医学部音楽祭に携わってくださった方々は、年齢も出身も職業も異なるけれど、音楽で感動したり元気をもらったりする心はみんな等しく持っており、それが音楽の素晴らしさなのだとあらためて実感いたしました。これからもたくさんの人々に楽しんでいただける音楽祭を作り上げていきたいと思います。



すずかけ太鼓「大地」の演奏の様子

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
7月2日	・信用保証協会によるセーフティネット保証5号の指定期間について（情報提供）
7月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・義務化対象外機関におけるオンライン資格確認（資格確認限定型）の導入に関するリーフレット等の送付について（周知） ・日本医師会「オンライン診療についての事例ご報告」へのご協力につきまして（お願い） ・厚生労働省「オンライン診療の利用手順の手引書」等並びに総務省「遠隔医療モデル参考書－オンライン診療版－改訂版」について ・疑義解釈資料の送付について（その9） ・使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について ・令和6年度報酬改定に対応した「科学的介護情報システム（LIFE）」の稼働に係る周知について ・令和6年度介護報酬改定に関する通知等の送付について（その8） ・令和6年8月からの特定入所者介護（予防）サービス費の見直しに係る周知への協力依頼について ・検査料の点数の取扱いについて ・ファビピラビル製剤の使用に当たっての留意事項について ・イプタコパン塩酸塩水和物製剤の使用に当たっての留意事項について ・新型コロナウイルス感染症患者等の公費支援等の終了に伴う令和6年度における請求事務の取扱いについて（通知） ・ダニ媒介感染症に係る注意喚起について ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症（STSS）について ・厚生労働省令和6年度補助金事業『医療通訳者、外国人患者受入れ医療コーディネーター配置等支援事業』『医療通訳配置等間接補助事業』実施団体（医療機関）の公募について ・認知症チームケア推進研修の実施について（周知） ・フリーランス・事業者間取引適正化等法の施行に向けた周知等について（協力依頼） ・「再生医療等の安全性の確保等に関する法律及び臨床研究法の一部を改正する法律」の公布について ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・「ONLINEホテル予約サービス（日本医師会会員特別割引）」新規提携ホテルの優待価格利用開始について ・世界禁煙デー東京タワーライトアップイベントに関する採録記事並びに動画掲載のお知らせ
7月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・日本銀行より贈呈された新千円札展示の件 ・「医療機関において安心・安全に電波を利用するための説明会」について ・医療事故情報収集等事業第77回報告書の公表について ・医療事故情報収集等事業2023年年報の公表について ・令和5年度 販売情報提供活動監視事業報告書について

送付日	文 書 名
7月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・第55回全国学校保健・学校医大会の事前参加登録及び宿泊申込について（ご案内） ・組換え沈降B型肝炎ワクチン（酵母由来）「ビームゲン注」の限定出荷の解除について ・「BDバクテック™血液培養ボトル」の出荷調整に伴う協力依頼 ・新型インフルエンザ等対策政府行動計画の改定について（通知） ・令和6年度介護報酬改定に関する通知の正誤について ・地域支援事業を委託して実施する場合における消費税の取扱いについて ・「『指定居宅介護支援事業者が市町村長からの指定を受けて介護予防支援を実施する場合の留意事項について』に関するQ&A」の送付について ・「ハンセン病元患者家族に対する補償金の支給等に関する法律の一部を改正する法律」の公布及び施行について（協力依頼） ・令和六年能登半島地震による災害の被害者の特定権利利益に係る満了日の延長に関する政令等の施行について ・「療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づき厚生労働大臣が定める揭示事項等の一部改正等について」の一部訂正に伴う差し替えについて ・「コラテジェン筋注用4mg」の保険診療上の取扱いについて ・ボトックス注用50単位，ボトックス注用100単位，レットヴィモカプセル40mg等，アレモ皮下注15mg等の医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正等について ・公知申請に係る事前評価が終了し，医薬品医療機器等法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて ・検査料の点数の取扱いについて ・電子処方箋導入に関する都道府県行政の助成事業の行政への働きかけについて ・日本学校保健会が主催する研修会の開催要項について（送付） ・「病原微生物検出情報」の送付について
7月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・「老人福祉施設に係る指導監査について」の一部改正について（通知） ・「介護保険施設等運営指導マニュアルについて（通知）」の一部改正について ・「介護サービス計画書の様式及び課題分析標準項目の提示について」の一部改正について ・令和6年度介護報酬改定に関する通知等の送付について（その9） ・令和6年7月9日からの大雨による災害の被災者に係る被保険者証等の提示等および公費負担医療の取扱いについて ・令和6年7月9日からの大雨による災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について ・令和6年7月9日からの大雨災害にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について ・令和6年7月9日からの大雨による災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・令和6年7月9日からの大雨災害に係る介護報酬等の柔軟な取扱い（基準緩和等）について ・死体解剖資格認定要領の一部改正について ・死因究明等推進計画の変更について ・「日医かかりつけ医機能研修制度 令和6年度応用研修会第2，3回（Web講習会）」の開催について ・令和6年度診療報酬改定関連通知の一部訂正について ・感染症免疫学的検査の取扱いについて ・2025年4月1日付自賠責損害調査センターの組織改編について

送付日	文 書 名
7月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季の省エネルギーの取組について（周知依頼） ・乾燥細胞培養痘そうワクチンに係る「使用上の注意」の改訂について ・第4次犯罪被害者等基本計画の見直しに関する要望・意見聴取について ・メチレンブルー静注50mg「第一三共」の使用期限の取扱いについて ・「使用上の注意」の改訂について ・医療機関の開設者が変更した場合における廊下に係る構造設備基準の適用について ・日本医師会新会員情報管理システムMAMISの周知と運用開始に向けたデータ提供の協力依頼について ・公益財団法人日本医療機能評価機構医療事故情報収集等事業2023年年報及び第77回報告書の送付について ・徹底解決！マイナ保険証への医療現場の疑問 解消セミナーの開催について（周知依頼） ・熱中症予防の普及啓発・注意喚起について（再周知依頼） ・組換え沈降B型肝炎ワクチン（酵母由来）「ビームゲン注」の限定出荷の解除について（通知） ・オロプーシェ熱に関する情報提供及び協力依頼等について
7月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・「へき地の郵便局でのオンライン診療」に関する実証事業の実施結果について ・妊産婦の劇症型A群溶連菌（GAS）感染症罹患の注意喚起について ・ヒアりに刺された場合の医療的留意事項について（再周知） ・「World Diabetes Day（WDD）」（旧称：世界糖尿病デー）イベント実施について ・令和6年度食生活改善普及運動の実施について ・長期収載品の処方等又は調剤に係る選定療養に関する取扱いについて
7月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・日本医師会新会員情報管理システムMAMIS運用開始に向けた会員データ作成および提供のお願い（協力依頼） ・令和6年度介護報酬改定等における高齢者施設等と医療機関との連携等に係る内容の周知及び協力について ・旧LIFEシステムから新LIFEシステムへの移行作業のお願い ・日本准看護師連絡協議会 研修会及び講演会の周知のお願い ・宮崎県看護の就職フェアの開催について（依頼） ・妊産婦における劇症型溶血性レンサ球菌感染症（STSS）について ・宮崎県針刺し事故後のHIV感染防止体制整備事業について ・有床診療所等スプリンクラー等施設整備事業（医療施設等施設整備費補助金）の募集（二回目）について ・令和6年度院内感染対策講習会（講習会①）の受講者の決定について ・人を発病させるおそれがほとんどないものとして厚生労働大臣が指定する病原体等の一部を改正する件の公布について（通知） ・令和7年度「病床機能再編支援事業」の実施意向調査について（依頼） ・「酸化エチレン大気排出抑制に関する取組事例集」の公表について ・令和6年度団体契約を通じた電話医療通訳の利用促進事業実施団体の2次公募開始について ・治験における同意文書及び説明文書の共通様式の活用について ・共済組合員証等の無効について

送付日	文 書 名
7月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度日本医師会会費賦課徴収について ・令和6年度特定行為研修制度研修会について（依頼） ・令和6年度ICTを活用した在宅看取りに関する研修推進事業「医師による遠隔での死亡診断をサポートする看護師を対象とした研修会」の開催について ・令和6年7月9日からの大雨災害にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その1）～（その3） ・令和6年7月25日からの大雨災害にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その4） ・令和6年7月25日からの大雨による災害の被災者に係る被保険者証等の提示等および公費負担医療の取扱いについて ・令和6年7月25日からの大雨による災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・令和6年7月25日からの大雨災害に係る介護報酬等の柔軟な取扱い（基準緩和等）について

お知らせ

令和6年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を宮崎学園短期大学に委託しております。

貴院におかれまして、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、宮崎学園短期大学よりご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせなどにつきましては、直接担当者までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

令和7年3月末卒業予定者

【就職希望者】 14名（男0名，女14名）

【就職希望地】 宮崎市内8名，都城2名，
延岡・日向3名，日南1名

【連絡先】 〒889-1605

宮崎市清武町加納丙1415番地

TEL：0985-85-0146

現代ビジネス科 教授 黒野 伸子

准教授 武村 順子

キャリア教育センター センター長 河野 豪

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

日州医事原稿募集のお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に沿ってご投稿ください。

■ 随想・随筆・旅行記

字数：3,000字以内

写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 短歌・俳句・川柳・詩

字数：それぞれの一般的な文字数（500字以内）

写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 宮崎グルメ探訪

題材：お気に入りのお店をご紹介ください。お店の雰囲気やお薦めの料理、思い出話など

字数：800字程度

写真：執筆者顔写真，その他料理などの写真（2枚程）

※掲載は白黒

■ 私の本/私が推薦する本

題材：書物の紹介，読みどころ，執筆の思い出・思い入れなど

字数：800字以内

写真：執筆者顔写真，書物の表紙写真

■ その他

- ・夏の「はまゆう随筆」，新年の「新春随想」はその時期に本誌で原稿募集の案内をいたします。
- ・随筆などに掲載する，カット・イラストも随時募集しています。

～上記のコーナーにご投稿いただくにあたっての留意事項～

■掲載の可否・方法につきましては広報委員会にご一任ください。

■原稿の趣旨を変えない範囲で，日州医事のルールにしたがって表記などの修正をさせていただきます場合があります。

■日州医事は，各都道府県医師会や行政・図書館・報道機関などにも配布しています。

■すべての投稿について

広報委員会で以下のいずれかに該当すると判断した場合には，修正または掲載をご遠慮いただくことがあります。

- ・著作権をはじめ，法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ・誹謗中傷や差別など，他の団体，個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ・布教や政治活動など，特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ・公序良俗に反し，法律で禁止されている行為など，その他不適切と判断されるもの
- ・事実誤認，難解，過度な宣伝広告など

【原稿送付・問合せ先】 ご投稿は主にメールで受け付けております。

宮崎県医師会広報委員会 日州医事担当（弓削）

Tel 0985-22-5118 Fax 0985-27-6550 E-mail genko@miyazaki.med.or.jp

あとかき



顔写真が必要な公的書類のオンライン申請を親に依頼されました。体調の問題で窓口やまちなかの証明写真機に出向くことができないということで、自宅で顔写真を撮影することにしました。が、私ときょうだいで何度か書類を申請したものの、すべて写真不備でリ

ジェクトされてしまいました。郵送はどうかと、証明写真アプリを入れてコンビニで印刷し提出してみました。これもだめです。ネットで「写真の撮り方」を調べて、背景は無地、顔の向きは正面、影が入らないなど諸々チェックして万全で提出したつもりでしたが…。仕事でも個人でもオンラインでの手続きを求められることが多くなりましたが、デジタル化にだんだんついていけなくなるのかと心配になってきました。医療分野でもDX化の流れです。電子カルテは業務に差し支えはない程度に使うことができても、ネットワークシステムなど理解が浅いところが多々あり、「DXのメリットを活かし、セキュリティなどのリスクを回避する」ところには到達していないのが実情です。直近のスタッフとのミーティングでは、自然災害などで停電や機器故障になったら？とか、在宅医などで受診される方が急に増えたときやベンダーが休日のときにかぎってシステムの調子が悪くなったら？とかが話題になり、予想される事態に対して当院でできることを模索中です。(横山)

* * * * *

夏の高校野球が行われています。投手であった私には、ピンチでカットとなり大量失点し反撃が及ばなかった経験があります。それからピンチでは冷静に、最少失点に抑えることを心がけていました。日々の診療も全く同じでした。うまくいかないこと、感情のコントロールが必要なことが多々あります。そのときこそ冷静に、1球、1球丁寧に、最少失点に抑える。特にエラーの際は。あの夏と同じ気持ちで日々取り組んでいきます。(石田)

* * *

肝臓癌の診療に長年携わっており、先日にも姫路で開催された日本肝臓研究会に参加しました。肝臓癌の患者数は近年減少傾向であり、治療の選択肢もかなり増えてきましたが、いまだに治療に難渋することも多いです。研究会では今後の診療に活かせる多くの学びがありました。そして、学びとともに(いや学び以上に)楽しみも大事です。初めて見る白き姫路城の美しさに感動し、駅そばやひねポンなどの名物料理に舌鼓を打ち、旅を大いに満喫いたしました。

(永野)

* * *

あっという間に月日が過ぎ、入学時はまだまだ先だと思っていた医師国家試験も、いよいよ来年にせまっていました。大学の実習や自学で国家試験の過去問を解く機会が多くなってきましたが、この日州

医事でも月1回勉強させてもらっています。毎月掲載の、「あなたできますか？」のコーナーをご存じでしょうか。前年出題された国試問題の中から10題ほどが出題されており、学習もしくは復習するよい機会となっています。さまざまな分野から取り上げられているため、クイズ感覚で先生方にも目を通していただけると幸いです。(境)

* * *

先日、友人が好きな“さのみきひと”というアーティストのライブに行ってきました。この方が創り上げる音楽は非常に独特で、また、曲の合間に話される小話もほとんどが嘘の話で、よく分からない感覚に陥りました。まさに“異世界”なライブでした。明日(7/20)はまた別の友人にTWICEのライブに連れて行ってもらいます。友人たちのおかげで、今まで知らなかった音楽や世界的なアーティストを見ることができ、とても感謝しています。(家村)

* * *

温暖化が心配になり、半年前に車を電気自動車(正確にはPHEV)にしました。充電は自宅、医院に備えた太陽光発電をなるべく利用するようにしています。課題も多い電気自動車ですが、静かで滑らかな加速は快適です。ガソリンエンジン車も所有していますが、音と振動はまるで前世紀の遺物のようです。

(佐々木)

今月のトピックス

会長のページ 怖いもの

「地震」「雷」「火事」「親父」は私が子どものころまででしょうか。現在、当地では「親父」の代わりに「津波・洪水」なのかな。当院でもBCP（事業継続計画）は作成しましたが、その実効性は災害が生じるまで検証できないのでなんとも…。

3 ページ

日州医談 健康食品・サプリメントについて

小牧先生より紅麴サプリでの健康被害の解説です。ふと思うのですが、使われた医療費は小林製薬が払うのでしょうか？

4 ページ

はまゆう随筆

今回も多くの先生より玉稿をいただいております。Drならではの談話や人生を感じさせるものなどさまざまです。個人的には旅行記が好みです。自分も行った気にさせてくれます。

6 ページ

エコー・リレー

柳邊先生，鼻グリ先生は秀逸ですね。私も診療中は左手にLEDペンライトを持っておりますので，子どもはまず口を開けます。可愛いですよ。 23ページ

(文責：菊池 英維)

日 州 医 事 第900号(令和6年8月号)(毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会 長 河 野 雅 行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 菊池 英維

副 委 員 長 石田 康行

委 員 横山 晃子, 下窪 徹, 高橋 聡,

國枝 良行, 永野 元章, 高村 一紘

学 生 委 員 金城 由歩, 境 笙太郎, 家村 和奈, 宮本貴由樹

担 当 副 会 長 金丸 吉昌

担 当 理 事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究, 田畑 直人

事 務 局 学術広報課 弓削 圭介, 久永 夏樹

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円(但し, 県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)